

議論記録の全体版

掲示板でおこなった議論をほぼそのまま貼り付けたもの。

議論が好きな人以外には全くお勧めしない。すぐに帰るように。

あくまでも一つの分析ごっこであり、議論ごっこであるから、そのへん誤解なきよう。

最初に書き込みしたpではなく、途中から参加してきた「J熱くん(仮名)」との議論がメイン。

掲示板の利用規約にしたがい、書き込みを転載する。

偉大なる思想家 投稿者: p 投稿日: 2004/07/13(Tue) 18:03 No.5676

返信

君達に教えを説こう。

凸にしろ道德家にしろどちらも道德に固執しすぎだ。道德？そんなことは「ドウデモイイ」。少数派の意見なんて切り捨てる。いちいち意見拾ってたら「キリがない」。誰にとっての迷惑？私を迷惑させるものは何であれ敵だ。善悪なんて考えるな。「キリがない」。

おそらく今世界で起こっていることのほとんどは私にとっても君にとっても「ドウデモイイ」。そんなことより今日の夕飯何食べるかに考えを集中させる。今、っつーか未来を生きろ。それが一番合理的。

私の思想の合言葉は、「キリがない」と「ドウデモイイ」。この二言にすべてがこめられている。

ちなみに「そんなことはどうでもいい」で人生の99%の疑問は解決するね。

さあ、皆のもの後に続け。この思想に感銘を受けろ。これは完全に押し付けである。

Re: 偉大なる思想家 Jim - 2004/07/13(Tue) 21:20 No.5679

> これは完全に押し付けである。

ワロタ

Re: 偉大なる思想家 イ - 2004/07/13(Tue) 23:34 No.5683

これはあきらかに貼り付けである

Re: 偉大なる思想家 未払法人税等 - 2004/07/14(Wed) 00:41 No.5687

これはあきらかにノリ助である

Re: 偉大なる思想家 くぼっち - 2004/07/14(Wed) 11:24 No.5692

私の思想の合言葉は、「シバサキコウ」と「オオツカアイ」です。どうぞよろしく。

Re: 偉大なる思想家 カツオ - 2004/07/15(Thu) 20:57 No.5714

>ちなみに「そんなことはどうでもいい」で人生の99%の疑問は解決するね。

人はそれを思考の放棄と呼ぶと言われています (NHK的

Re: 偉大なる思想家 om - 2004/07/15(Thu) 22:40 No.5716

「そんなことはどうでもいい」などと人生の99%の疑問を解決して悦に入る浅薄なpもいるが、それは思考停止に他ならず、知性の敗北以外なにものでもない。

Re: 偉大なる思想家 最高水準雀士 - 2004/07/16(Fri) 00:43 No.5719

まあ、pなんてどうでもええやん

Re: 偉大なる思想家 じゅうご - 2004/07/16(Fri) 01:06 No.5720

どうでもいいことほど楽しいのですたい。

Re: 偉大なる思想家 未払法人税等 - 2004/07/16(Fri) 12:28 No.5726

Pは

...

...

...

...

...

どうでもいい。

へえ へえ へえ

Re: 偉大なる思想家 p - 2004/07/16(Fri) 17:53 No.5734

99%のどうでもいい問題に知性を使う輩が多すぎて困るね。
しかも、そういう輩に限ってインテリぶる。
「pはどうでもいい」という結論に達したあなたはよくわかっている。
pは忘れられた男だから。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/16(Fri) 18:41 No.5735

どうでもいいなんてどうでもいいなんてどうでもいいなんて... キリガナイなんてどうでもいい

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/17(Sat) 01:37 No.5752(管理者)

固執しないとは損な人生を。

うまいメシに固執しろ。
麻雀の成績に固執しろ。
知性に固執しろ。
学歴に固執しろ。

そうでないなら、どうして生きることに固執するのか

マジメな話 p - 2004/07/17(Sat) 09:42 No.5758

思いっきり勘違いされているので、この思想に至った経歴を。
昔は俺もインテリっぽく振舞っていた。人についての抽象的概念を考えるのが好きだった。
だが、ある時自分の論理的思考能力がどれほどのものか知りたくなった。
そこで今年の東大の数学を解いてみたら↓
http://www.mainichi.co.jp/edu/center04/sundai/tokyo_zen/sugakuB/01.html
全然解けない。そこで悟った。俺は凡人だ。高校生レベルの知識と論理的思考能力があれば必ず解けたはずである。三完以上できれば東大理三レベル(調査済)
自称非凡人に告ぐ。解いてみる。そして三完以上出来ないやつは自分は凡人だったと認める。東大生から見れば凡人なんだよ。下ばかり見て有頂天になるな、この凡人が。お前の上には多くのインテリがいるんだ。
で、こんな状態で論理的思考を続けると
穴だらけの論理で誤った答えを導き出す可能性が高い
知性の向上に努めなくなる(現状に満足してるから)
これはヤバイ。だから俺は抽象的概念を考えるのを一時的に止めた。凡人が論理的思考力を駆使したところから出てくる答えはたかが知れてる。二番煎じの結論だけだ。そして自己満足して終わる。東大生が見たら腹を抱えて笑う光景だろう。
それならいっそ「どうでもいい」で保留しといた方がいい。そして勉強して少なくとも東大理三レベルの知性が身についてから再び考えよう。
今の俺は人についての抽象的概念に興味はない。知性を高めることに全神経を集中させている。そして無駄なことを考えている余裕はない。そういうわけで生きること無茶苦茶固執してるわけだがw
メシも知性も学歴も現実問題として固執している。
俺は夢想家から理論家への脱皮を試みている。この思想はいわばサナギにあたるわけだ。

ちなみに三完以上できた人はかなり自信を持っていい。東大入れる可能性は極めて高いといえるだろう。そしてその知性を存分に生かして生きて欲しい。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/17(Sat) 17:54 No.5765

うう...なるほど。二番煎じの結論になるだけか.....。
トップレベルの人たちの「思想」に触れてみたいもんだ。
「逃げ」に聞こえるかもしれないけど数理が得意であることと思想が鋭いことにどれだけ相関関係があるかに少し疑問がある。分野の独立性というか「やったことしかできない」傾向も見逃せないような気がするんだ。
私なんて数学が「大したことない」ことは自覚しているし評価を与えられれば自覚せざるをえない。数理に関しては凡愚水準だと自覚している。だが事実、数学がめちゃくちゃできるのにいざ「思想」の話題になると凡言がこぼれてくる人を知っている。例外だと言われれば何とも言えないけど。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/17(Sat) 22:23 No.5769(管理者)

ん 本気なのか？

世界一流の「思想家」のほとんどは東大の入試数学など解けないよ。
そればかりか、理系分野の研究者にあってさえそうだろう。
(時間をよくかければ解けるとしても、そんなことは必要ないからしないだろ

う)
東大入試の数学が知的活動の能力を決めるなどという論理こそをまず疑いなさい。

例えば、

1) 数学的思考能力は、全ての問題に対応しない
数学ができて解けない問題があり、数学ができなくても解ける問題がある。
例えば積分を求める場合のコンピュータシミュレーションなど数値解析分野。
あるいは実験的にしか判定不可能な物理法則の数々。
つまり、答えを知るために数学ではない何かを使わなければならない場合はある。
そしてしばしば多くの問題は数学によって解けず、様々な別の知識や手法を必要とする。

2) 知識の量も知性である
どんなに数学的思考がうまくても、何も知らない状態から、世の中の全てのできごとに
関する知識を一人で身につけることはできないだろう。
三平方の定理から、ベクトルの概念まで1から発見したら、よほどうまくいっても
いくつかの分野の「発見」をする程度までで一生を終えるだろう。
彼一人ではコンピュータを作れないだろうし、原爆も作れない。
数々の天才や、天才でない人によって作られた人類の知識量は膨大であり、
入試数学が
解けるということによって埋められる量がその大部分を占めるなどということは考えられない。

3) 才能と結果は別問題である
数学が神のようにできる人でも、ある問題について考えなければ、その問題を解けない
ということはある。
もしも「数学的才能が高い」だけでいいなら、世の中の全ての「発見」は、もっとも
数学的才能が高い一人の手によってなされる。しかしそうではない。
「やればできる」ことは、それが本当であっても、意味をなさない。
東大理3などその最たるもので、数学の知識など全く使わない分野に進むわけだ。
着目する問題点について、じっくり考え、知識を用意することもまた知性なのであり、
それを「どうでもいい」で放棄し続け、「基礎能力」だけを磨くのは有効ではない。

「東大数学が3完できなければ 論理的能力が平凡で、その思考はダメある」
が正しいのならば、君のこの主張は間違っているのだろう。
正しくないならば、君のやっている作業は必ずしも有益ではない。
最初の最初のこの論理に君が気づいていないなら、「知性をつける作業」など
やっても無駄だろう。

凡人は二番煎じの結論しか出せない、というのも浮いた理屈だ。

東大の問題が解けないが、誰も出したことのない優れた答えを導く人は山のようにいる。

「キリがない」「ドウデモイ」に「全てがこめられている」などと言っているようでは、
まさに君は思想すべき人間ではない。
こめるべき「全て」が思想として存在しないではないか。
それを実際に言葉にし、「こめる」作業が思想なのだ。

Re: 偉大なる思想家 あげ監視官 - 2004/07/18(Sun) 04:49 No.5774

あげ

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/18(Sun) 05:17 No.5775

東大数学試験だけが知性を十分にすら測れないのは当然だろう。問題視すべきは p の(マジメな話)レス中の「高校生レベルの知識と論理的思考能力があれば必ず解けたはずである」という点だ。

知識量や経験や与えられた議題が同じだとして、この問題をすぐに解けた者とそうでない者が勝負をしたらどちらが勝つだろうか、という問題が深刻なのだ。東大生が本気で思想に取り掛かったら、という想定が恐ろしいのだ。思想はそれ自体としてだけなら専門知識をほとんど必要としない。(知識や経験に限るなら小学生でも欲求一元論に気付く)必要なのはその試験で測りうるだろう「論理的発想力」という疑義が晴らせないのだ。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/18(Sun) 05:42 No.5777(管理者)

日本語による「論理」などというものは、何も東大入試数学など全くできなくても、
世の中の1/10程度の人はその気になれば簡単に身につけられるものだ。
東大生でなければ無理などというものではない。
しかも、東大生の多くが思想に取り掛かることなどありえない。
なぜなら、思想など何の役にも立たないからだ。

論理は、間違わなければ良いという程度で、思想を組む際にはそんなに大事ではない。
論理力が強ければ強いほど、議論などによって決着をつける場合に大切なのは、
「論理的正しさ」じゃなくて、「正しい前提に立つ」ための直感や知識となる。

例えばだが、麻雀でピンフのみはリーチすべきかどうか議論するとする。
私のように日々そのデータを集めて考えている人は、即座に「リーチすべき」という
前提に立つだろうし、実証データやさまざまな論理が使える。
だが、いくら論理的であってもそれらを知らなければ、議論さえできないだろう。
論理的に物事を考えられることは思想にとって、第一段階として重要だが、
何を問題とするか、それに答えを出すためにはどんなデータが必要か、どのようにそれを
形式化するか、などを見抜く能力こそが思想の良し悪しを分けることは多い。
さらに残念なことは、「良いとされている思想」の多くは、別に論理的ではない

ことだ(笑)

Re: 偉大なる思想家 p - 2004/07/18(Sun) 18:06 No.5780

東大の数学は基本的に受験生が見たことない問題を出す傾向があるので、大半の受験生は基本的な数学の知識を用いて後は論理的に解いているのでは？知識より論理的思考力を重視していると思って解いてみたのだが。論理的思考力は何ではかればいいかわからない。
知識の量も知性である、という部分は賛成。知識を一番効率よく吸収できるのは読書だと思う。経験的に、読書習慣のある人は知的な人が多いので。ちなみに凡人の思考は二番煎じだというだけであって、別に間違っているとはいっていない。すでに誰かが探し当てた答えを見つける、という意味で、正しいが新しいということを言いたかった。だから私の発言は何も矛盾したものではない。
最初の書き込みはややノリで書いた部分があるので突っ込まれると何も反論できない。非は認めます。
東大生が役に立たないことをしないという論理がよくわからないのだが。むしろ知り合いの東大生は思想について考えるのが好きそうだし。他の大学生より可能性は高いと思う。後は職業(?)にしてくれるかだ。
最後に麻雀の基本的な知識を持つ人で論理的思考能力が優れている人はピンフ即リーを導き出せないのか？つまり論理的にピンフのみはリーチだ、ということは導き出せないのか？実験したことはないが。
あと、「良いとされている思想」の多くは論理的でないという事実は私にとってどうでもいい。同じ道をたどるつもりはないから。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/19(Mon) 02:38 No.5785(管理者)

・数学にどの程度論理が使われるかについて

数学は論理で解いていると思ったら大間違いだ。
論理はあくまでも、方針に対して間違わずに推論を進める方法。
本当に論理だけで進めるなら、高校の教科書の「公式」だけを教えれば、どんな
入試問題でも解けるはずだ。
だが実際はそんな人は(東大理3にも)いない。
問題集を解いて色々なパターンを知ったり、同じような方針でも計算量を減らしたりする工夫がうまくなったりする必要がある。
数学における別の分野の解法を流用してみたり、普段使わない解法を試したりと
いう試行錯誤が必要だ。その際計算力も必要で、それこそが、数学力である。
(必要条件に適合する解だけ出して解とするような、本当に論理的にクソなレベルは除く・・・と言っても、数学がかなりできる人でもたまにこういう勘違いをするものだが)
つまり、ぱっと問題を見たときに、何が示されれば答えになるのかを複数パターン見つけ、その中からもっとも計算しやすいものを選択するというような作業
の全体が数学力なのである。複数パターンの「見つけ」は、決して公式のみを暗記していればできるものではなく、過去に演習してきた様々のパターンを流用

し
 てみる作業にあたる(もちろんこれは「論理的な作業」ではなく「技」である)。

例えば君の出した数学の問題の1番を「論理的に」だけ解くなら簡単である。
 単にPから傾き $\sqrt{2}$ の直線を引いてQの位置を計算し、PQの midpoint から傾き $-\frac{1}{\sqrt{2}}$ の直

線を引いて $y=x^2$ との交点を求めてそこをRとし、PRの距離がaになっているよ
 うな

aを求めれば良い。

非常に簡単である。

ところが実際にその計算をすると、おそらくけっこう大変だろう。

で、例えばQやRの位置はそれほど複雑な式計算をしなくても導けることに
 「気づく」。

また、全体を $\cos\theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$ であるような θ だけ時計回りに回転させる手も
 あるだろう。

他にも様々な「論理的な」解法があり、いくつかは簡単に思いつく。

どれが実際やりやすいのかは、ある意味「やってみなければわからない」。

上に書いた方法で「論理的にはとける」が、実際に計算が楽であるか、時間
 内に

実行できるか、ミスしないか、数式変形で必要となる(かもしれない)別分野
 の

知識があるか、などが大切になってくる。

数学を解く場面において、「論理」そのものが果たす役割は小さい。

数学が本当にできない人(偏差値50とか)だと、「こういう条件づけをすれば
 答

えが出る」という、まさに論理の時点で間違っている人もいるかもしれんけど。

問2など、既に論理的に答えが出ているものを「証明」するのである。

「色々やってみる」しかないではないか。

構築された論理を論理的に追うことは簡単でも、論理を構築するための論理
 は存

在しないのだから。

・論理的思考について

そしてこの種の、試行錯誤したり他の分野の知識をひっぱりだしたりしながら
 「発想する = 反復する」作業が、君の言う「論理的思考」なのだろう。

ではこれは、何か。

数学における試行錯誤は、当然ながら数学という世界の内部での試行錯誤
 である。

つまり、数学の世界や数学の解法の世界をどれほど知っているか、どうすれ
 ば

数学において問題をよりよく解けるかをすばやく判断する能力を、数学試験
 で測

ることはできる。

ただ、これはいわゆる普通の意味の「論理能力」とは全然違う。

これはむしろ「数学的思考力」とでも呼ぶべきものである。

あくまでも数学の世界でのスキルに他ならない。

思想も同様で、まずは世の中の様々な事柄に関する「公式」を学び、もしくは
 発

見しながら、それらを再構成して他の問題に流用し、文章(言葉)にする力が

必要なのである。
 そして、その場合の「様々な事柄」は、残念ながら数学とはほとんど無関係だ。
 論理が活躍する場面は、それほど多くはない。
 実際に思考する「演習」を重ね、その中で思考のパターンを磨いたり、よく使う
 論法や使われる論法を知り、既知の事実を学ぶことが、思想を学ぶことだ。
 数学における「問題演習」にあたる。
 なお、問題演習をしない人のほとんどは数学が苦手である。

もちろん、種々の知識を連結させ問題を解決するという操作の的確さやスムーズ
 さにおいて、数学的思考力が高い人の方が、低い人よりは有利であろうが、
 数学
 が得意な人が必ずしも言語能力も高いわけではないし、解法まで丸暗記に
 近い形
 で学んできた「数学ができる人」においてはいわずもがなである。

・論理的思考力は何で測るか

単純に、論理学の試験をするという手が手っ取り早いのではないか。
 数学の集合分野の問題でもいい。

・「凡人の思考は二番煎じ」という思い込みについて

思考するとき、まずは世界の事例を見るというクセをつけた方が良い。
 新しい発見をした全ての人が天才だったか？
 ましてや、その人が東大入試数学を3完できたか？
 全くそのようなことはない。
 仮にマルクスやシェイクスピアが天才だとして、彼らは数学などできないだろう。
 新しく偉大なことをした人が後付で天才 = 非凡人と呼ばれるだけではないか。
 そして君が単に、数学にこだわっているせいで、数学ができないだけで凡人だと
 いう間違った思い込みをしているだけだ。
 そのような思い込みを疑う作業が「思考」そのものだ。
 疑ってもみななかったのか？

もう少し言うと、大半の発想は「二番煎じ」と呼び得る。
 数学にしても、公式だけから全てを解くのではなく、問題演習や解法の知識を得
 る作業が重要であることを考えればすぐにわかることだ。
 二番煎じとそうでないものの区別など死ぬほど曖昧であり、同様に天才と非
 天才
 の差もそうである。
 「天才(発見)→東大理科で3完可能 それ以外は凡人→二番煎じ」
 などということは、どうあがいても成り立たない。
 理3ボーダー合格前後が基準というのも謎だ。
 全完ならともかく、3完程度ができるレベルだと二番煎じではなく、2完や1完

だと二番煎じなどと、とても恥ずかしくて言えない。
君がそのような立場に立ったことそのものが、君の思想の浅さを物語っていて、
論理的思考を積み重ねていないことを晒している。

・論理的にピンフはリーチだ、ということは導き出せないのか、について
一瞬だけ論理的に考えればわかる通り厳密にはできないし、現実的にも難しい。

Re: 偉大なる思想家 乾頼 - 2004/07/19(Mon) 05:16 No.5786

いやーやっぱ凸がこういう話題で真面目になると凄い面白いね。
勉強になる。

凸はどういう条件を備えた奴に「こいつは知性がある」って思う？
またその割合は？まあ感覚的にで構わんから聞いてみたい。

Re: 偉大なる思想家 ブレコ - 2004/07/19(Mon) 06:57 No.5788

ついでに佐々木総長を好きな理由も併せて聞いてみたい。

Re: 偉大なる思想家 2c - 2004/07/19(Mon) 09:47 No.5790

かっこいい(*´Д`)ハァハァ

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/19(Mon) 16:14 No.5792

この種の議論(たとえば東大を頂点とする学歴が知性にそのまま
リンクするかどうか)をする際に多くの人が見落としている点を
一つだけ、指摘しておきます。

まずいわゆる「学問体系」というものは、「過去において蓄積された
知識の集大成である」ということです。
宇宙といった全存在はそうした「ことば」や「体系」「知識」という
限定されたものでは表現し尽くせない無限のもので、
当然ながら既存の「学問体系」ではおおい尽くせません。

一方で、既存の「体系」を簡単に駆使できなければ新たな発見や
創造は不可能とは言わないまでも効率が悪いという事情があります。

そこで、東大などの一流と言われる大学は「これまでに体系化された
もの = 知識」だけでなく「新たなものを発見し、創造する能力 = 知恵」
が備わった学生を選抜しようとしています。
たとえば、二年前に出題された「円周率が3.1よりおおきく
3.2より小さいことを証明せよ」という問題などは、そうした
ねらいが背景にあると推察されます。

しかし一方で、入試には時間および処理能力に一定の制約があるため
どちらかというと「知識優先」という入試の選抜方法に偏っている
という現状も否定できないのです。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/19(Mon) 21:35 No.5795(管理者)

じゃあ調子に乗って思いつきレスを。
> 乾麺

知性を感じるかどうかは、実際には非常に個人的な問題だ。
例えば多くの人は、大学で様々な知識を身につけた人にはあまり知性を感じず、
日常会話などで「ひらめき」が上手な人に知性を感じたりする。
松本仁志などが「賢い」と言われたりするのはそのためだ。
しかしこれは恐らく、通常の人が、「知性」を使うべき対象として日常生活や会話程度にしか触れていないためである。
数学の世界で生きている人間は数学の「センス」や数学的思考力がある人に「知性」を感じるのだろうし、おれのようにコンピュータに詳しい人は、優れたアルゴリズムを発想する人に知性を感じたりする。
日常会話でしか知性的なものに触れない人は、自然と日常的なものに知性を感じるようになる。
(ところが彼らにおいては、530円の買い物に対して1050円払うという払い方もおぼつかない・・・結局は、彼らの想定する物事に関して、彼らの限定的な認識のもとに、知性を感じるだけなのだ。つまりより多くの知性に鈍感なのである)

私個人の問題で言えば、DRY MENのようにギャグセンスが優れた人に知性を感じちゃったりもするし、浮かずに議論ができる人、麻雀が強い人などにもそうだ。
とりわけ自分にとって気になるのは「会話」「分析」における知性で、他の領域でかなりできる人でも、ちょっとした日常的分析において浮きまくなるような人には「こいつ・・・馬鹿が」と思ってしまう。

ところがこの全体は、しょせんは個人が思う「知性」のありように依存する。
東大入試数学の良し悪しで「知性」を判断する人はいるだろうし(笑)
一言で「知性」と言っても、対象によって「数学的知性」だとか「思想的知性」「ギャグ的知性」など様々なものが考えられるはずであり、そのうちの、どれがどれだけよければ「総合得点が高い」のかなど、特に最初から決まっているわけではない。
直接乾麺の質問に答えるのなら、「問題をすばやく高度に分析する技術と知識」を、自分が関心を持つ領域について幅広く持っていて、しかもそれを的確に言語にできる人に知性を感じる。割合としては、1%程度はいるのではなかろうか。

注意すべきだと思うのは、「知識」を「知性」とムリに分けるような思考方法である。

いくら知識があっても、「知性」とは別物だという見なし方だ。

例えば数学に限った話で、解法の丸暗記をしまくって偏差値が高い人というのは

存在するが、解法をほとんど覚えておらず、その場の発想である程度の偏差値を出す人がいる。

このとき、後者の方が「知性」が高いとみなされがちである。

ところが、「数学的能力」自体が厳密なものではなく、実際にはどちらの方が優れているのかは、場面によって異なる。例えば入試に限って言えば、いちいち発想などしているよりも、知識を投げ込んだ方がずっと効率的に得点できる。(その方が生き方における効率も高く、また有り余るほどの記憶力を持っていたのかもしれない、どちらが優れているのかは不明である)

数学的な発見をする場合においても、数々の過去の数学的知識を利用して「新しい発見」をすることが、独自に「発見」することと比べて劣る理由はない。

よほど特異な分野に進まない限り、「知性」が「知識」より役立つことは少ない。

「もしも同じ知識なら、よりできる」という永遠に達成されない条件下での「知性」を比較することに、何の意味があるのか謎である。

個別の領域における知性にとどまらず、「知性」という何か全てに対して普遍的に使える「能力」があって(IQ神話のような)、個別知識のありようとは独立に存在するという根強い信仰がある。

このような判断がもてはやされる理由の一つは、多くの人が何の知識も知性も持たないため、せめて日常的領域での「ちょっとしたひらめきの差」で知性を測りたいからであろう。

(自分は勉強していないからできなかったが、勉強すれば・・・という発想)

しかし上で述べてきたように、数学や他の様々な知的活動における「思考力」や「発想力」とは、ほぼその全体がその領域での「知識」や「経験！」にかかっているのが実情なのである。

思想においてもそうだし、ギャグにおいてさえそうだろうと思われる。

もしも普遍的な「知性」などというものがあり、かつそれが重要であることが本当だとするなら、東大入試などまさに、その「知性」を測るだけの試験にすべきであろう。

黒とつに書いたことだが、「能力」もまた、点数配分などに依存する一つの解釈なのだ。

以上の議論は、個別の能力に対して、その基礎となる共通能力があり得ることを否定しているわけではない。チンパンジーより人間の方が、種々の能力にお

いて
勝っているだろう(ただし数字を小さい順に選び並べる作業の早さは、おそらく
そこそこの人間を上回ったりもするわけだが)。
スターフォースが得意な人はゼビウスが得意になる「能力」が高いかもしれない。
同じだけ練習すれば同じ以上にできる、ということだ。
だが、そうした「基礎能力」の分類の仕方には様々なものがあり(例えば動体視
力、反射神経、操作技術、ゲームへの情熱・・・etc.)、人間の知の領域がこれほど
細分化された現代となつては、一つの漠然とした「知性」、つまりIQの値、の
ようなものを想定することはあまり現実的ではないのではないか。

晒し BackHuman - 2004/07/20(Tue) 02:52 No.5800

>とつげき東北さん

...言っていることは概ね理解できました。
えーと、ショックです。全身に力が入らなくなりました。(婉曲表現じゃなくて実際に)

心境をここで暴露しちゃうと、どうしても自分と「大衆」との差別化をしたくて自分には「大衆」には多分持ち得ない何らかの能力への信仰がありましたんで、はい。それは幻想だったんですね。多分。

極論を言えば、動機と時間などさえあれば従来「凡人」であっても「黒とつ」を真っ向から否定できる並みの思考力を手にすることが可能ということでしょうか？

知識の入手や経験・思索などの「努力」さえすればどんな人間でもそれなりの「能」を手に出来、逆に「努力」で補えない要素があっても無視可能なものでないと言っているんでしょうか...？

知り合いに、どう自分が深く考えても鋭い反論をしてくる人がいるんですが、その人は何らかの基礎能力が優れているというよりは単にその分野についての知的作業量が多かったと捉えることが妥当なんではないでしょうか...

Re: 偉大なる思想家 北入 - 2004/07/20(Tue) 03:27 No.5801

支離滅裂かもしれないが

宇宙のテーマが「存続」にあるとすると(残念ながら今のところ私にはこれ以外のテーマが思いつかない)「知性」なるものは「存続」を助長、促進するためのアイテムのひとつにすぎないのだろうか。

もしゴキブリの「存続」が人類のそれを上回ったとき、ゴキブリの「知性」は人類の「知性」を凌駕したと言っているのだろうか。

「低い知性」を選択した「知性」は結果的に「高い知性」と言えるのだろうか。

否、それは「知性」とは別物の何かなのか。

それ以前に、時間が相対的であるとするならば、人類の時間とゴキブリの時間を単純に比較すること自体が無意味なことではないのだろうか。

じわじわと泥沼に足を取られていくようだ。

誰か助けて。

少しばかりの反論 BackHuman - 2004/07/20(Tue) 07:24 No.5804

>「知性」という何か全てに対して普遍的に使える「能力」があって、個別知識のありようとは独立に存在するという根強い信仰がある。
 これはどうだろう。
 その測定法の1つにIQがあるが、これによって「知的障害者」を前もってある程度割り出すことはできている。
 もちろん、それゆえにIQという測定法は無意味ではない。
 凸の「知性」への把握として後天的な作業にのみ比重を置くことがまさに正しいのであれば、
 「知的障害者」であろうと指針によってはそれ自体無視しても問題ないことになる。だが、現実的ではない。
 そして、より厳密に「知性」を把握するために「知的障害者」とそうでない人間を単に二分するのではなく、
 序列化するならば、特に「知的障害者」ではない我々の間でも無視できない先天的知的な統計的な「差」があると考えるのが自然だ。
 では果たしてこのような「差」は重要ではないのか？
 チンパンジーにいくら言語を教えても限界があるように、
 このどうでもいいはずの「差」は長期的に見れば深刻になると捉えるのが普通ではないだろうか？

数学の試験を解くのに、その場の発想力よりも解法を演習しておいた方が効率的なのは当然だ。
 では、それ自体に気付くのに必要とされる能力はどう教授されるのだ。
 ここで「よい熱くんの講師」に恵まれることも重要だが、
 そうだとしてもその講師からの教授をどう「判断・評価するか」に掛かっていることには最終的に変わらない。
 この「能力」はどう鍛えうるのだ。

あらゆる分野・目的においてそれに類する知識や経験がまさに重要だということは容易に理解できるが、
 それ自体当議論においてなんら意味がない。
 なぜなら、如何なる知識・経験はその受用者の解釈や前提に依存せざるをえず、それ自体も究極的には何らかの「根本的な能力」に依存せざるをえないではないか。
 それが一種のIQ的なものであるとは思えないが、
 根本的基礎的能力が実質的に深刻であるというこの主張に対しては問題じゃない。

以上のことから、
 より基礎的な能力を(可能な場合)鍛えてから目的へ向かうことと、あくまで基礎能力を無視し表層的な作業量によって目的へ向かうことのどちらがより効率的で信頼的かという問いに対して、
 どちらかといえば私は前者を選ぶことが多い。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/20(Tue) 09:08 No.5805

知性を論じるときの大前提について解説しておきます。
 知性は、「体験的知識(いわゆる知識)」と「普遍的知識(いわゆる知恵)」の二つのベクトルによって成り立っています。
 語学は前者が大部分を占めており、数学は後者が大部分を占めています。(物理や化学などはその中間ゾーン)

そういうと数学で知恵がはかれるのか、という疑問が湧きますが
 本来は、はかれます。ところが入試になると時間と、処理能力という

限界があるので実際には解法暗記という「知識」がある人間が有利になるという現象が生じるのです。

もう一つ、この種の議論でこんがらがるのが「はたして万人に共通する普遍的法則(真理)があるのか」という問題です。
世の中には体験的知識に頼る人が多いので、
「真理」など 存在しない → 個人の体験的知識がすべてだ
→ だから道徳なども存在せず、すべては人それぞれだ

という順序で漠然たる「不可知論」におちいる人が多いのですがそれは以上のような理由で間違いなのです。

Re: 偉大なる思想家 p - 2004/07/20(Tue) 09:27 No.5806

一言だけ。
二完と三完に一線を画した理由について。
俺の聞いた話じゃ、今年の受験生の大半(合格者含む)は一～二完止まりで、三完以上した者はほとんどいない。つまり二完と三完の間には大きな壁があるということだ。(簡単な問題が二題あるだけかもしれないが、俺には全て難しく感じたのでなんとも言えないw)
俺はこの事実を知っていたから一、二完と三完は同レベルなんてとても恥ずかしくて言えない。
じゃ、みなさんいいこと言っているのだから後の議論はみなさんにお任せ。
俺はシェイクスピアやマルクスが数学苦手だったかどうか調べてますよw

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/20(Tue) 14:14 No.5810

もうひとつ、この種の議論がこんがらがらる原因がありました。
それは、東大を頂点とする学歴社会に対する評価の問題です。

冷静に考えると学歴というものは、18～20才前後で、既存の学問体系をどれだけマスターしているか、それをどれだけ一定時間内に発揮できるかということで測定した結果に過ぎません。
したがってその後も持続的に努力を積み重ねている人の方が数年もすれば、あっさり学力的にも一流大の人間を(既存の学問体系の分野においても)抜き去るという現象が起きるのです。

もう一つ、何度も言いますがそもそも今話題にされている学力は「既存の学問体系のマスター度」の測定値のことです。
これはあくまで「既存の」ものなので時代の変革期には対応できません。たとえば日本では明治維新以後100年は「低賃金労働力」が武器としてあったので欧米の既存の技術体系を急いで吸収するいわゆる「学歴優先主義」が有効なものとして通用してきました。
ところがここ2～30年、つまり日本の一人あたりGNPが世界でも上位に位置するようになってからは事情ががらりと変わり、既存の「欧米追いかけ型(知識)」でなく、「創造型知性(知恵)」が有効な時代になっているのです。
その意味の先駆者が、京セラの稲盛会長(鹿児島大)や青色ダイオードの中村教授(徳島大)で、これからますますこうした創造型知性のヒーローが出てきます。というより出てこなければ日本全体が

これまでの追いかけ型では、経済的に生き残っていきません。
 もちろん官公庁や大企業では相変わらずの学歴主義を保持して
 いるという現実があります。しかしこの保守主義(官僚主義)が
 日本を破綻に追い込んでいるのです。
 (たとえば江戸時代は昌平こうが当時の学歴社会の頂点だったと
 いう笑うべき事実を思い出してください)

Re: 偉大なる思想家 x - 2004/07/21(Wed) 00:11 No.5824

ぜひ黒凸に載せてほしい。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/21(Wed) 01:31 No.5825(管理者)

垂れ流しレスを。やる気がでたら後で論点をまとめますが。

私が疑義をはさんだのは、第一に、「東大入試数学3完」という点において天才と凡人を分けたり論理的思考力をうんぬんするようなやり方に対してであり、第二に、「知性 > 知識」主義的発想に対してである。

第一の点。
 東大入試数学によって種々の知的活動における天才と凡人の比較をすることに、大した意味がないことは、既にご理解いただけたと思う。
 知的な諸世界における「天才たち」の大部分は、実は東大入試数学で3完などできないし、数学によって測られる「論理性」などたかが知れたものだ。
 受験当時、私より数学が得意な友達は何人かいたが、私より論理的で知的な(笑)文章を書ける友達はいなかった。
 何をもって天才、もっと下で言えば知性、と呼ぶのかは非常に個人的なセンスにかかっており、数学の出来によって論理性を一意に決定づけたり、論理性をもって数学の出来を想定することは、あまり意味がないし、それらによって知的かどうかを判断するとしても、浮いていない実感として「それは絶対ではない」のだ。
 ダウンタウン松本を知的と感ずることはうそ臭いが、それはアリなのだ。

次に、二点目。
 知性 > 知識というありがちな感覚(この感覚がありがちであることには同意されるかどうか伺いたい)を批判した点に関して。
 私が、「誰でも学習すれば差異を埋められる」などという理想論を述べているわけでもないことは明らかである。
 > 数学が本当にできない人(偏差値50とか)だと、「こういう条件づけをすれば答えが出る」という、まさに論理の時点で間違っている人がいるかもしれんけど。と書いたことから明白だろう。

かなり頑張っても数学の偏差値が50に行かない人は、別に珍しくなく存在する。
 私がいくら頑張ってもオイラーやガウスになれないだろうし、「大衆」が3年頑張っても私になれない。

では、オイラーと私の差は才能であると認めるにしても、普通、知的だとされる人
 とそうでない人の差は、才能にあるのかそれとも知識によるのか。

私はあえて、知識によると言う。
 その理由は、「知的である」ということの条件付けが、個人によってひどく異な
 っ
 ていて、なおかつ、現代では知識が細分化されているからである。
 例えば仮に、差は才能(あるいは知性)によるんだよと言ったでしょう。
 しかし実際に見てみると、高校数学のできは「丸暗記」でも埋めあわせ可能な差で
 あったりするし、より文系的領域なら、その傾向はますます強まる。
 今では麻雀が得意なことさえ、「知的」な条件であり得る。
 麻雀の得意不得意にまで「才能」などを持ち出すのは、あまりにも愚かであろう。
 (もしそれが許されるなら、ケンダマの才能や、虫を好きになる才能、など、
 数々
 の才能を想定すべきである)
 種々の「才能」が想定でき、「知性」が想定でき、「知識」が考えられる状況にあ
 って、それらを測る基準というものを放置して「才能」やら「知性」にこだわるという
 ことの意味がわからない。
 もしものすごく論理的な才能がある人がいて、それが何だというのだろうか？
 才能だけはあるが、実際の仕事においてはそれは使えないとすると、才能を測るこ
 とに何の意義があろう。
 我々がなぜ「数学的思考力」や「文章理解力」を測定するにもかかわらず、「耳筋
 肉動かし力」を計測しないか、ということを真剣に考えよ。
 才能の計測、あるいは知性の計測は、それが種々の、社会的に必要とされる活動に
 対して共通に使用可能であるという前提のもとになされる。
 ところが今の社会で、そのような「個別能力を離れた一つの知性、あるいは才能」
 などというものに、どれほどの意味があるだろうか。
 スノボの選手はIQが高いのだろうか。
 二世議員のIQが高いのだろうか。
 彼らはIQが高くないから、失敗しているのだろうか。
 (世が世なら、IQなどよりも肉体的強さこそが重要だっただろう)

IQ神話やら学歴神話が使われる時代というのは、単純である。
 力が強い者が勝つ世界と同様に、一元的である。
 「知性」が大切な現代であるが、その「知性」そのものが、一元的に測れない何か
 になっているのである。
 現代では、コミュニケーションが大切であったり、大切でなかったり、マニアッ

ク
 さが大切であったりする時代なのだ。
 ましてや、社会的に「成功する」ことが当人の幸福につながるかどうかもわからな
 くなったのだ。
 成功要因が一元的でなくなったということだ(世の中のほとんどの「成功者」
 は、
 別に必ずしも我々の言うところの「知的な人」ではない、もっともこれは昔から
 そうだったのかもしれない。いずれにせよ、現代というのは、良い大学を出て良
 い会社に入り高収入を得ることが幸せな時代ではない)。
 限定された目的や状態、測定方法を考慮せずに、一元的に「知性」を想定し
 たり、
 さらに学歴でうんぬんすることは、必ずしも有益ではない。
 「知性」的な何か共通土台を想定したいのならば、数学や論理などという最も
 役立
 ちにくいものの能力ではなくて、もう少し一般的な指標を持ち出すべきだろ
 う。
 少なくとも、なぜ自分が数学や論理にこだわったのか、という点について意識
 的に
 考えるべきだ。
 もしも「知性の差」が存在し、それが知的活動において劇的な差を生むとして
 も、
 それが果たして「自分にとって何のために役立つのか」、という視点なしに、
 知
 性を振りかざすことはこっけいである。

Re: 偉大なる思想家 乾頼 - 2004/07/21(Wed) 01:53 No.5826

> とつ

うーんなるほど。突き詰めると「結果が全て」という話になっていきそうだな.....

まあBackHuman氏も言っているが、このサイトの黒とつとか日記は、
 ある程度知性を持っている人間なら、
 それを読む事によって蒙が啓ける思いがすると言うか、
 何だか自分が知的に選ばれし者だという気がして来る効果を持っているよ
 ね。
 地に足が着いていないと、ただの痛い奴になってしまいそうで恐ろしい。

> J熱くん

> そういと数学で知恵がはかれるのか、という疑問が湧きますが
 > 本来は、はかれます。ところが入試になると時間と、処理能力という
 > 限界があるので実際には解法暗記という「知識」がある人間が
 > 有利になるという現象が生じるのです。

いや、だからそれも凸が上で散々書いているわけで.....

その知恵を計る為の問題は誰が作るの？

どんな単元の問題を、どういう割合で設問し、どういう配点をするの？

数学というごく限定された能力ですら、こうした個人の「好み」が反映される。

> BackHuman

> その測定法の1つにIQがあるが、これによって「知的障害者」を前>もって
 ある程度割り出すことはできている。

> もちろん、それゆえにIQという測定法は無意味ではない。
 > 凸の「知性」への把握として後天的な作業にのみ比重を置くことがま>さに正しいのであれば、
 > 「知的障害者」であろうと指針によってはそれ自体無視しても問題な>いことになる。だが、現実的ではない。
 > そして、より厳密に「知性」を把握するために「知的障害者」とそう>でない人間を単に二分するのではなく、
 > 序列化するならば、特に「知的障害者」ではない我々の間でも無視で>きない先天的知的な統計的な「差」があると思うのが自然だ。

同じように、IQテストも図形問題や言語問題など、
 作成者によって同じ人間でも得点が毎回変わってくる。
 例えばいわゆる知的障害者が、絵が凄くうまかったりする話があるだろう。
 IQテストが、色彩把握能力などの配点が高かったら、
 知的に劣っているのは我々かもしれない。
 それに、凸は別に知性について後天的な物に比重が高いとは言っていないよ。
 知識を詰め込む為の記憶力とかは、先天的な力の気がするし。

あと、俺もこういう分析的な話が掲示板で出たら雑記に転載を希望>とつ
 いちいち保存するの面倒だし、手間をかけずに更新できるからいいしょ? w

Re: 偉大なる思想家 乾麵 - 2004/07/21(Wed) 02:12 No.5827

あら、新しい書き込みが。

> 知性>知識というありがちな感覚(この感覚がありがちであることに>は同意されるかどうか伺いたい)

については同意する。
 「東大生(などの勉強ができる人)が本当に頭がいいとは限らない」
 ってのがまさしくそれなんじゃないの。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/21(Wed) 02:14 No.5828(管理者)

普段のホームポジションから若干離れて戦ってるから、びびらないでね(笑)>
 乾麵

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/21(Wed) 07:38 No.5829

知性が知恵(普遍法則性理解度)と知識(個別体験的知識)の二つの
 ベクトルで成り立っていることは述べました。
 そのうち知識の測定法があることはだれしも異論がないでしょう。
 英語の単語が3000あるか8000語レベルあるかは、簡単に
 測定できます。

では、知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか?
 測定可能です。
 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
 話をすることで、測定者は、自分の知恵の到達度まで対象者の

理解度を測定することが可能です。ちょうど1000メートルの山から見れば、Aの山が500メートル、Bの山が300メートルという風に正確に把握できるようなものです。

ただし、この山の高さは「知識」の測定の場合のように、ある目に見えるものでは測定できません。(目に見えるもの = 形成されたものの測定なら、知識の測定になってしまいます)

むしろ対象者がどの程度の時間意識の広がりにおいて事物を認識しているか、その時間意識の幅そのものによって測定できるのです。

たとえば「日本の政治家が……」というような話題を振ったとしましょう。その時に対象者が直感的に「小泉首相や森首相」を思い浮かべたとしたら、その人の時間意識は1～3年の広がりを持っていることを意味します。「田中角栄や吉田茂」をイメージしたとするなら、その場合には30～50年、「大久保利通や島津斉彬」をイメージしたなら100～200年の広がりを持っています。

もちろん短期の時間意識しか持たない人はその範囲内のことを「常識」として容易に受け入れるため、その分野での既存の価値の否定 → 新たな価値の創造 など思いもよりません。

長期の時間意識を持つ人は、それ未満のことを簡単に否定し新たな価値の創造に向かいます。さらにこの時間意識は先天的、固有のもので、そこで、それを持つ人を一般に天才と呼ぶのです。

以上、知恵の測定について述べました。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/21(Wed) 08:27 No.5830

知恵の測定 = つづき

知恵はこれまでに述べたように個別の知識 = 目に見える具体的なものの集積 ではなく具体的な形を取らない抽象的なものです。学問の中でこの抽象度が最も高いものが数学なので、知恵の測定に数学が有効であると言っているのです。

ただし、その数学とはこれまでに何度も述べているように、入試という制約の多い局面でのものではありません。たとえば天才的な芸術家がいるとしましょう。彼らは微分の公式などは見た瞬間にアレルギーを起こしたりするでしょうが、同じ微分を数式を使わずに「瞬間の中にすべてがある」とでも表現すれば、すぐに了解しますし、複素平面の意味である「目に見える存在(実数空間)」と「目に見えない存在(虚数空間)」はリンクしているなどは、ひょっとすると数学でメシを食っている専門家よりも瞬時に理解するでしょう。

私が言っているのはそうした「数学の根底にあるもの」のことで、

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/21(Wed) 15:15 No.5836

>乾麺さん

>IQテストが、色彩把握能力などの配点が高かったら、
>知的に劣っているのは我々かもしれない。
確かにその通りですね…。

根本的な部分から「勘違い」しました…。

>凸は別に知性について後天的な物に比重が高いとは言っていないよ。
凸さんのレスを再度読んだら、ええ、
これまた私の勘違いでした^^;
基礎能力と先天性の「能力」はまったく別物ですものね…。

> 知性>知識という感覚がありがちであるか
えーと同意します。
「知識量が知性なんかよりも重要だ」なんて主張する人私はあんまり見たこと
ないですから。
事実、私もその感覚を持ってました。

乾麺さんの言うように私も凸さんのを読んで
「結果が全て」みたいな話になっていくような感じしましたw
冷静になると当然というか、「結果」そのものがないあるいは
見込めるかどうかすら不明なものに対して評価することに
意義があるか疑わしいですからね…。

えーとこれからじっくり内部の観念形態を
修正していきたいと思います^^;
この議論で深刻なレベルで蒙が啓けさせられちゃった様。
初めに基準ありきー分かってた筈なのに、
どうしても無駄に保守心が働いて
「幻想的な基準」に固着してしまったようですわ。

>J熱くんさん
その「測り方」の合理性ーをどう測るんですか…？ーという問題。

えと、私もこのスレッドが何らかのコンテンツとして纏まるのを希望したりしま
すw>凸さん

Re: 偉大なる思想家 乾麺 - 2004/07/21(Wed) 18:15 No.5837

>とつ
別にびびっちゃいないよー。
普段のホームポジションというのが自分的にどの辺だと考えているのか、
是非うかがいたいねw

> J熱くん
また新たな概念を持ち出してきたな……
丁寧に反駁しても、また何かわからん事言い出すんだらうな。
ちょっと、真面目に議論する事の徒労感を覚え始めたよ。
何故か衆愚の盆栽を思い出した。こういう感覚だったのか……。
まあ心情的にほっとけないし、俺も次の段階に行く為に
「嫌し」って奴をやってみようかな！
最近とつやヒトシンカもこの言葉使わなくなったけど。

少し遡る。
> もうひとつ、この種の議論がこんがらがる原因がありました。
> それは、東大を頂点とする学歴社会に対する評価の問題です。

> その意味の先駆者が、京セラの稲盛会長(鹿児島大)や青色ダイ
 > オードの中村教授(徳島大)で、これからますますこうした創造型
 > 知性のヒーローが出てきます。というより出てこなければ日本全体が
 > これまでの追いかけ型では、経済的に生き残っていきません。
 > もちろん官公庁や大企業では相変わらずの学歴主義を保持して
 > いるという現実があります。しかしこの保守主義(官僚主義)が
 > 日本を破綻に追い込んでいるのです。

なるほど、これから大学に進学する者は皆、
 多くの人間が一流企業に就職したり、法曹界のエリートや
 日本を動かすテクノクラートなどになったりする日本最高学府、
 つまり高い研究費用を使える環境の東大を拒み、
 中村修一郎や稲盛和夫になる1%未満の確率に賭けて、
 徳島大や鹿児島大に進学するべきなのかも知れない。
 その他大勢が名の知れぬ企業や大学に進む事になろうとも、
 それはそれでいいではないか。
 また官公庁や大企業も、高い確率で努力を重ねてきた東大生を採用するよ
 りも、
 数十年に一人の創造型知性のヒーローを見つけ出す為に、
 大多数の(東大生に比べて)事務処理能力が低く、努力する事が苦手な人間
 で
 会社が満たされるリスクを犯しても、徳島大生や鹿児島大生を雇うべきだ。

> たとえば「日本の政治家が……」というような話題を振ったと
 > しましょう。

試みに近所に住む小学6年生のたかあき君、ともみちゃん、まさし君
 (全員12歳)に上記の話題を振ってみた。
 直感的に誰をイメージしたか訊ねてみると、それぞれ
 「聖徳太子」「卑弥呼」「始皇帝」と答えた。
 彼らは皆ミレニアムクラスの類い稀な「時間意識」を持っており、
 まさし君に至っては広大な中国大陆すら日本と同一に捉える、
 恐るべき知見を備えた回答と言える。
 彼の「時間意識」、そして「空間意識」は天才のそれと何ら遜色ないだろう。
 日本の未来は明るい。

今の俺にはこれくらいで精一杯。誰か採点してくれw

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/21(Wed) 18:22 No.5838

乾麵氏へ

わっはっは。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/22(Thu) 01:08 No.5847

無理矢理反論。自爆覚悟…。

現代となつてはその知性の有り様は非常に種々存在するが、
そのことで漠然とした共通する「知性」の想定への
意味がわからないーについて、述べたい。

この判断基準を例えば「社会的活動における有用性」だとしても
ここまで多様化した社会でこそ、
それ自体が「一概」に言えないではないか。
何が「役に立って」何が「役に立たない」のだ。
その評価構造を想定することこそ妥当でないはずだ。

もっと言えば、「有用」であることと「無駄」であることを
ある意味では区別的に捉えること自体が怪しい。
ーなぜ我々は「耳筋肉動かし力」を計測しないかー
いや、ギネスブックを見よ。
もっとも無駄で役に立たないものが
所せましと大量に「測られて」いるではないか。
多様化した時代、生理的に安定した地域だからこそ、
IQなどのような子ども騙しの遊びが重要で深刻ではないか。

もしも、あらゆる評価基準の妥当性や意味性を
「役立つかどうか」などの普遍的らしい基準によって
再評価するなれば、
麻雀の強さを測ることなどこそ無意味かもしれないのだ。
だが、そうではない。
IQなどの無意味らしい基準を作っては消え、
その評価によって一喜一憂するのが人間の行動原理の一部ですらあるの
だ。
それは、評価基準における一般性が重要かどうか
という問題ですらないことも意味する。
それどころか、重要か深刻になるのは
基準が作られた「後」であることに注目されたい。

なぜどう考えても「無意味な」テレビゲームにあのような値段がつくのか。
なぜ、テレビゲームという限定的過ぎる評価基準の中で
上手さなどを介して優劣感情が生まれるのか。

評価することに意味があるかどうかーという議題の意味が疑わしいのだ。
むしろ、評価して初めて「意味」が生成されうるとも言えるのだ。
このことにより、漠然とした知性の想定を本質的に否定することは
困難かと思われる。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/22(Thu) 01:15 No.5848(管理者)

- > この種の議論(略)をする際に多くの人が見落としている点を
- > 一つだけ、指摘しておきます。
- > まずいわゆる「学問体系」というものは、「過去において蓄積された
- > 知識の集大成である」ということです。

ここにいる誰が見落としているだろうか？
もっとも見落とされにくい事柄の一つ、むしろもっとも大げさに主張され
がちな事柄の一つだと思うが。

- > 宇宙といった全存在はそうした「ことば」「体系」「知識」という
- > 限定されたものでは表現し尽くせない無限のものなので、
- > 当然ながら既存の「学問体系」ではおおい尽くせません。

既存の学問体系が宇宙の全てをカバーできないことは確かだが、それは「ことば」「体系」「知識」によって限定されているから、ではない。そんな大それた話になる以前に、「知性」は種々の制限を受けている。例えばかつて、映画は知的対象ではなかったし、歴史的に言うなら工学も学問ではなかった。現代、まだ麻雀やパントは知性の対象と認められてはいない。昔は漫画を読んだりゲームをする子は「勉強ができない子」と決められていた。「学問」なるもの、「知的対象」なるものが、歴史的に恣意的に決定付けられていることが、まず何よりもここで述べている問題なのだ。「真とは何か」「生きるとは何か」という問いを立てたくせに、「鼻くそはなぜほじりたいか」「なぜおいしいモノも連続して食べると飽きるのか」を問わなかった哲学のあり方と、その下にある社会構造が、これまで「知性的ナモノ」を決めてきたのだ。

例えば今、下痢の時に中身を出さずに屁をこく方法を形式化した人間がいるとしよう。彼は一人の屁物理学者であり、知的人間である(私もその一人だ)。世の中の大半の人は、下痢の時に満足にへをこくことさえ許されずに、一生を終える。

もちろんこの作業は先端の科学研究と比べれば全く幼稚に過ぎないが、実は世の中で知的であるように思われている大半の知的なものは、これと同程度でしかないという状況もあるわけだ(「自殺は悪か?」考えることなど)。

伝統的に価値づけられたもの、社会的に意味づけられたもの、などのワクこそが、「知性」と見なされるものの幅を限定している。←重要 J熱くんが言うような「原理的限界」によるものではなく、知性の外の世界からの、とてつもなくどうでもいい制限のせいで、知性的なものが知性的でないといわれているのだ。

そのワク(制限)の一例は、知恵と知識を独立した2つのベクトルで考えたり、数学というごく限られた一分野のもので種々の知性を測ったりできると信ずるような、古い思考形式にもある。

今さら知恵を数学で測るなどと言っているのが知的だとは、私は思わない。数学で測られる「知恵」とやらが、現代のどの「知的」作業に必要なのか。ギャグセンス抜群の「知的な」日記を公開している人は、数学的知恵があるのか。そんな浮いた話はうんざりだ。(ギャグは発想だ、などという話も)「天才的な芸術家」といううさんくさい概念と数学的知恵とを結びつけるのは、あまりにも時代遅れ(そんな時代が一度でもあったとすれば)である。

会話してみると知恵が測れる、時間意識がうんぬん、なども論外である。その方法では「高い知恵は周囲の低い知恵の誰にも理解されない = 高い知恵

とやらが妄想であるか本当に高いかがわからない」というしごく普通の結果に陥る。結局、各々が「相手のほうが低い」と言い合うだけの状況になることは目に見えている。

本当に知恵が測れると主張するのだとすれば、J熱くんは私とあなたのどちらにより高い知恵があるかを述べるべきだろう。

私は私のほうに分があると思っている。

あなたの測定法が正しいなら私の「勝ち」だし、あなたの測定法が正しくないならあなたの「負け」である。

そこで結論を下すのが「権威」であったり、「既存の体系」であったりした

のがこれまでの姿なのだ。

J熱くんは、まさに氏の主張する「知性の限界」を自ら作り出している。

もっと別様の方向性、つまり知識と知識を連結させたり、引きちぎったりするような作業における「知性」や、特定の「意味のない、または意味のあるもの」に過度に熱中する「才能」、一元的にまっすぐに整列させられない様々の「知性」や「能力」が想定されていなければならない。それを達成するための財力も含むべきかどうか、という程度の話だ。

そうならばこそ、「知性とは何か」という問いに意味がなくなってくるのだ。

「才能 知識 ド根性 運」があれば、「意味」なしで知性を体現するような人になれるだろう。

「同じ経験量でなら、論理性では、・・・」といった想定の種類は、貧しい。

注意すべきは、乾麺の言う「結果が全て」という発想もまた、古くなりつつあるということだ。

黒とつで述べたことだが「評価」などに何の意味があるのか謎だ。

学歴であったり、知性であったり、金であったりという一元的な「結果」が必ずしも個人にとって「良い」のではない。

もちろんあるに越したことはないだろうが、それらが人生の目的であるとするれば、実に窮屈な人生である。

「意味から強度へ」という合言葉が思想界に流行ったが、一応そのあたりに関して考えてみると良いだろう。

例えば私はこんなところでこんな議論をしているが、それが私にとって「良い」のである。

以上は、限定的な能力における「知性」の差を無効にしているわけではない。数学や言語能力において、圧倒的な差があったり、場合によっては先天的な差が重大になる場合があることは当然である。

私が指摘するのは、測られた「数学力」「論理力」を、大事にするための十分な理由が既にほとんど存在せず、さらにそれらは多くの人間にとって、後天的に埋められる程度の差しかないという事実、つまりかつて「知性」あるいは端的に「学歴」とされてきた種々のものの(少なくとも現段階における)幻想性である。

一番単純な言葉で言えば「～さんに知性がある／ないとわかったら何なの(笑)」ということだ。

もちろん、私はその質問に真正面から答えられ、かつ私には知性があるが。(しかしこれについてはこれ以上はノーコメント)

乾麺へのレス：

徳島大＞東大という類の話ではないと思うよ。

まあそこは直接やりとりしてくだされ(笑)

「時間意識」については乾麺が一笑に付されて終わるもんでもないと思うので、

続けてくれたまえ(笑)

Backへのレス:

- > 多様化した時代、生理的に安定した地域だからこそ、
- > IQなどのような子ども騙しの遊びが重要で深刻ではないか。

然り。

上のレスでその種のことについて触れたつもりだ。

しかしこの議論の全体を通して、君のすぐるポイントが確実に最初とかわって

いるね。それがまさに狙い。それが「相対化」ということかと。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/22(Thu) 01:56 No.5849

- > 伝統的に価値づけられたもの、社会的に意味づけられたもの、
 - > などのワクこそが、「知性」と見なされるものの幅を限定している。
- なるほど…。分かってはいたつもりだけど
自分自身に向けたことはなかった。
これに関しては相対化されてしまいました(泣)

そのうち下痢屁技術(仮名)の取得方法のコンテンツを期待。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 06:38 No.5851

< 現代、まだ麻雀やパントは知性の対象と認められてはいない。昔は漫画を読んだりゲームをする子は「勉強ができない子」と決められていた。 >

もちろん、麻雀やパントも知性の対象です。

それを知性の対象でないと思い込むのは、世間というものが何か客観的、絶対的に存在するかのような錯覚があるからです。

そもそも知性とは

自分の周囲の矛盾の解消によって、(自己にとっての)自由を達成する手段のことに過ぎません。

それぞれの自己が何を矛盾と感じるかは、それぞれ個人によって違います。私はそのことを一言も軽蔑したり否定したりしていません。

私が指摘しているのは、ある分野において A が B を包摂したり含まれたりという(ちょうど集合におけるベン図のような)包摂関係が存在し、それを決定する共通のものとして「時間の長短」があるということです。

そしてその時間が長い方が短い方を包摂するという意味で「普遍性」は測定できると言っているのです。

たとえば ギャグで言えば、ゲッツでヒットした XX (名前は知らない) よりも 松本なにがしが普遍性がありますし、松本なにがしよりも、「わっ毒ガスだ」を出した頃のビートたけしが普遍性があります。

これらは何をギャグと感じるかの「本人が持つ直感的時間意識の幅」によって 決定されるのです。

< 本当に知恵が測れると主張するのだとすれば、J熱くんは私とあなたのど

ち
らにより高い知恵があるかを述べるべきだろう。>

もちろん、(麻雀以外では)私の方に高い知恵があります。
なぜか。
私の方が思索、探求の質と量において圧倒的に上回っているから
です。
あなたの主張は、昔から繰り返されてきた「経験主義」の現代版に
過ぎません。
私はそのことを一瞬で見ぬいています。
それに対しあなたにとって、私が説明に使った「微分」や「複素数」
の本質などは、これまで考えたこともなかったことでしょう。
(微分については、うすうす分かっていたらと推察しますが)

将棋における知性の違いは「読める手数」の違いにリンクすることは
異論がないでしょう。
その将棋で、20手先が見える達人にとって、5手先しか読めない
地方名人の手は、まるで「手のひらのしわを見るがごとく」ありありと読むこ
とが出来ます。
それと同じように哲学の分野にも包摂関係があるのです。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 06:51 No.5852

もう一つ、追加しておきます。

< そこで結論を下すのが「権威」であったり、「既存の体系」であったりした
のがこれまでの姿なのだ。
J熱くんは、まさに氏の主張する「知性の限界」を自ら作り出している。>

私は、(まさにあなたと同じように既存の権威を疑ってきたので)
既存の権威や他人のことばを一切使わずに、あなたの理解力に
訴え、あなたの理解力に沿って議論を進めているのは分かる
はずです。

Re: 偉大なる思想家 イオ - 2004/07/22(Thu) 09:18 No.5854

覚えている人はいるでしょうか？
お久しぶりです。
あまりに暇なんで書き込みに来ました。

J熱くんさんいったん落ち着きましょう。

>もちろん、(麻雀以外では)私の方に高い知恵があります。
なぜか。
私の方が思索、探求の質と量において圧倒的に上回っているから

です。

>時間意識は先天的、固有のものです。

>では、知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？

測定可能です。

一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して話をしてみることで、測定者は、自分の知恵の到達度まで対象者の理解度を測定することが可能です。ちょうど1000メートルの山から見れば、Aの山が500メートル、Bの山が300メートルという風に正確に把握できるようなものです。

ただし、この山の高さは「知識」の測定の場合のように、ある目に見えるものでは測定できません。(目に見えるもの = 形成されたものの測定なら、知識の測定になってしまいます)

むしろ対象者がどの程度の時間意識の広がりにおいて事物を認識しているか、その時間意識の幅そのものによって測定できるのです。

上の引用部分の要点を取り出すと次のようになります。

「先天的・固有のもの = 時間意識 = 知恵 = 思索・探求の質や量によって決まるもの = 後天的なもの」

次に将棋の話について。

知性が仮に知識と知恵のベクトルからなるとしましょう。

そうすると、将棋における知性は将棋における知識を内包することになりますね。

将棋における知識とはいわゆる「定石」のことでしょう。

しかしあなたは先が読めることは将棋における知性にリンクすると言っています。

「知恵」にリンクするなら問題はないですが、「知性」にリンクするとした場合、あなたの言葉の定義に矛盾をはらむことになります。

こういう議論の時は言葉の定義が大事ですよ。

論点ずらしていい？ p - 2004/07/22(Thu) 10:37 No.5855

改めて最初から読み返してみると...長っ！

次に...凸にやられっぱなしじゃねーか(泣)

自分の書き込みが情けなくなってくる。俺と凸のこの差はやっぱり知識によるものなのか？

今ふと思ったんだが、大天才とよばれている人達(アインシュタインとか)に共通点ってないのかね？知識？(凡人との知識の差は)ばらつきがあると思うが。このレベルに達するとやっぱ才能の差？

つまり俺はどんなに頑張っても後世に天才として名を残すことができないこともあるの？それ、悲しすぎるよ(感情論)

しかしなんか共通点があれば天才への道標になるのに。

ちなみにだけど、いつかヒット曲の共通点を調べたい。そうすれば、いい曲バンバン作れるしw

蛇足になるけど、俺は松本人志が好きだ。

一つ言い忘れたことがあるけど、ここでいう天才は新聞とかで「20世紀の天才達」と報じられるような人ね。屁こきの天才とかは含まずw

Re: 偉大なる思想家 けいすけ - 2004/07/22(Thu) 11:38 No.5856

思想関係についてはよくわかんないですが、一連のやり取りを見て僕が思ったことを書きます。二番煎じですが。

現代は豊かになってきて、食べ物が多くなかったり、娯楽が多くなかったりした昔とは違って、一つのものさしで色んな事が計れなくなっているということだと思います。

ここで議論されていた数学などの方の知性や知識というものは、ただ単に社会の仕組み(偏差値の高い大学に入ることが頭がいいってことじゃね？っていうもの)に沿ったものの考え方であるだけということじゃないですかね？

アインシュタインとかエジソンとかの知識人がどうのっていうのも、その時代の世界が必要としていたこと(相対性理論とかでした?)を作ったってことでそれぞれ天才なんじゃないでしょうか？要はその時代のより多くの人間に評価されるということです。

かなり極端な話、原始時代は「マンモスをより効率よく狩る方法」とかを編み出した人が、当時の知識人であり、知性の塊、インテリだったんだと思います。

原始時代には誰も相対性理論なんかは必要ないと思うし、その時代にアインシュタインやベートーベンがいたとしても、歴史には残らなかったと思います。原始時代より現代の方が知識が進んでいるというなら、アインシュタインは、余裕でマンモスを狩る方法を編み出せると思います。でも多分簡単にはそうはいかないでしょう？

知性なんていうのはその時代のニーズを捉えることだと思いますよ。だからその当時には評価されなくて、後々評価されるなんてことが起きるんだと思います。江戸時代という鎖国時代に、既に n 次方程式を解いていた人がいるなんて話を聞いたことがあります。こういう事は恐らく世界中で起きていて、ただその時代には n 次方程式は必要なかったんだと思います。

現代は色々な価値観がありますが、面白い娯楽とかを求めるという時代であると思うので、「PS2を作った人」とか「野球をエキサイティングなものにするイチロー」とか「麻雀最強」とかが例えば知識があるとされ、「マンモスを物凄い効率で狩る人」は別に知識でもなんでもないとということになるんだと思います。

「屁コキの天才」というのは今の時代がそれほど必要と必要としてないのでしょう(笑)

でももっと先、必要とされる時代が来るかも知れません。そうなったときに、凸さんは初めて「○○○○年も前に既にこの理論を体系化していたのか...」といった物すげえ天才じゃねえか...となるんだと思います。

> pさん

別に凸さんやられてないですよ。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 13:00 No.5857

< イオさん >

< 次に将棋の話について。

知性が仮に知識と知恵のベクトルからなるとしましょう。

そうすると、将棋における知性は将棋における知識を内包することになりますね。

将棋における知識とはいわゆる「定石」のことでしょう。

しかしあなたは先が読めることは将棋における知性にリンクすると言っていま

す。
「知恵」にリンクするなら問題はないですが、「知性」にリンクするとした場合、あなたの言葉の定義に矛盾をはらむことになります。 >

将棋、いい例ですね。
まさにおっしゃるように定跡が知識で X軸側のベクトルです。
しかし素質のある者は、必ずそれまで知識として定跡化された一手を編み出します。
これが Y軸側の知恵です。これは定跡からは出てこないものです。
それでは、それはどこから出てきたのか？
これがその素質ある個人に内在していた知恵です。これは先天的固有のものなので、たとえ将棋を習いたての8才の子供でも大人の達人から見れば(知識は不足しているものの)これは、将来名人になるなどと予見できることになるのです。

それともあなたの指摘は、私の回答の
<もちろん、(麻雀以外では)私の方に高い知恵があります。
なぜか。……>

という部分の「知恵」の使い方の問題でしょうか？
それなら、それはその前のとつげきさんの
< 本当に知恵が測れると主張するのだとすれば、J熱くんは私とあなたのどちらにより高い知恵があるかを述べるべきだろう。>

の部分の「知恵」のことばに対応して使用したと理解してください。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 13:33 No.5858

知恵と知識の関係について

知恵(X軸側)と知識(Y軸側)の二つのベクトルについて少し補足しておきます。
この両者はどちらが本質であるかという、X軸側です。なぜか。
たとえば、X軸側(先天的知恵)が高いからこそ、決まりきったものとして教えられるY軸側の既存の知識に違和感を覚え、その本質を疑い、文献を渉猟し思索を重ねるからです。

(ついでに言えば、その結果として知識が増えるのであって、知識を増やすことそのものを目的としているならどこかで簡単に息切れします。
このコーナーを読んでいるような人なら、中学校で数学は出来るものの、技術家庭や音楽のシンコペーションなどはさっぱり理解できなかった、あるいはその逆に美術は抜群だったもののルート計算が出てきてからの数学がさっぱり分からず、面倒くさいだけだった、などの覚えがあるでしょう)

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 13:41 No.5859

ごめん。上の X軸側とY軸側は反対です。

Re: 偉大なる思想家 イオ - 2004/07/22(Thu) 14:35 No.5861

勘違いされてる気がするんですが...

まずはじめに。

将棋の例はそれ以前の話とは関係ないですよ。

また将棋の例は別に「知恵のある人間は定跡知らなくても云々」という話がしたかったわけじゃなくて、J熱くんさんはずっと、知恵と知性を区別して扱ってきたのに将棋の例の時だけ混同していると言うことを指摘しただけです。

Re: 偉大なる思想家 魍魎魍魎 - 2004/07/22(Thu) 16:08 No.5865

前略

「知識」を「知性」(J氏の言うところの知恵)とムリに分けるような思考方法の問題点についてとつげき氏は言及しているが、J氏はこれに反論することなく、知識と知恵は2ベクトルに分けられることを前提としている。

J氏が提唱する知恵を測定する方法の問題点に関して、とつげき氏の反論があるが、J氏はそれを無視し、しかも「思索、探求の質と量において圧倒的に上回っているから」という自身の提唱する測定方法をも用いずに、とつげき氏より高い知恵があると結論付けている。

J氏は「時間意識」という概念を用いて、より古い時代を連想することや普遍性のあることが、より新しいものを包摂するとしながら、とつげき氏の論法は「昔から繰り返されてきた」ものであると批判している。

議論の本質とは離れるが、将棋において「何手先まで読めるか」は「何種類の手を読めるか」に比べると棋力に与える影響は小さい。20手(普通は奇数だが)先まで読める棋士がいたとして、その棋士が20手先を1種類読む労力と時間で、3手(又は5手)先を何種類読めるだろうか。集中力、考慮時間とて無制限ではない。20手先を読んでいるようでは勝てないであろう。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 18:16 No.5867

魍魎魍魎さんへ

< 「知識」を「知性」(J氏の言うところの知恵)とムリに分けるような思考方法の問題点についてとつげき氏は言及しているが、J氏はこれに反論することなく、知識と知恵は2ベクトルに分けられることを前提としている。 >

それに対する反論が不十分だと言うなら、もう一度説明しておきましょう。とつげき氏の次の部分

< いくら知識があっても、「知性」とは別物だという見なし方だ。
例えば数学に限った話で、解法の丸暗記をしまくって偏差値が高い人 というのは存在するが、解法をほとんど覚えておらず、その場の発想

である程度の偏差値を出す人がいる。
 このとき、後者の方が「知性」が高いとみなされがちである。
 ところが、「数学的能力」自体が厳密なものではなく、実際にはどちらの方が優れているのかは、場面によって異なる。
 例えば入試に限って言えば、いちいち発想などしているよりも、知識を投げ込んだ方がずっと効率的に得点できる。
 (その方が生き方における効率も高く、また有り余るほどの記憶力を持っていたのかもしれない、どちらが優れているのかは全く不明である) >

ここまでの、とつげき氏の論点は、「入試(という既存分野)における数学の学力判定」という分野に限られており、その分野では「時間的、処理能力的」な制約があるので知恵を測定するのには限界があるとは、私が再三述べていることです。

つぎにとつげき氏の

< 数学的な発見をする場合においても、数々の過去の数学的知識を利用して「新しい発見」をすることが、独自に「発見」することと比べて劣る理由はない。
 よほど特異な分野に進まない限り、「知性」が「知識」より役立つことは少ない。
 「もしも同じ知識なら、よりできる」という永遠に達成されない条件下での「知性」を比較することに、何の意味があるのか謎である。 >

について。そもそも新規創造というものは、本来個別にあった原理の新たな組み合わせによって生まれます。
 私が言っているのは、そうした新たな組み合わせを生むものは何かということです。とつげき氏の説明のように既存の知識だけを知性のよりどころにしていれば、この新規創造の部分が何から生まれるかが説明できません。(まさしく次元の違いです)

論点が多岐にわたっても、混乱するだけなのでいったん論点をしぼりましょう。
 魍魅魍魎さん
 新規創造(新たな発見)を生み出すのはいったい何ですか？
 既存の知識ですか？

しているので、

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 18:32 No.5868

魍魅魍魎さんの指摘の第2点について

< J氏が提唱する知恵を測定する方法の問題点に関して、とつげき氏の反論があるが、J氏はそれを無視し、しかも「思索、探求の質と量において圧倒的に上回っているから」という自身の提唱する測定方法をも用いずに、とつげき氏より高い知恵があると結論付けている。 >

について。

前にも述べたように知恵の測定は、ボキャブラリーの測定のような客観的に数量化できるものではなく、対論する両者が感じる「時間意識の広がり」の程度の包摂関係です。

相手が600メートルの山であるか400メートルの山であるかを一番見分けられるのは、本人が500メートルの山であるときです。100メートルや200メートルの山からすると、どちらも「高い山」であるとしか見えませんし、400メートルの山のすぐふもとにいる場合は、600メートルの山そのものが見えない場合さえあります。

そこで私は、とつげき氏を「私はあなたの論点の根拠を簡単に見ぬいていますよ、でもあなたの高さなら私の山の高さを感じるでしょ」と挑発しているわけです。つまりとつげき氏の反論を無視しているのではなく、反論を期待しているのです。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 21:08 No.5873

魑魅魍魎さんへ 第3点

< J氏は「時間意識」という概念を用いて、より古い時代を連想することや普遍性のあることが、より新しいものを包摂するとしながら、とつげき氏の論法は「昔から繰り返されてきた」ものであると批判している。>

私は昔からあるから(古いから)とつげきさんが駄目だと言っているではありません。
とつげきさんの「経験主義」は、過去にも簡単に論破されてきたように、現代においても簡単に論破されるのですよ。と言っているのです。

ここでもう一つ、論点を整理しておきましょう。

人間が経験したことがすべて、すべての基準は相対的なものであり絶対的な基準などないのなら、普遍的な法則(すべての時間と空間において通用する → 個別の人間がどう思うかに関係ない)など何一つないことになってしまいますが、とつげきさんこれについてそのとおりなのですね？

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/22(Thu) 21:14 No.5875

知識の重要性は理解した。
だが次のことは、これでは理解できない。

例えばここで「なぜ人を殺してはいけないのか」という問題を提起したとする。
この前提を本気で信じて「マスコミ的」知識を展開する者もいればどこからか分けのわからない「倫理学」的知識をひけらかす者もいるだろう。だが、ここでその「人を殺してはいけない」という前提に対してからして笑える者がいる。
これらは知識があるから笑えるのだろうか？！
そう思えない。

むしろ、既存の固定観念を前提とした知識は不要どころか邪魔だとすらこのような問題に対して限れば思える。

事実、私は本を一切読まずに(あるいは読むべきではないと考え)こうした中に浮いただけの倫理観念への相対化を可能としてきた。

なぜ私なんかよりも遥かに知識があるだろう自称識者達は、笑いのネタにもならない「道徳的憤慨」をして恥を晒せるのか。必要がないから考えてなかっただけと言えばそうかもしれないが、「憤慨」する以上、心理的な次元において必要ないと思えるのはおかしいだろう。

この差はどこにあるのかと考えたとき、知識とは明らかに区別すべき「知性」しか思い当たらないのだ。間違った「知識」を間違ったと推論できる能力もその1つだ。この能力の重要性を否定するなら、我々は道徳や宗教の「知識」をまじめに「学ぶ」べきだろう。

ここで提唱した「知性」は恐らくJ氏の考える「知恵」に近いだろうとは考えている。

「知性」を測ることが役に立つか、否か。それを想定することに意味があるか、ないか。違う。役に立つかどうかをそもそも疑ったりして考える力が「知性」なのだ。これがない人間は溜まった知識を入出力するだけの様な単なるデータベースの塊に等しい。

ちなみにここで提唱した「知性」の価値は、別に時代や地域の価値構造に依存しない。至って汎用である。

Re: 偉大なる思想家 イオ - 2004/07/22(Thu) 23:11 No.5880

常識をうち破る能力が高いほどよとする社会は深刻なパラドックスを持つことになる。
つまりこの社会にあっては「私(常識)の言っていることを否定するのは正しいことです」という命題が成り立たなければならない。
しかし、この命題は「全てのクレタ人は嘘つきだ」と全く同じものである。

それではどうすればよいのか？
「私(常識)の言っていることを肯定するのは正しいことです」としてしまえばよいではないか！

こうして道徳家たちは常識にとらわれることになってしまった。

ではどうすれば常識にとらわれずにパラドックスを回避できるのだろうか？
これは当たり前と言えば当たり前だが「常識を疑う」というものを能力ではなくその人の単なる特徴と捕らえておくのが無難だと思う。
つまり「常識を疑うということが果たして価値のあるものなのか？」と疑うことが最も妥当な解決策だと思う。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 23:45 No.5881

イオさん

< 常識をうち破る能力が高いほどよしとする社会は深刻なパラドックスを持つことになる。

つまりこの社会にあっては「私(常識)の言っていることを否定するのは正しいことです」という命題が成り立たなければならない。

しかし、この命題は「全てのクレタ人は嘘つきだ」と全く同じものである。>

あなたの言うパラドックスは単純な誤解にもとづいています。

その単純な誤解とは、世界を固定的、恒常的なものととらえるところから生じます。

「私の(今言っている)このことばは、今は正しいが(世界は時と共に移ろうので)いずれ私のことばさえ固定化し、形骸化していきます。したがって私の言うことばを疑うところから世界の再生が始まります。」

例えば、「正しいが正しくない」というパラドックスを回避することになるのです。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/22(Thu) 23:51 No.5883

BAchhuman さん

< ちなみにここで提唱した「知性」の価値は、別に時代や地域の価値構造に依存しない。至って汎用である。>

そのとおり。それが普遍的法則 = 知恵です

Re: 偉大なる思想家 イオ - 2004/07/22(Thu) 23:58 No.5884

>「私の(今言っている)このことばは、今は正しいが(世界は時と共に移ろうので)いずれ私のことばさえ固定化し、形骸化していきます。したがって私の言うことばを疑うところから世界の再生が始まります。」

では「常識を疑う事は価値がある」という常識も形骸化し固定化しつつあるのでその妥当性を疑います。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/23(Fri) 02:10 No.5885

イオさん

< では「常識を疑う事は価値がある」という常識も形骸化し固定化しつつあるのでその妥当性を疑います。>

いずれにしてもこうしたことば(命題)は時間と共にある存在なので、パラドックスを正確に回避するにはそのことをわざわざ断っておけばいいという意味です。

この場合ですと

「常識を疑うことは時として価値がある」といえばいいのです。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/23(Fri) 07:06 No.5890

>「私(常識)の言っていることを否定するのは正しいことです」という命題が成り立たなければならない。

この命題が成り立つ必要はないし、成り立たない。

当然、常識者は常識の価値を保守するであろうし、常識を覆したものはその価値を主張するだろう。

その上であえて私が、
なぜ常識を覆すことに価値あるという帰結になるように
「知性」を定義したかというと、
それ自体に決定的だろう個人的水準での
「得」があるだろうと推察するからだ。

いい例に麻雀界がある。
ご存知だろう、つい最近までは「流れ」や
「権威者の打ち筋が正しいこと」が麻雀界の「常識」であった。(今も尚一部では常識だろう)
そこで、この「常識」と新しい「統計学を使った非常識」の
どちらにすぎた場合、最終的に得かの判定基準に、
それを選択した人間の心理を想定すると良い。
「常識」が「常識」であり続けるならばいいが、
必ずそれよりも(知恵の継承が一方向的であれば)より
普遍的で便宜的な新しい「常識」にとって変わられる。
この一連の過程は、巨視的には不可逆的である。
(現代の科学体系が原始宗教によって塗り替えられることになることは想定
できにくい。)

こうしたことにより、
「疑うこと」は恒常的に「得」であるといえる。
時代の常識にただ単に歯向かうのではなく、
包み込めるかどうかの能力を「知性」としたのだ。

「私(常識)の言っていることを否定するのは正しいことです」
これは、
「私(常識)の言っていることをより高次の「常識」によって内包することは得である(価値がある)」
とでもすれば、
そもそも自己矛盾などの問題ではなからう。

Re: 偉大なる思想家 イオ - 2004/07/23(Fri) 09:11 No.5893

なるほど...

既存の法則を内包するより普遍的な法則の構築を「知性」と呼んでいたわけ
ですな。(相対論や量子力学がニュートン力学を極限の一つとして含んでい
るのと同じ事だと考えてよろしいか?)

それならば確かに知性の価値に重きを置くことの妥当性は納得できる。

ただし、この知性の価値も知識(今までの常識)がなければ諸刃の刃となりうる。

そのよい例がトンデモ科学と呼ばれるものだと思う。

彼らは「量子論も相対論もニュートン力学から導かれる。つまりニュートン力学こそ最も根本的な理論である」「電磁気学をより普遍化して古典理論の体系だけでもって相対論や量子論と同じ結果を導き出した」などと主張するのである。

(中にはもっと次元が低く「相対論を捨ててニュートン力学とマクスウェル電磁気学だけを基本原理とせよ」みたいなものも存在するが...)

彼らの主張を一つ一つ読んだわけではないので十把一絡げにするのは危険かもしれないが、彼らの多くは「光速は座標系によって違う」「絶対静止座標系は存在する」と言うような常識を覆す発言をしている。

しかし彼らの論文には価値がないのである。(過激に言い過ぎたな)なぜなら彼らは既存の学問体系についての「常識的」な知識をおよそ持ち合わせていないか、その常識の持つ意味を歪曲して理解しているのである。

このように必ずしも知性が知識に勝るという理由はないように思われるが、その辺はどうなのだろう？

何だか常識云々という話から離れてトンデモ批判になってしまった気もするな。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/23(Fri) 09:43 No.5894

>相対論や量子力学がニュートン力学を極限の一つとして含んでいるのと同じ事だと考えてよろしいか？
まさにそれだと思う。

自然科学にそれほど詳しくはないから、あまり深いことは言及できないが、次のように単純に考えれば分かりやすいと思う。

まず、自然科学体系の究極的根拠は経験的事実でしかない。
ここはいいだろうか？

ゆえに、「光速は座標系によって違う」「絶対静止座標系は存在する」などが客観的事実だとすれば、それは別にトンデモなく常識を覆したことになる。
これがでっち上げか空想なら普通にトンデモないが(笑)

例えば、モデル化して、
「AはBである」という「知識」、
「BはCである」という「知識」から、
結局「AはCである」という「知恵」を持つとする。
しかし、この「常識」は新たな「知識」あるいは
今まで考慮してなかった放置された知識、
「CはDである」によって、
結局「AはDである」となる。
これによって「AはCである」という「常識」を覆したわけだ。

ここから「いや、やっぱりAはCだ！」と還元されることはない。

トンデモ科学を完全な意味で否定するには、
 できる限りの多くのデータ(知識以前のより低次な知識)が必要だろうけど、
 現実的ではない。
 だから結局「知識」で妥協してしまい、
 その知識の真偽から疑われると、弱かったりする。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/23(Fri) 10:05 No.5895

イオさん

<そのよい例がトンデモ科学と呼ばれるものだと思う。
 彼らは「量子論も相対論もニュートン力学から導かれる。つまりニュートン力学こそ最も根本的な理論である」「電磁気学をより普遍化して古典理論の体系だけでもって相対論や量子論と同じ結果を導き出した」などと主張するのである。
 (中にはもっと次元が低く「相対論を捨ててニュートン力学とマクスウェル電磁気学だけを基本原理とせよ」みたいなものも存在するが...)
 彼らの主張を一つ一つ読んだわけではないので十把一絡げにするのは危険かもしれないが、彼らの多くは「光速は座標系によって違う」「絶対静止座標系は存在する」と言うような常識を覆す発言をしている。
 しかし彼らの論文には価値がないのである。(過激に言い過ぎたな)なぜなら彼らは既存の学問体系についての「常識的」な知識をおよそ持ち合わせていないか、その常識の持つ意味を歪曲して理解しているのである。>

そのとおり、新たな創造は、すべて既存の知識をきちんと検証し批判できるものでなければいけません。
 それで私は知性をX軸側の知識、Y軸側の知恵の二つのベクトルが構成している「面積」だと言っているのです。

おっしゃるとおりです。

Re: 偉大なる思想家 魍魎魍魎 - 2004/07/23(Fri) 14:33 No.5898

我々は、J熱くん氏監修の下、「間違えないしょうゆさし・ソースさし しゃべるくん」の改良に成功した。オリジナルよりも数段信憑性、普遍性の高いアナウンスが可能となった。例えば、オリジナルの「しょうゆです」というアナウンスは以下のように改良されている。

「これは時としてしょうゆです」

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/23(Fri) 23:46 No.5901(管理者)

なにをだまされてるんだお前らは(笑)。
 もっと頭を使え。

論理的包含関係で包含してる方が(普遍性があるほうが)優れているなどというのは誤解だ。
 哲学は、論理的に数学や工学を包含するが、哲学はそれらより優れていない。
 論理的包含関係(や、時間的包含関係??)など、何というものではない。

魑魅魍魎の「しゃべるくん」のカキコが的を得て(えて！)いるところ。
 「私はあなたの意見を考慮した上で、より広く語っている」
 という言葉がどれほど信用できないか、J熱くんと私との関係をもとに説明しよう。

- > 知性は、「体験的知識(いわゆる知識)」と「普遍的知識(いわゆる知恵)」の二つのベクトルによって成り立っています。
- > 語学は前者が大部分を占めており、数学は後者が大部分を占めています。(物理や化学などはその中間ゾーン)
- > そういうと数学で知恵がはかれるのか、という疑問が湧きますが
- > 本来は、はかれます。

はい、はかったとしましょう。
 で、私がJ熱くんに、

- > 本当に知恵が測れると主張するのだとすれば、J熱くんは私とあなたのどちら
- > らにより高い知恵があるかを述べるべきだろう。

と言ったのに対する答えが、

- > もちろん、(麻雀以外では)私の方に高い知恵があります。

ということであった。
 麻雀においては私の方に知恵があり、そうでない部分ではJ熱くんの方に知恵がある？

とすると、「普遍的知識」とやらの「点数」はどうなるのだ。
 どちらが高いのだ？

私は「麻雀において」「普遍的知恵が高く」、「それ以外で」「普遍的知恵が低い」。どうということだ。

この手法で言えば私はJ熱くんより「プログラム能力において」「普遍的知恵が高く」、「ギャグ能力において」「普遍的知恵が高く」、その他いくつかにおいては「普遍的知恵が低い」のであろう。

いったい何が「普遍的」なのだろうか。

数学で測れると言っておいて、対象によって激しく異なるではないか。

一元的な「点数化」ができるなら、「麻雀においては」などということ自体が無意味になるはずではないか。

これが私が再三言っている論点だ。

「数学は数学の知性を測るものである。他の領域と共通する知性を測れなくは

ないが、実際問題として、世の中の大部分の知性を数学では測れない。数学で

測った知性の差よりも、知識の差による差が大きい分野の方が遥かに多い」ということだ。理解できないやつはおれの記述だけを10回読め。

- > 複素平面の意味である「目に見える存在(実数空間)」と
- > 「目に見えない存在(虚数空間)」はリンクしているなどは、
- > ひょっとすると数学でメシを食っている専門家よりも瞬時に理解するでしょう。

なんだこれは。

「目に見えない」電磁波は、「電磁波計」で計測できる。リンクしとる。
 むろんリンクしない場合もある(普遍的に考えてみた！)。

電気工学を学んだ人間に向かって、

- > それに対しあなたにとって、私が説明に使った「微分」や「複素数」
- > の本質などは、これまで考えたこともなかったことでしょう。
- > (微分については、うすうす分かっていただろうと推察しますが)

このレベルだ。

例えば消費電力を求めるために、複素数計算は普通に出てくる。
 実際に「存在するもの」を、目に見えない存在(笑)で測るなど普通のことだ。
 量子力学でもそうだ(授業でやっただけなので詳しくないが)。
 虚数を「目に見えない」などと捉えている時点で知性的射程がすごく短い。
 それを「考えたこともない」と予想してしまう知恵のなさはどうだ。
 知識がないということが、いかに知性のなさにつながるかこれでおわかりだろ
 う。

私が言っている論点の二番目がこれだ。

例えば、知性 = 知識 + 知恵 と表される場合に、知識と知恵を独立なものとして

考えているのがJ熱くん。非常に古い「知性」感である。

私は、この式において、知識と知恵を補完的なものだと考えているわけだ。
 数学を学ぶ「根気」「集中力」「金」「先天的能力」がある人は、知識をためやすい。

知識をためれば面白くなって、ますます「学ぶ意欲」が沸いたりもする。
 数学で「知恵」を点数化するなどと言っても、果たしてそこで計測された「知恵」
 が、それまでのやる気や根気や意欲によって(つまり数学的知識の溜め込みによ

って)得られたものなのか、それとも「先天的なもの」なのか、判別できないではないか。

つまり結局、J熱くんの言うところの「知恵」的な何かの存在を想定するとしても、知識と知恵は補完的なものであるとしか、我々に認識されないではないか。

さて。

ばかばかしいので無視してきたが、

- > 知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？
- > 測定可能です。
- > 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
- > 話をしてみることで、測定者は、自分の知恵の到達度まで対象者の
- > 理解度を測定することが可能です。ちょうど1000メートルの
- > 山から見れば、Aの山が500メートル、Bの山が300メートル
- > という風に正確に把握できるようなものです。
- > 一番見分けられるのは、本人が500メートルの山であるときです。
- > 100メートルや200メートルの山からすると、どちらも
- > 「高い山」であるとしか見えませんし、400メートルの山の
- > すぐふもとにいる場合は、600メートルの山そのものが見えない
- > 場合さえあります。

何を想像を逞しくしてるのだ。
 せっかく測った「数学の点数」はどうなったんだ。
 そして、「この計測方法には、自分よりも高い人が本当に高いのか、それとも高
 いと言っているだけなのか見分けがつかない」という原理的な問題があるとい
 う
 私の指摘を無視すな(笑)
 先に述べたとおり、この方法で判別するに、私はJ熱くんより遥かに知恵が高
 い。
 しかしJ熱くんはそうではないと主張している。
 その結果、この計測方法が既に破綻しているということに気づく…まあいい
 や。
 山って…

現実的に計測不可能なばかりか、「計測できた」ところでほとんど何にも応用
 でき
 ないようなものを想定し、妄想することを、私は批判しているのだ。
 もちろんJ熱くんが誤解しているように、私は厳密な意味で「知性 = 知識」と言
 っ
 ているわけではない。まあ、ほとんどの人はわかっているだろうが。

質問事項にまともに答えず、もっともらしく？自説だけを伝え続けるタイプの
 凡人が存在する。
 もっと議論する知性を磨きなされ > Back、p他
 なお以後、私の質問と論点に沿わない垂れ流し発言には、面倒なので(攻撃
 し
 やすい笑えるものや、気が向いたときを除いて)レスしない。

> とつげき氏の説明のように既存の知識だけを
 > 知性のよりどころにしていれば、この新規創造の部分が何から
 > 生まれるかが説明できません。

> とつげきさんの「経験主義」は、過去にも簡単に論破されてきたよう
 > に、現代においても簡単に論破されるのですよ。と言っているの
 > です。

何もかも違う。
 愚昧の称号を与えて良いか伺います。

Re: 偉大なる思想家 あげ企画官 - 2004/07/24(Sat) 01:30 No.5902

あげパスワード忘れた…これかな

Re: 偉大なる思想家 あげ企画官 - 2004/07/24(Sat) 01:31 No.5903

ちがった こっちか

Re: 偉大なる思想家 Revin - 2004/07/24(Sat) 03:46 No.5905 

頑張って長いレス全部読んだんで せっかくやから俺もなんか書こ。

「知性 = 知識 + 知恵」(知識と知恵は、Jさん定義のものとして)のモデルでの
とつの主張、「知識と知恵は補完的なもので、かつ複数の分野に対して普遍的
ではない」という方が俺は正しくて有用やと思う。

理由としては、そもそも赤ん坊としてこの世に出てきた瞬間(あるいは胎内でも
キンタマ内でもええけど)からその人の「知性」を伸ばすものは、他でもない
「知識」やから。

赤ん坊が外部からの知識を全く受けとらない場合、知性は決して伸びることは
ない。

マンガであるような、冷凍保存された人間が未来で目覚めるようなやつをイメ
ージするとわかりやすいかも。

とつHPを読んで「知恵」が上方修正された人も多いいんじゃないかな? これ
も「知識」を得て「知恵」を育んだことになる。

持っている知識だけをもとに山ごもりでもして思索し、新たな考えに至るとい
うこともあるが、これは自身に加工された知識を再入力しているということに
なるやろし。

話がそれたけど、知識(ネットワーク的にはパケットみたいなもんか)を受信
することでのみ、知識も知恵も育まれる。

でないと、「知恵を磨く」なんて言葉自体が矛盾するしね。

もちろんその人が先天的に持っていた「知恵」は絶対ある。でもそれ、知識に
よって上方修正も下方修正も可能で、結局重点は知識になるんやと思うよ。
まさに補完的やね。

一番最初の辺の東大がどうかの問題は、ドラクエでいうと、自分の全部の
ステータスが分からん状態で、数学の試験で「かしこさ」の値が低いと分かっ
て残念がってるみたいな感じやね。

「かしこさ」は低いけど「うんのよさ」がメチャメチャ高いことに気づいて遊び人
になり大成功したら、それは「かしこさ」が高い成功した数学者と何が違うん
や、ってことちゃうかなあ。

みんな「かしこさ」に依りすぎちゃうかなあ、と思った今日この頃でした。

ネタボケ作らんとあ。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/24(Sat) 04:18 No.5906

凸氏の述べることは理解したし、理解できる。あと面白い。
だが、どうしても腑に落ちれない部分がある。

結局凸氏の論が最終的に依拠するのは、
(ある種限定的な)道具主義的発想でしかないのでは?
この発想自体のほとんど多くは多分、
資本主義的価値構造を下部とするだけのもののように思える。
(例えば、今も尚自給自足で生活する原始的な民族などにとっては
電磁気学など、どうでもいい何かだろうことからわかる)

私が何度か挙げた「知性」というものは別に道具主義に
依拠せず、そして依拠すべきでもない。
テレビゲームの例でもわかるように、
役に立つかどうかという価値判断はそれほど普遍的ではなく
説得的でもない。
そこで、もっと根底の心理的次元から「知性」の価値を提示した。
が、これについてダイレクトに反論されていない。

(あるいは道具主義に還元し再評価して終わっている。)

道具主義自体がほぼ相対化された私と、
 そうでない(とすればの)凸氏のどちらが
 この議論において優位かといえどどちらであろう。
 それは、包含関係において相対化された方が
 より共有要素から相手の価値判断を否定する場合において
 説得性が高い、という当然の仕組みを考えればわかる。
 この議論を例に取れば、
 道具主義は凸氏などのその共有者に限り有効であり、
 私は大体の人間に共有せざるを得ない心理的挙動から論じたので、
 その他の末端要素を無視すれば、
 それより優位に多くの人間に有効であると思われる。

この、"個人レベル"で有効且つ利用可能な
 より普遍的な次元から思考できるかできないかの差における能力を
 私は「知性」としていただけたのだ。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 04:44 No.5907

とつげきさんへ 第1点
 < 麻雀においては私の方に知恵があり、そうでない部分ではJ熱くんの方に知恵がある？
 とすると、「普遍的知識」とやらの「点数」はどうなるのだ。
 どちらが高いのだ？
 私は「麻雀において」「普遍的知恵が高く」、「それ以外で」「普遍的知恵が低い」。どういうことだ。
 この手法で言えば私はJ熱くんより「プログラム能力において」「普遍的知恵が高く」、「ギャグ能力において」「普遍的知恵が高く」、その他いくつかにおいては「普遍的知恵が低い」のであろう。
 いったい何が「普遍的」なのだろうか。
 数学で測れると言っておいて、対象によって激しく異なるではないか。
 一元的な「点数化」ができるなら、「麻雀においては」などということ自体が無意味になるはずではないか。>

ここは7/22のイオさんの指摘に対して答えたとおり、
 そのまへの、とつげきさんの「知恵」ということばに応じて
 「知恵」ということばを使って解説したもので、本来は
 「(知恵と知識の2方向のベクトルで構成される面積である)
 知性」と使うべきものでした。
 したがって「麻雀」と(なるほど、プログラム能力においても)
 あなたの方が知識が広いので、(面積としての)「知性」では
 あなたの方が高いと説明しているのです。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 05:09 No.5908

とつげきさんへ 第2点

< 例えば消費電力を求めるために、複素数計算は普通に出てくる。
 実際に「存在するもの」を、目に見えない存在(笑)で測るなど普通のことだ。
 量子力学でもそうだ(授業でやっただけなので詳しくないが)。
 虚数を「目に見えない」などと捉えている時点で知性的射程がすごく短い。
 それを「考えたこともない」と予想してしまう知恵のなさはどうだ。 >

なるほど、あなたが考えていたことは分かりました。

それならば、私の7/21の第2信で述べた

「目に見えない空間」を「目に見える空間」に表現した芸術家に
 (この場合、特に絵に限りましょう) についてどうして理解できない
 のでしょうか？

そればかりか、

< 「天才的な芸術家」というさんくさい概念と数学的知恵とを結びつけるの
 は、あまりにも時代遅れ(そんな時代が一度でもあったとすれば)である。 >

などと、可能性を考えもせずに「時代遅れ」などとナイーブなことばを言いつ
 のって、一方的に否定するのでしょうか？

再三言っているように、私が数学で測定できると説明している

「普遍的知性」とは、より正確に言えば「数学が(学問の中で
 もっとも抽象的かつ純粹に)表現している「普遍法則」のことです。
 したがって、教育の機会にめぐまれなかったなどの何らかの事情で
 教科としての「数学」そのものは苦手だったとしても、その意味
 している本質を、ぱっと理解できる芸術家は確実に存在します。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 05:34 No.5909

とつげきさんへ 第3点

普遍的知性(知恵)を測定する会話について

< > 一番見分けられるのは、本人が500メートルの山であるときです。
 > 100メートルや200メートルの山からすると、どちらも
 > 「高い山」であるとしか見えませんし、400メートルの山の
 > すぐふもとにいる場合は、600メートルの山そのものが見えない
 > 場合さえあります。

何を想像を逞しくしてるのだ。

せっかく測った「数学の点数」はどうなったんだ。

そして、「この計測方法には、自分よりも高い人が本当に高いのか、それとも高

いと言っているだけなのか見分けがつかない」という原理的な問題があるとい

いう
 私の指摘を無視すな(笑) >

どちらの山が高いか、見分けは簡単につきます。

どのようにしてか？

たとえば、一人の小学生がいたとしましょう。

この子は秀才で周囲の同級生や、中学生ぐらいまでの上級生なら
 簡単に煙にまきます。

ところがそこに一人の中学生が出現し、この小学生の言うことを

いちいち見ぬき、ことごとく論破します。なぜならこの中学生もまた小学校の時にはこの小学生のように周囲を煙に巻いていたからです。それで小学生の手口も論拠もあっさり見ぬくわけです。もちろん小学生も、中学生に対し ああだこうだと反論を試み悪あがきをします。その両者のバトルを小学生の周囲の人間も見守っています。彼らの中にはどちらが真か 偽かを見ぬく人間もいれば、見ぬけない人間もいるでしょう。

しかし、中学生以外の少なくとも一人だけは、その真偽を最初から分かっている人間がいます。もちろんそれは他ならぬ小学生自身なのはお分かりでしょう。

こうして小学生の反論はしだいにトーンが落ちていき、やがて両者の包摂関係が定まっていくのです。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 05:35 No.5910(管理者)

> Back

君は知性が役に立たないことと、知性の計測方法が役に立たないことを混同している。

最初のpや山らによると、「数学による知性の計測」で、創造型知性が測れたり(> 5810)、天才的芸術家であるかどうかわかったり(> 5830)、後天的な数学の知識に限らずに「先天的知恵が高いかどうか」わかったり(> 5858)してしまう。さらには山の高さまでも。それは単純に分析として誤りである。

私はこの「知性の計測」の方法論上の誤りを指摘している。誤った方法で計測された「先天的知恵」とやらが、実際には空虚で、数学を除くほとんどの知的活動の能力と全く対応しないか、少なくとも「先天的知恵」などを表さないことを示したわけだ。(ノマッドにも、ゲーマーにも、芸術家にも、数学によって計測された知恵は役立たない)その計測によって測られた「知恵」なるものを「役立たない、役立たない」と繰り返し述べたのは、「役立つ知性にしか意味がない」といったような趣旨では全くなく、「計測方法が役立たない」ということを示している。

まるで私が「役立つ知性が大切」だと思っているかのように錯覚したのなら、上記のような理由である。

> 私が何度か挙げた「知性」というものは別に道具主義に
> 依拠せず、そして依拠すべきでもない。

私の感覚では、必ずしも依拠しないが、依拠してもよい。

> もっと根底の心理的次元から「知性」の価値を提示した。

知性に価値などない。
とりわけ「創造的」であって「模倣的」であるものと対極に置かれて語られるよう
な、あるいは「普遍的」であって「個別的」ではないとされるような二セの知性
には。
細かくは、その種の「知性」が必ず二セなのではないが

価値がないもの、反復されるもの、冗長なもの、これらに強度を見出す(子供
騙して
楽しむ)のが我々の方法ではなかったのか。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 05:51 No.5911

とつげきさんへ 第4点
普遍的知性(知恵)の測定の有用性について

< 現実的に計測不可能ばかりか、「計測できた」ところでほとんど何にも
応用できないようなものを想定し、妄想することを、私は批判しているのだ。
>

もちろん知恵の測定は応用できます。たとえば将来とも企業を安定的 に
発展させていかねばならない企業の経営陣はこのことをあっさり
理解します。
なぜなら、既存の技術やサービスなどの「目に見えるもの」は
他社にとっても目に見えるだけに常にキャッチアップされる宿命を
負っているからです。
そこで経営陣は、今は目に見えないが未来においては顕在化する
であろう可能性(いわゆる「知恵」)を持った人間を評価し、
採用しようします。特に技術開発や、営業開発の分野においては
そうです。
ほとんどの企業が既存の知識の保有度をチェックする試験や、成績
履歴の他に、(1対1の対論で計測出来る)面接を取り入れている
のはそうした事情があります。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 05:58 No.5912(管理者)

> J熱くん

回答を。

1点目、暫定的に了解。
2点目、可能性について考えたことは何度もあるがその度に棄却した。
芸術家が天才であり、数学ができたり他に様々な才能を持っていると信じる
人は
多い。
実際には、偉大な芸術家の多くは、必ずしもその芸術分野でのスキルを除く
種々

の知的活動に精通しているわけではないし、数学の才能があるわけでもない。
 何より、多くの芸術家が偉大であるとされるのは後付けである。
 また、芸術家が才能を持っていたという伝説はあるが、数学者の多くが芸術的な才能を持っていたという話は聞いたことがない。
 3点目、その計測方法には構造的欠陥がある(既に説明した)。

では質問を。

(1)
 なぜ偉大な数学者の多くが芸術的才能を持たないのか？
 (知恵が一つのベクトルで表されるにもかかわらず)

(2)
 包括的に物事を捉える哲学者は、単純な研究にいそむ数学者よりも知恵が高い場合が多いと捉えて良いのか？

(3)
 同じ量だけ数学をやらせれば、哲学者の方が優れている場合が多いのか？
 (あなたの言うように「知恵」が1つのベクトルで表されるとすれば、まさにそうならなければならないが)

(4)
 つまり、知恵をたった一つのベクトルで表そうとしている、数学能力でそれを測れるとするあなたの主張にムリがあるとは全く思わないか？

ものすごく普通のことを言うと、知恵なる一つのベクトルが存在し計測できるなどというのは論外の発想である。本当に考え直した方が良いでしょう。
 多元的なベクトルを想定する私のほうが包含関係において上である(笑)
 ま、包含関係など、知性に関係ないのだが。

Re: 偉大なる思想家 とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 06:21 No.5913(管理者)

ついでに言うと、「芸術」に対する古くて素朴な信仰があるよね。
 恐らく「数学」に対しても。

あゆもつんくも芸術家ですよ。
 まあよくしらんが、なんか、死んじゃった漫才師とかも「偉大な芸術家」ですしね。
 数学で測る？ 一元的に表せる？ 知恵？ ありえねえ・・・
 (このレスにはレスしなくてけっこう)

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 06:22 No.5914

とつげきさんへ 質問の第1点

<なぜ偉大な数学者の多くが芸術的才能を持たないのか？
 (知恵が一つのベクトルで表されるにもかかわらず)>

たとえば芸術の話を絵に限りましょう。
 絵という芸術分野で世界を表現するには、
 小さい頃から筆使いをたたきこまれた。
 遠近法やデッサン、色彩心理学を美大で習った。
 など、この分野での「知識」が山ほど必要で、しかもそれは
 長年の訓練、習作を経て表現できるようにならなければなりません。
 したがって数学者は芸術の本質は理解でき、したがってその普遍性
 を共有する意味で知己にはなれても、今さら知識を基礎から勉強
 し直して絵画表現をするまでの根気も興味も(もっと言えば使命感も)ない
 からです。
 それに対し哲学の分野は、(小さい頃からの知識訓練が必要でなく)
 必要な知識にしても数学をすこし改良すれば使える →
 つまり数学にとって近接分野なので、数学者でかつ哲学者という
 人間が多かっただろうと推察されます。
 (推察ということばを使っているのは、この分野の人名などは
 恐らくあなたの方が詳しいだろうからです)

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 06:54 No.5915

とつげきさんへ 質問の第2、3点

<(2)

包括的に物事を捉える哲学者は、単純な研究にいそむ数学者よりも知恵
 が高い場合
 が多いと捉えて良いのか？

(3)

同じ量だけ数学をやらせれば、哲学者の方が優れている場合が多いのか？
 (あなたの言うように「知恵」が1つのベクトルで表されるとすれば、まさにそう
 ならなければならないが) >

どうも「数学」というと学校の七面倒くさい公式や教科の匂いが
 しみついていて語感的に誤解を与えてしまうようです。
 私が言っている「知恵」とは、(もちろんお気づきでしょうが)
 もう一度厳密に言うと世界の根底にある(世界を貫く)
 「普遍法則性」に対する直感的理解度のことであり、これ自体は
 個人のうちに潜在しているのですが、それが環境や生き立ちによって
 さまざまな分野に顕在化していくということなのです。
 したがって、それが高くて、かつ本人の知識側のベクトルが数式表現に向
 かえば数学者となり、言語分析方面に向かえば哲学者となり、
 絵画や音による表現に向かえば芸術家となるということです。
 (ついでに言えば、現代の学校の教科の中では数学がもっともこの
 普遍法則性が集積されていると言っているものであり、数学という
 分析手法が確立されていなかった江戸時代や中国の科挙などでは
 この、普遍法則理解度をおそらく、論語の一節をどう解釈するか
 といった面接時におけるケーススタディで評価、把握していたで
 しょう。)

結論としては、哲学であれ、数学であれ、芸術であれ(また議論が錯綜しますのでこれまではあえて触れてこなかったのですが宗教であれ)経済学であれ、何であれ、個人の達成度は(適切な努力と環境さえあれば)この普遍法則理解度によって決定されると言えます。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 07:10 No.5916

とつげきさんへ レス不要とのことですがあえて

< ついでに言うと、「芸術」に対する古くて素朴な信仰があるよね。恐らく「数学」に対しても。

あゆもつんくも芸術家ですよ。
まあよくしらんが、なんか、死んじゃった漫才師とかも「偉大な芸術家」ですしね。
数学で測る？ 一元的に表せる？ 知恵？ ありえねえ・・・
(このレスにはレスしなくてけっこう) >

つんくとはよく知りませんが、最近のタレントなんでしょう。
芸術にしる、数学にしる、知恵のベクトルが低いレベルで(したがって耐用年数が短期間で)知識のベクトルだけがわずかに広がっているレベルの自称芸術家や数学者はそれこそこれまでも山のようにいましたし、これからも山のように出るでしょう。世の中にはやや金回りがよくなると何の才(知恵側のベクトル)もない子供に無理やりバレエを習わせたり、ピアノを習わせたりする親がいるのですが、これは「芸術が芸術の分野であるから偉い」という錯誤にもとずいています。

Re: 偉大なる思想家 BackHuman - 2004/07/24(Sat) 09:16 No.5918

> 君は知性が役に立たないことと、知性の計測方法が役に立たない
> ことを混同している。
知性への計測がおよそ一般に無益であることについては理解している。
私が指摘したのは次の言説に対してである。

> 論理的包含関係で包含してる方が(普遍性があるほうが)優れて
> いるなどというのは誤解だ。
> 哲学は、論理的に数学や工学を包含するが、哲学はそれらより
> 優れていない。
哲学が工学などより劣っているという判断基準は、恐らく、道具主義的価値判断ではないか、という推察の基で批判をしたのがNo.5906のレスである。

> 知性に価値などない。

...
> 価値がないもの、反復されるもの、冗長なもの、これらに強度を
> 見出す(子供騙しで楽しむ)のが我々の方法ではなかったのか。

「～などない」は常に分析的ではないと思われる(笑)
 本来、無価値なものに価値を付与してみたりは、
 あった価値を剥奪してみたり、
 それを反芻する際に介在する概念として浮遊する程度の
 「価値」が存在しうだろう。
 価値が「ない」のではなく、単に付される。

そのことから、私は、
 強度を見出して自己に価値を付したりしては、
 時には疲れて見出さなかったりする。

これに関してはいずれ機会があった時でも論じてはみたい。

Re: 偉大なる思想家 J熱くん - 2004/07/24(Sat) 11:09 No.5919

とつげきさんへ 質問の第4点目

< (4)

つまり、知恵をたった一つのベクトルで表そうとしている、数学能力でそれを測れる
 とするあなたの主張にムリがあるとは全く思わないか？ >

まったく無理はありません。

たとえばあなたが友人の誰かと話をしている、「こいつは打てば響かない。知性が低い」「こいつは、話が分かる。知性が高い」と
 判断する時、あなたは何をよりどころとしてその判断を下しているのでしょうか？ 知識でしょうか？

もし、「もちろん知識だ」と思ったとしたら、次の問いです。
 では、もしその相手が小学生5年生だとしたらどうでしょう。
 小学5年生ですから、Aにしる B にしる
 知識のレベルではあなたと比べようもなく低いのです。
 それでも A に対しては、「知性のひらめき」を感じ、 B に対しては感じないという差はあるはずで。そしてA君は10年も経って(どんな分野にしる)何らかの知的達成をとげ、B君はやはり平凡なままだという経験があるはずで。

逆にあなたがあなたより(その分野における)知識は豊富な人間と話をしたとしましょう。(あなたがどこかで書いている東北大学の哲学の教授のごときタイプです)
 その時、あなたは(相手が自分よりその分野における知識が豊富だからといって)相手の方が知性が高いと思うのでしょうか？
 もちろんちがうでしょう。
 では、その時あなたは何をよりどころとして、あなたの知性(本当は「知恵」)の高さを自覚したのでしょうか？
 (もちろんあなたの方が知性が高いのは分かりきっています。)

こう言うと、「いや、それはその通りだが、何も知性が知識だけで決まっていると言っているのではない。それは多元的であると言っているのだ」という反論が返ってくるでしょう。

しかし、その時のその哲学の教授の授業に対する周囲の反応を思い

出してみてください。あなたと(知性(本当は知恵))に近い
少数の友人だけが何とかあなたに教授に対する評価に同意し、
他の(点数 = 経験的知識は高い)友人は必ずしもあなたに同意しなかった
はずです。

そして、その少数の友人とは他の分野(たとえばギャグなど)でも
あなたの評価(感性)を共有したのではないのでしょうか？

このように、知識だけではない、知性を決定する他のベクトルとは
(分野を特定しないという意味で)一つであると分かるのです。

これが知恵、あるいは直観、あるいは感性と言われる、知性の
Y軸側のベクトルです。

5676スレよりの続き 投稿者: **とつげき東北** 投稿日: 2004/07/24(Sat) 18:22 No.5924(管理者)

返信

正確に山の論点をまとめると、

『

哲学、数学、芸術、宗教、経済学、何であれ、「知恵」とやらが先天的にあれば上手にでき、

そうでなければできない。

そしてその「知恵」は普遍法則に対する直感的理解度というたった一つの基準
(たった一つ

のテスト)で測れる。

また、会話してみても測れる。

知恵とは、直感、感性とも呼ばれ、また時間意識の長さでもある。

過去の偉大な芸術家と違い、あゆやつんくなどの芸術は知恵が高くない。

数学知性 = 普遍的知恵 × 数学知識

哲学知性 = 普遍的知恵 × 哲学知識

芸術知性 = 普遍的知恵 × 芸術知識

宗教知性 = 普遍的知恵 × 宗教知識

...

である。

』

低レベルのくだらない主張だ。

$Z = XY$ Z: 知性 X: 知識 Y: 才能

この思考方法は大衆がしばしば用いる典型的なものである。

「自分は勉強していないから、勉強ができない(でもやればガリ勉よりできる)」

という発言は、Zが圧倒的に低い現状を説明するために、自分のXを限りなく低く
設

定することにより、自分のYは(よりZが高い人よりも)高いと言うための方法だ。

しかもYが「普遍的に全てに成り立つ」などと仮定すれば、なんと自分が負けてい
る

領域を除く全ての領域で相手に勝つ可能性が高いと思込むことができる！！
 何事も上手にこなす人(種々の領域でZが高い人)のうち自分の気に食わない人には、
 「いくつかの領域でXが高い」とみなし、たまたまその人が例えば「会話能力が低い
 (会話のXが低い)」だけで、「あいつは知識はあるが、才能はねえ。才能があれば
 会話はうまいはずだ」などという短絡に結びつくわけである(実は才能は高いが、会
 話における知識だけがたまたま低いとは思えない)。
 そもそもこのような式自体が捏造されたものであり、何度も説明してきたように、こ
 の世の種々の知的活動においてはZが重要であり、また細分化されているため
 に、
 (この式で)「全てに共通する一つのY」などというものは存在しないのである。

せいぜい、
 $Z_{\text{数学}} = X_{\text{数学}} Y_{\text{数学}}$
 $Z_{\text{哲学}} = X_{\text{哲学}} Y_{\text{哲学}}$
 のようになるのである。そしてこの場合、Yを単独で求める方法がない以上、結局は
 Zによってしか判断することはできないのである(むろんZもまた、正確に計測する
 方法が確立されてない)。
 これも説明したとおり、XとYは山が主張するような独立のベクトルではなく相互補
 完関係にあり、どちらかを単独で決定づけるような思考方法は、非常に幼稚なのである。
 そもそも、 $Z = XY$ という短絡的な知性観が間違いなのだ。
 (なお大衆は、ある事柄に対して2種類の要素があるとき、総合評価を積や和で表す
 のがすきである。例: ギャグの面白さ = 意外性 × うまさ など)

この論証不可能な便利な指標、つまりどんなに知性が劣っている人にも「知恵はある」
 と決めることができ、逆に優れた人にも「知識しかない」と言える便利な主張に頼り
 ながらも、一方で「全ての能力に共通する才能 = 知恵」という幻想に憧れ続けている
 のが山の姿である。
 だから、山の氣にくわない「最近の芸術家(あゆやつんく)」には知恵がないとされ、
 彼がたまたま氣にいらっている、(本来運のみで認められただけの人も含む)古典的芸術
 家は知恵があって数学分野や経済学分野、哲学分野に進んでも成功していただろう、
 などとされるのである。
 なお、この主張も論証不可能なものであって、考慮の余地はない。

彼は古典的芸術に対する権威主義的とも言える妄信、「最近の芸術は墮落した」と感
 じてしまえるような現代芸術への無理解等に支えられながら、一方で気に入った

ものに「才能」を見出し、気に入らないものからは「才能」を剥奪した上で、「才能が大事」と言えるような空虚な思考方法を編み出したのである。

Re: 5676スレよりの続き 乾麺 - 2004/07/24(Sat) 19:02 No.5925

おーすげー盛り上がりだ。
他のこの掲示板の常連の人達が引いてるw

岩男は、ここまで丁寧に論破してくれるとつに感謝すべきだと思うよ。
数学や論理をそれほど信じているなら、わからんちんな概念を持ち出さずに、厳密な議論をする努力をしなよ。
次から次へと例え話をして対話者の注意を逸らすのは、怪しい宗教の教祖とかがよく使う手だな。
まあテクニックとしては一部の人には有効なようだけど、とつにはきいていないし、それが逃げでしかない事を見抜いている人間も多い事をいい加減悟れよ。
ひょっとしたら無意識にやっているのかも知れないけど、だとしたら恐るべき知的盲目さだ。
その可能性を考えなかった？ >とつ

でも、やっぱ凸は凄いね。
J熱くんがこれだけ丹念に議論を拡散させ続けても(笑)、彼の大好きな数学を使って、ここまでわかりやすく論点を収束させているのだから。
俺はもう岩男との対話不可能性に疲れちゃって、茶化す事しかできなかったんだけど。
まあ知的パフォーマンスか。
少なくとも、俺にはこういった議論はとても上質なエンターテインメントだけだね。

それにしても「山」ってあんたw

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 20:31 No.5927

とつげきさんへ 第1点

私の論点は
 $Z(\text{知性}) = X(\text{知識}) \times Y(\text{知恵})$
と整理されることはそのとおりです。

それに対する あなたの反論
 $Z\text{数学} = X\text{数学}Y\text{数学}$
 $Z\text{哲学} = X\text{哲学}Y\text{哲学}$

という数式は、これは何の意味でしょうか？
同じもの(数学や哲学)同じもの(数学や哲学)と同じもの(数学や哲学)に同じです。

という定義でしょうか。意味不明です。
たとえば「人間」は「人間」である。という定義は意味をなしません。AはAであると言っても何の理解も深まらないし、新規の知識も得られないからです。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 20:43 No.5929(管理者)

何を言っておるのだ。
その式が私の主張だとも思っているのか。
最初から最後まで常に、「そうではない」と繰り返し述べてきたではないか・・・
私が、君の恥ずかしい式に似せて少しでも現実に沿うように変形した式を笑って
どうする。
> そもそも、 $Z = XY$ という短絡的な知性観が間違いなのだ。
と明言しとるだろう。

Re: 5676スレよりの続き Revn - 2004/07/24(Sat) 20:47 No.5930 

要するにとつは、哲学には哲学の、数学には数学の知恵というものがある
と言ってるんやと思います。
俺もそれには賛成で、さらにいえば数学とかの中でも色々な知恵があると思
う。
例えば空間図形とか平面図形とか。やたら得意なジャンルとかがあって
ことやね。
「向き不向き」って呼んでもええかもしれんね。

Re: 5676スレよりの続き ↑ - 2004/07/24(Sat) 20:52 No.5931

でもそれはまだしも、ってことやね。
本当は知識も知恵もない。知性を分けて論じるのは結構だがそれにしても
二元論でしかも積が知性になるような浅い考察には意味はねえってこと
でしょうか。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 20:54 No.5932

とつげきさんへ

< 何を言っておるのだ。
その式が私の主張だとも思っているのか。
最初から最後まで常に、「そうではない」と繰り返し述べてきたではないか・・・
私が、君の恥ずかしい式に似せて少しでも現実に沿うように変形した式を
笑ってどうする。 >

では、これまで繰り返し私が問い掛けてきた
既存の知識からはでてこない新規創造を何によって説明するのしょう
か ?

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:05 No.5934(管理者)

何が新規で何が新規でないか、何が芸術で何がそうでないか、あるいは
何が知性で
あるかというような問題に対して、君のように一元的な発想をするのがク
ソだと言
っているわけ。
ランダムに文字列を「新規創造」するコンピュータは最も知性的なのか？
自己組織化によって設計者の想定しない新規創造を繰り返すプログラム

は？
 これらの根本はプログラムや既存のデータという「知識」にあり、文字通りの意味の
 「新規創造」などではない。
 知性観が古すぎるんですよ。
 「なんとでも説明できる」が答えだ。

それよりも、君の「方程式」を、現実に沿う形でちゃんと説明してくれ。
 なぜあゆやつんくは芸術家として知恵が低いと君が計測できたのか、あるいはできる
 のかも(「会話を聞いてわかった」のかな 笑)。

新しい話題や質問を次々に投げかけるタイプの大衆も存在する。
 彼らはレスの論理的意味合いを全く理解せず、次の質問を投げかける。
 そしてその質問の内容が、知性と知識と知恵の欠落によって押しなべて
 低レベルで
 ある。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 21:12 No.5935

とつげきさんへ 第2点

あなたが私に答えていないのはまだまだあります。
 あなた、何に基づいて東北大の教授の知性を低いと判断したのでしょうか？
 その分野における知識はあなたがなかったにも関わらずです。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:16 No.5937(管理者)

論理における知性が低いと感じたから。
 つまりロジックを用意せずに、既に「古い」嘘を垂れ流していたから。
 ていうか、それくらい自分で想像しろよ。いちいちこの私に聞くな。
 私が個人的に他人の知性の低さを測る場合と違って、君は「普遍的知恵」
 を「数学
 で」測れるというようなムリな主張をしているのだ。
 何まるで同じような立場にいるかのごとく質問しているんだ。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:22 No.5938(管理者)

端的に聞くが、

- > つんくとはよく知りませんが、最近のタレントなんでしょう。
- > 芸術にしる、数学にしる、知恵のベクトルが低いレベルで
- > (したがって耐用年数が短期間で)知識のベクトルだけが
- > わずかに広がっているレベルの自称芸術家や数学者はそれこそ
- > これまでも山のようにいましたし、これからも山のように出るで > しょう。

なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？
 数学試験もやらせてないし、会話もしていないだろ？
 ようするに、「君がそう思った」という以上のどういう説明ができ、君の数式
 という

ところの何を君が計測できたのか？
それで、なぜ結論が出せたのか？

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/24(Sat) 21:43 No.5939

横レス失礼。
一つだけ聞きたいんですが、凸さんっていつもこういうことを考えてるんですか？

Re: 5676スレよりの続き ながす - 2004/07/25(Sun) 00:52 No.5940

凸さんの返事ハエーハエー。

よく4分でこれだけ書けるな～
その調子で本のほうも・・・

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:21 No.5941

とつげきさんへ

＜なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？
数学試験もやらせてないし、会話もしていないだろ？
ようするに、「君がそう思った」という以上のどういう説明ができ、君の数式でいう
ところの何を君が計測できたのか？
それで、なぜ結論が出せたのか？＞

もちろんあなたの知性(とくに知恵)のレベルを通じてです。
私はあなたの知恵のレベル(どこの部分でじたばたするか
だだをこね始めるか)を冷静に観測(計測)しています。
その私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして
冷笑せしめるつんくやあやのレベルはさらに低い(せいぜい50m
レベル)と判断できるのです。

それより私はあなたになぜ数学者が必ずしも芸術家ではないのかを
丁寧に解説したのですが、それに対する答はどうなっているの
でしょうか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:26 No.5942

とつげきさんへ 第2の点

＜ランダムに文字列を「新規創造」するコンピュータは最も知性的なのか？
自己組織化によって設計者の想定しない新規創造を繰り返すプログラムは？
これらの根本はプログラムや既存のデータという「知識」にあり、文字通りの意味の
「新規創造」などではない。

知性観が古すぎるんですよ。
「なんとでも説明できる」が答えだ。>

もちろんそんなのは新規創造ではありません。
ランダムな組み合わせがもたらした新しく見えるだけの
ものは、再現性、汎用性がなく、あっという間に
ぼろを出すからです。

それにどうして「何とでも説明できる」などとおおよそ
緻密な論理を組み立ててきたあなたとは思えない
開き直りをする必要があるのですか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:37 No.5943

とつげきさんへ 第3点

< 論理における知性が低いと感じたから。
つまりロジックを用意せずに、既に「古い」嘘を垂れ流していたから。
ていうか、それくらい自分で想像しろよ。いちいちこの私に聞くな。>

ですから、知性 = 知識とするあなたが、なぜその東北大の教授の
知性を低いと判断できたかを確認しているのです。
(何度も言っているようにその分野でのあなたの知識は教授を
下回っているのです)

もちろんあなたは、(その東北大の教授が)論理における知性が
低いと感じたからと言っています。
ではその「論理における知性」とは何ですか？
(あなたの主張によれば)
知性は「知識」だけで成り立っているのではなかったのですか？

さらにあなたは期せずして「……と感じたから」という
ことばを使いました。「感じる」ということは論理を超えている
はずですね？

つまり世の中には「形成された」論理や知識を超えたものが
あると自ら吐露したではありませんか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:53 No.5944

とつげきさんへ 第4点

< 私が個人的に他人の知性の低さを測る場合と違って、君は「普遍的
知恵」を「数学で」測れるというようなムリな主張をしているのだ。
何まるで同じような立場にいるかのごとく質問しているんだ。>

前半部分。
あなたは個人的にせよ、他人の知性を測ることが可能と認めて
いますね。
もう一度しつこく言います。認めているんですよ？
それでは、その知性を測る基準は何だったのでしょうか？

何度も言いますが「両者の知識」ではないはずです。

後半部分。

数学で測定することについては、私は何度も解説していますが、あなたからは確たる回答を得ていません。
したがってこの部分はしばらく保留にします。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 03:20 No.5945(管理者)

ふう。

私の

> なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？

に対するレスが、

- > もちろんあなたの知性(とくに知恵)のレベルを通じてです。
- > 私はあなたの知恵のレベル(どこの部分でじたばたするか
- > だだをこね始めるか)を冷静に観測(計測)しています。
- > その私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして
- > 冷笑せしめるつんくやあやのレベルはさらに低い(せいぜい50m
- > レベル)と判断できるのです。

それは君の説である「知恵が会話で正確に測れる」が正しいと仮定して初めて成り立つ。

(むろんその仮定は成り立たない。私は私の知恵の方が山よりも高いと会話から測った

からだ。また、私はあゆやつんく的能力を低くなど見ていない)

私がある説の根拠を何度も聞いているのに、君は君の説の正しさを前提として話している。

それは論理的には「循環論法」と呼ばれ、一般には信仰と呼ばれる。

なんでこんなことを教えてあげないとダメなんですか。

最初から言ってるじゃないか。

そんな計測方法だと、

> 各々が「相手のほうが低い」と言い合うだけの状況になるこ

> とは目に見えている(5848)

と。

その計測がなぜ正しく、「普遍的知恵」などを測れるのか、なぜ君が「偉大な芸術家」

の普遍的知恵を計測できたのか、なぜ君が「偉大な芸術家」が経済学をやれば経済学

ができ、数学をやれば数学ができ、宗教をやれば宗教ができたということを知っている

のかを聞いているのだ。

(単に芸術と他の分野における知識が高いだけの凡人だったらどうする)

> 5942

自分で考える。誤解に基づく下らない質問だ。

> 5943

> ですから、知性 = 知識とするあなたが、なぜその(略)確認しているので

す。

私が知性 = 知識などと考えていないことを示す発言をピックアップする。

- > 知識の量も知性 (5769)
- > 個別の能力に対して、その基礎となる共通能力があり得ることを
- > 否定しているわけではない (5795)
- > 種々の「才能」が想定でき、「知性」が想定でき、「知識」が考えられる (5825)
- > 以上は、限定的な能力における「知性」の差を無効にしているわけではない。
- (5848、ただしこの段階で「知性」は現在の「知恵」の意味)
- > 私は、この式において、知識と知恵を補完的なものだと考えている (5901)
- > もちろんJ熱くんが誤解しているように、私は厳密な意味で「知性 = 知識」と言っ
- > ているわけではない (5901 誤解について直接指摘している)

どんだけ言ったらわかるんだよ君は。普遍的知恵が低いよ。
 少なくとも私は君の主張を理解した上でまとめ、反論を書いてあげている
 じゃないか。
 君は一体、何をしてるんだ。
 いかに相手の反論をマジメに考慮せず、または考慮する能力がなく、自
 分の信仰を
 垂れ流しているかということだよ。恥を知れよ。

- > あなたは個人的にせよ、他人の知性を測ることが可能と認めて
- > いますね。
- > もう一度しつこく言います。認めているんですよね ？
- > それでは、その知性を測る基準は何だったのでしょうか ？
- > つまり世の中には「形成された」論理や知識を超えたものが
- > あると自ら吐露したのではありませんか？

何でもいい。何かの基準で測ったのだ。
 私が認めていないのは
 「数学や会話で普遍的知恵が正しく計測でき、そのたった1つの知恵があ
 れば数学、
 芸術、経済、哲学、宗教など何でもできる」
 というアホな主張であって、「知恵を個人的に測る方法が存在する」主張
 ではない。
 君が反論している相手は私ではなく、君の低い頭の中で作られた私の像
 だ。

このスレにおいて私は山の主張を正しくまとめた上で反論した。
 一方山はどうか。
 上記のように、自分の信念を前提として信念を説明したり、カスみたいな
 質問をさらに
 重ねたり、私でない誰かに反論するばかりである。

この手法は大衆が議論において自分を劣っていないと感じるための手法
 の一つである。

相手の主張に反論できないとき、相手の主張を現実にはそぐわなくなる程度まで拡大解釈したり、あるいは相手の主張をずらした上で、それに反論したり、質問を投げかける方法である。
 質問に答えない場合「答えられないのか？」を連発する。
 誤解と誤謬に満ちた解釈の上での質問に答える必要などない。

論点を絞ろうかと思ったが、少し放置しよう・・・
 山の論理的破綻はそろそろ明らかだと思うので、つっこんであげてください
 い> 誰か

私からは一つだけ質問。
 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に高いだけの知恵のない人』と見分けたのか」
 言い換えると、
 「 $Z = XY$ でZがわかっているとして、Xがわからないとき、なぜあなたにYがわかるのか」
 これ以外レスしなくていいよ(笑)
 瑣末な部分は全部私の誤解でした、ってことでいいよ別に。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 03:37 No.5946(管理者)

> イオ

> 一つだけ聞きたいんですが、凸さんっていつもこういうことを考えてるんですか？

実際にはうしうしなどで議論が起きるたびに考えてみる、ということがほとんど。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 06:01 No.5949(管理者)

そうだ、あまりにも無駄な文章をこれまでのように垂れ流された場合、私が山の論点を明確にしてみせたように、山に私の論点をまとめていただくので、理解と要約の練習をしておいたほうがいいよ！(それをしてない、できてないから今こうなってるんだよ)
 相手の知性のみで成立している議論において、全てを理解せずに、愚昧さに寄りかかって
 いられるのはあとしばらくの間だ。

ちなみに最後の最後では、知恵において山>凸を認め、かつ議論能力や論理能力、理解力等においては凸>山であることを私が自発的に認めてあげよう(大サービスだ)。
 彼の普遍的知恵が高ければ高いほど、普遍的知恵がいかに「知性の計測」に対して有効でないものかが明らかとなる仕組みだ(笑)

なお、既に、他にもあらゆる種類の合理的な批判が用意されている。
あんまり一気に書いてもあれなので、書いていないだけで。

動き全てがワナだから気をつけてね(笑) byキルア

Re: 5676スレよりの続き BackHuman - 2004/07/25(Sun) 10:04 No.5950

駄レス。

> もちろんそんなのは新規創造ではありません。
> ランダムな組み合わせがもたらした新しく見えるだけの
> ものは、再現性、汎用性がなく、あっという間に
> ぼろを出すからです。
これの具体例が浮かばない。
もっとも、我々人間自身、アミノ酸の分離結合の「いい加減」な
試行錯誤で「創造された」とする仮説がもっとも現代における
「普遍的な」見地ではなかったのか。
更に言えば、知性における「創造」それ自体が
これに酷似するような「試行錯誤」による部分が
多く存在するとしなくては説明不能なことが多々あることに
疑義を持たなかったのか。
(私の感覚では、普遍的知見の劣る人間はただこの思考における
試行錯誤を心的に不必要だったなどで怠っただけの場合が多く、
そこに何らかの「普遍的知恵能力」を想定する必要はないし、
またできないだろう。)

> 君は君の説の正しさを前提として話している。
> それは論理的には「循環論法」と呼ばれ、
> 一般には信仰と呼ばれる。
なるほど。循環論法というのか。
これが、私が宗教家などに対して感じていた「臭さ」の
正体のほとんど全てだったと振り返る。

> 「知識」と「知恵」は相互補完関係にあるにすぎない。
これにかなり普遍的理解度を上げさせられた(笑)
一見客観的に思われるIQ測定でさえ、
「ちょっとした知識」で測定値が無視できない程度に
上昇可能という事実を思い出した(笑)

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 10:32 No.5951

とつげきさんへ

< 私からは一つだけ質問。
「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に
高いだけの知恵のない人』と見分けたのか」
言い換えると、
「 $Z = XY$ でZがわかっているとして、Xがわからないとき、なぜあなたにYが
わかる
のか」

これ以外レスしなくていいよ(笑)
 瑣末な部分は全部私の誤解でした、ってことでいいよ別に。>

だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を私の普遍的知性で測っているのです。
 それぞれの人の場合もそうで、(その人の普遍的知性の到達度に応じて)相手を測ることができます。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 10:56 No.5952

とつげきさんへ

私があなたの主張をまとめていなかったのなら、まとめましょう。
 あなたの主張は、

- 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、それは、数学や会話ではない」

以上です。

2については、そういう人が多いのは事実です。

1については、しばらく議論を保留しましょう。

問題は3点目です。

あなたはこの基準について、

知性をはかる基準があるかもしれないが……

と、大変消極的な姿勢ですね。

それはなぜでしょうか？

その答を私は知っています。これまでこの問題をまともに考えたことがなかったからです。

ある問題を一気に生徒に解かせようとすると、生徒は混乱し、時には反抗的になります。

そこで、小学生レベルにもどって、自分の頭で疑問を考えるところから始めましょう。

そこで質問です。

あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、少なくとも知識ではなかった。

では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの答は

<何でもいい。何かの基準で測ったのだ。>

というものでした。

では、その基準としては、どんなものが考えられうるでしょうか？
 あなたの直観でいいから考えてみてください。

Re: 5676スレよりの続き マネ - 2004/07/25(Sun) 11:43 No.5953

J・・・突っ込みやすいと思いやすいここに普通に突っ込んで・・・
 「動き全てがワナだよ」
 って聞いてねーな(笑)とつが曖昧にしているところははっきりさせる
 必要ないからしてないだけなのにな

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/25(Sun) 11:48 No.5954

J氏は「数学」が「知恵」、つまり普遍的法則を見つけ出す力を計測するの
 に最も適した方法だと主張した。
 しかし、その数学の試験においてさえも公式や解法を憶えているもの(知
 識を持つもの)が有利になってしまう。
 そこで、J氏の言う「知恵」の計測にもっと有効な方法がある。それはなぞ
 なぞだ。
 なぞなぞの答えを出すには「知識」はほとんどいらない。
 なぞなぞは文にこめられた「法則」を見つけ出す能力が試される。
 つまりなぞなぞは、「知識」以外の何か(J氏の主張でいう「知恵」!)を測
 ることができるのだ。
 ここに我々は、このY軸たる「知恵」あらため「なぞなぞ力」と呼ぶこととし、
 次の法則を発表する。

$Z = XY$ Z:知性 X:知識 Y:なぞなぞ力

この公式の発表後、大衆の間では難解ななぞなぞの出し合いが流行する
 こととなる。
 そして自分にしかわからないなぞなぞを出しては、「俺のほうが知恵が高
 い」と言い合うのであった。
 まさにとつげき氏の指摘した『各々が「相手のほうが低い」と言い合うだけ
 の状況』に陥るのである。

とりあえず、こんな恥ずかしい公式を声高々に主張しているやつは小石に
 頭を突っ込んで死んでくれ(笑)

Re: 5676スレよりの続き 通りすがり - 2004/07/25(Sun) 12:20 No.5955

ほんの一日で議論のランクが爆笑レベルに上がってるな。
 これはログまとめてコンテンツとして残しておいて。> 凸
 J熱くんの許可が得られれば、だけど。

今週のキルアは久々に見せ場だったよ。
 こんなにキルアが輝くのはハンター試験初期の頃以来だね。

Re: 5676スレよりの続き 空 - 2004/07/25(Sun) 12:20 No.5956

Yを否定したい→ $Z=XY$ を否定 で結論終わりw
 理由:なぜならYを主張するあなたがYの計測方法を説明できないからだ

と凸さんはここまで噛み砕いてますよ。
 前では $Z=XY$ だとしても、分野ごとにX、Yがあって云々
 もっと前ではX、Yは補完的である ということが正しいX,Yは関係をもつが
 まったく別々の要素とするのはよくない・・・云々。

と主張しています。

反論したいのなら $Z=XY$ が正しいこと を説明した上でYの測りかたを説明するのが効果的でしょう。

で 思うに、凸さんは人間について普遍的なことで「くる」のを否定したがります。普遍的なYがあると面白いよなあ、人によって尺度は違うんだ なんてことじゃあ「つまらない」きっとYはあるんだ。

というロジックだと凸さんのいいたいことは理解できないと思います。凸さんがいいたいのはYがないことを受け入れてみるのもまた一興です 程度の知的刺激を投げかけているだけです。

と私は思っていますが 凸さんはどうなのか 分かりません。だってひとそれぞれですから というお話。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 16:31 No.5960(管理者)

私の、

> 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に高いだけ
> の知恵のない人』と見分けたのか」

に対して、山のレスが

> だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を
> 私の普遍的知性で測っているのです。
> それぞれの人の場合もそうで、(その人の普遍的知性の到達度
> に応じて) 相手を測ることができます。(5951)

なるほど、数学やらせたり会話してみなくても測れるようになったのか。
歴史上の人物などの場合でも、いきなり $Z = XY$ のYがわかると。

以前は

> 知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？
> 測定可能です。
> 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
> 話をしてみること(5829)

「共通の話題に対して話をしてみること」が「一番簡単」だったのに、この1
~2日

の間でさらにもっと簡単な方法を見つけたのだな。

なんと会話などしなくてもわかるように！！

さすが。

最初からそればかり使っとけば良かったんちゃうん・・・

私に対して、

> これまでこの問題をまともに考えた
> ことがなかった (知性に関する話題について)

などと指摘してるが、たった2日ほどで計測方法が劇的に改善されるような知恵計

測方法が、まともに考えられたものとはとても思えないのだけど。
良心的に解釈すると、知恵が最高レベルの山だからこそできたのだらう。

- > そこで質問です。
- > あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、
- > 少なくとも知識ではなかった。
- > では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの
- > 答は
- > <何でもいい。何かの基準で測ったのだ。>
- > というものでした。
- > では、その基準としては、どんなものが考えられうるでしょうか？
- > あなたの直観でいいから考えてみてください。

山はどのように誤解しているか。

「凸は、ほぼ知性 = 知識だと思っている。

だから、彼が知識以外を<測定>できたのは間違いだった！」

また、山にとって知恵は普遍的知恵であり、一元的である。

したがって例えば「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」

というような、普通になされるべき世界解釈(質問への答え)が思い浮かばない。

私が「自分で考えろ」と言ったのに、自分で答えを考えることもできなかったのだ。

自説を最初から信じているから、相手に対して何度もとんちんかんな質問を繰り返しているわけだ。

山が私の論旨を、

- > 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- > 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえ
- > ない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- > 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、
- > それは、数学や会話ではない」

などとまとめてしまっていることにそれがあらわれている。

山にとっては、「普遍的知恵があり、計測でき、一元的に存在する」のがあまり

にも当然だったので、その部分に疑義を唱えられているということを、認識する

ことさえできなかったのだ。

自説を信じており、その中から語っているから、こうなるのである。

最初の部分に戻ろう。私が、

- > 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に高いだけ
- > の知恵のない人』と見分けたのか」

と聞いたことに対する答えが、

> だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を
> 私の普遍的知性で測っているのです。

これが信仰でなくて何であろう。
しかも彼の信仰は、2日で劇的に変化する。

私からの質問。

・「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でないか
どうかを、どう計測すれば良いか。
この質問に正しく答えられたまさにその時、その方法によって山は崩れる

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:16 No.5965

とつげきさんへ 第1点

< また、山にとって知恵は普遍的知恵であり、一元的である。
したがって例えば「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」というような、普通になされるべき世界解釈(質問への答え)が思い浮かばない。
私が「自分で考える」と言ったのに、自分で答えを考えることもできなかったのだ。
自説を最初から信じているから、相手に対して何度もとんちんかんな質問を繰り返しているわけだ。 >

おかしいですね

< 「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」 >
とするなら、結局どちらも「知識」に頼っていることになります。論理学の知恵は低い、とこちらは「知恵」ということばを使っていますが、知恵ということばを使うのならその「知恵」は何によって決まっているかを明らかにすべきですね。

学での知識は高いが

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:25 No.5966

とつげきさんへ 第2点

< なるほど、数学やらせたり会話してみなくても測れるようになったのか。
歴史上の人物などの場合でも、いきなり $Z = XY$ の Y がわかると。

以前は

- > 知恵 (普遍法則理解度) が測定可能かどうか？
- > 測定可能です。
- > 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
- > 話をしてみること (5829)

「共通の話題に対して話をしてみること」が「一番簡単」だったのに、この1～2日
 の間でさらにもっと簡単な方法を見つけたのだな。
 なんと会話などしなくてもわかるように！！
 さすが。
 最初からそればかり使っとけば良かったんちゃうん……

歴史上の人物の場合には文献や作品などを通じて、という
 過程を経るのは当然です。
 私の測定方法が劇的に変わったのではありません。
 だからこそ「一番簡単なのは」とあえて、断っているのです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:28 No.5968

とつげきさんへ 第3点

< 私からの質問。
 ・「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)で
 ないか
 どうかを、どう計測すれば良いか。
 この質問に正しく答えられたまさにその時、その方法によって山は崩れる
 >

簡単です。
 ある数学の問題を解けた(他の解はもはやない)という
 確信は何によって得られますか。
 それと同じことです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:36 No.5969

とつげきさんへ 第2点のつづき

ところであらためて質問です。
 あなたは、普遍的知性の測定(あるいはその可能性)をこれまで
 本当にまともに考えたことがあったのでしょうか？
 私の測定法が1～2日で劇的に変化するからこの問いに答える
 必要がないという指摘が誤りであることは、すでに第2点で
 述べていますよ。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:59 No.5971

とつげきさんへ 第4点

ひとつ意外に思った疑問があります。

< 山が私の論旨を、
 > 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
 > 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえ
 > ない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
 > 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、
 > それは、数学や会話ではない」
 などとまとめてしまっていることにそれがあらわれている。
 山にとっては、「普遍的知恵があり、計測でき、一元的に存在する」のがあ
 まり
 にも当然だったので、その部分に疑義を唱えられているということを、認識
 する
 ことさえできなかったのだ。
 自説を信じており、その中から語っているから、こうなるのである。>

とありますが、私のあなたの論旨整理にどこか間違ったり、
 見落とししたりした部分があるのでしょうか？
 もしそれがあれば、喜んで加筆、訂正します。ご指摘ください。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 18:59 No.5973(管理者)

> 5965

君が考え付かないから、普通に思いつくような適当な例示をしてみせたら、

> おかしいですね

かよ。
 君がおかしいわ。
 それは例だ。「例えば～～というような」と書いているだろうが。
 理解しろ。
 仮に10歩譲ってそれを私の主張だとしてもだな。

> 知恵ということばを使うのなら
 > その「知恵」は何によって決まっているかを明らかにすべきですね。

そんな必要はない。
 私はもうずっと前から知恵って言葉を使ってるだろうが。
 もし「明らかにすべき」だったなら、なぜ今指摘してきてるの。

ある人に「財力」という指標が想定できるとする。それ自体には特に問題
 はない。
 だが、それが何によって決まっているか示さないと、その言葉を使えない
 のか？
 $Y = 3X$ と書くとき、 X が何によって決まるか既にわかっているなければ間違
 い
 か？ 全然違う。
 理解しろ。

このように君は、一つ一つ私が言うことを誤解し、誤解の上に反論し、その反論の理屈が全くなっていない。

「知恵というものが想定できる」かどうかは問題ではない。
「知識と別の知性要因」とでも定義しときゃいいだろうが。
そんな作業まで私にやらすな。それくらい自分で気づけ。
いかに君の質問が低レベルかを理解しろ。

問題は、
「普遍的知恵なるものが想定でき、それが数学や会話や文献や芸術作品のいずれかで正しく計測でき、かつ一元的に全ての知的分野に通用する。また
知性 = 知識 × 普遍的知恵
が成り立つ」
が正しいかどうかだ。
これについて考えるために私が今君に聞いているのは、
> 「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でないか
> どうかを、どう計測すれば良いか。
だ。

> 5966

わかったわかった。
君は数学や文献や芸術作品から普遍的知恵を計測できるんだよ。
その計測結果が正しいかどうかは別問題として。

> 5968

数学の問題の答えに確信を持つことと、山の普遍的知恵の測定結果に確信を持つことが同じ！？
数学の問題は教科書に答えが載っているし、周りの人に聞いても共通の答えが得られる。
(もちろん、自分自身で「これは正しい」と確信する場合もあるし、確信していても間違っていることもあるが)
一方、君が測る「普遍的知恵」は、君以外の人に認められない。
ただ一つ数学と同じなのは、「これは正しい」と自分で確信しているという点だけだ。
例えばこの場で君は「自分は凸よりも知恵が高い」ということを述べているが、
君以外がそのことを確信したり、それに同意したっけ？
(むしろどちらかという逆のことが起きていないか？)
そして、君の計測と私(我々)の計測結果が違うという事実そのものが、君の言う
「会話で計測できる」という主張が誤りである、根拠になっているのだ。

正しさの根拠が「確信 = 信念」以外に何も示せないものを、信仰と言う。
とりわけ、その確信が、周囲の人の確信と異なる場合には。

> 5969

自分で考えろ。どっちでもいいから。

> 5971

だからそれを自分で考えろと。
足手まといかよ君は。
自分で考えて、喜んで加筆、訂正してくれよ。
この議論にとって大切な部分がたくさん抜けてるだろうが。

さて宿題。

『
「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でな
いか

どうかを、どう計測すれば良いか。

君はそれに

> 数学の問題を解けた(他の解はもはやない)という

> 確信は何によって得られますか。

> それと同じことです。

と答えたが、私の指摘を踏まえ、数学の確信と君の確信の何が同じで何
が違うか。

誰かが「山は凸よりも普遍的知恵が低い」と確信しているとして、その人と
山の確信の

どちらが正しいかをどう判定するか。

発展課題：

君は会話によって 知性 = 知識 × 普遍的知恵 のうち普遍的知恵を求め
ることが

できる。

当然、この式が成立することを知っている以上、知性を測ることもできてい
ると思う。

私および山の普遍的知恵はいくらで、論理的知識はいくらか述べてよ。

』

Re: 5676スレよりの続き 素通り - 2004/07/25(Sun) 22:16 No.5977

邪魔レス、メンゴ。大分前のコメントだが気になっていたので

凸の

> あゆもつんくも芸術家ですよ。

のコメントに対して

山の

> あなたの知性(知恵)をして 冷笑せしめるつんくやあやのレ ベル……

この読解力の貧しさはどうだ。どこに冷笑があるのだ。

あゆもつんくも大衆に大いに支持されているヒットメーカーだが
世の権威は彼等を決して「芸術家」とは認めないという皮肉ではないか。
「Xベクトル」はどこにいったんだ。

あと「芸術なんたら」に関して少々述べたいのだが今のところは
邪魔なようなので、ひとまず退散。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/26(Mon) 06:21 No.5986(管理者)

邪魔レス歓迎。スルーされるのが残念だが(笑)
> 素通り
そのとーり。
そういうツッコミは他にもできるんだが、しゃべるたびに莫大な量のゴミを
撒き散ら
すタイプゆえ、一つ一つ拾っていけないのが残念。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 10:23 No.5995

とつげきさんへ 第1点

< 数学の問題の答えに確信を持つことと、山の普遍的知恵の測定結果に確信を持つことが同じ！？
数学の問題は教科書に答えが載っているし、周りの人に聞いても共通の答えが得られる。
(もちろん、自分自身で「これは正しい」と確信する場合もあるし、確信していても間違っていることもあるが)
一方、君が測る「普遍的知恵」は、君以外の人に認められない。
ただ一つ数学と同じなのは、「これは正しい」と自分で確信しているという点だけだ。
例えばこの場で君は「自分は凸よりも知恵が高い」ということを述べているが、君以外がそのことを確信したり、それに同意したっけ？

教科書(その時点での、その社会の常識)に載っているから
正しいとは限らないことは分かりきったことです。
あるいは、その時点で多くの人々が信じているから正しいとは
限らないことも分かりきったことです。
なぜ、今さらそんな、衆愚の常識(かもしれないもの)を
頼り、よりどころとするんですか？

数学の解を見出したときによりどころとなっているのは、
自らの内的直観ですね。仮にそれと教科書の記述が違っている
時はむしろ信頼できる先生に相談し、場合によっては
教科書会社に問い合わせても教科書の指摘を暴くはずです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 10:41 No.5997

とつげきさんへ 第2点

< 発展課題:
君は会話によって 知性 = 知識 × 普遍的知恵 のうち普遍的知恵を求め
ることが
できる。

当然、この式が成立することを知っている以上、知性を測ることもできていると思う。

私および山の普遍的知恵はいくらで、論理的知識はいくらか述べよ。

』 >

あなたの山は500メートルぐらいでしょう。1000人に一人か、1万人に一人ぐらいの山の高さだろうと推測しています。
(もっとピンポイントではっきりわかるためには、何度も言うように直接会って話をするのが一番いいのです)

その根拠について述べると、
たとえば哲学で言えば経験主義(人間が経験したことがすべて)までは理解できています。
ところがその先の「普遍的知性」の理解のところで、経験主義とそれを抜け出すところで、行ったり来たり(普通に言えばぐるぐる回って)しています。したがってさらに、その先にある
(もはやことばの分析からは出てこない)宗教の理解にはとても及んでいないいうところでしょう。
(500メートルの高さでも十分な知性で、発展の可能性が見えるので、私は懇切丁寧に対応しているのです。)

もう一つの指標として、芸術の理解度です。
これも哲学の理解度に応じて、「諧謔(かいぎゃく)」すなわち世界の常識を暴き、裏側をえぐって笑い者にするというレベルまではきています。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 11:32 No.5998

J熱くんさんは内的直感でもって理論の正否の判断すると言ったが、もし科学者がそのようなもので理論の正否を判断していたならば現代科学は成立しなかったであろう。
理論の正否は仮定・定義の妥当性とそこからの理論的な演繹の妥当性のみによって判断されるべき。

それとこれはJ熱くんさんへのお願い。
あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さとその理由を書いてください。

凸さん。議論を収束させようとしているところに何かと話題が広がってしまいそうなレスすいません。

Re: 5676スレよりの続き シン - 2004/07/26(Mon) 12:12 No.5999

この議論。興味深く拝見しています
見当違いの駄レスだったら、、、(悲)
> NO.5995

教科書の数学の解が正解であるとは限らない。って、印刷ミスですか？
と冗談はおいて。
客観的な解がない数学って、、、
数学を根本から批判ですかねえ
信頼できる先生 > 自分の内的直感 > 今までの数学の研究者達

おお！信頼できる先生。もはや数学の神ですね^^

> 誰かが「山は凸よりも普遍的知恵が低い」と確信しているとし
> て、その人と山の確信の
> どちらが正しいかをどう判定するか。
これの解答がないですが。

NO.5997

> あなたの山は500メートルぐらいでしょう
一般人はどれぐらいでしょう？つうか、これはギャグですか？
とりあえず、大衆は何mぐらいか知りたいかも。

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 12:23 No.6000

J氏へ

5954でも書いたが、 $Z=XY$ という公式が成り立つならば、

なぞなぞ知性 = 普遍的知恵 × なぞなぞ知識
間違い探し知性 = 普遍的知恵 × 間違い探し知識
マジカルバナナ知性 = 普遍的知恵 × マジカルバナナ知識

という等式が成り立つ。
なぞなぞやマジカルバナナなどの知識は、特別な知識は必要ない。
とすれば、これらの知性は「普遍的知恵」と直結すると考えてよいだろう。
では、これらが最もYを計測するのに適しているとすべきではないか。
少なくとも「知識」が介在する数学よりは。

また、知識に差がないならば、

高い普遍的知恵を持つ者 = なぞなぞやマジカルバナナが得意

という等式も成り立つ。
では、いわゆる「天才」たちは皆なぞなぞ知性が最も優れているだろう
か？
マジカルバナナがめっぽう強いのだろうか？
また、J氏はとつげき氏よりも普遍的知恵が高いと述べているが、
例に挙げたような特別な知識の要らない試験やゲームで、とつげき氏や
その他のJ氏よりも知恵が低いと感じた者よりもよい成績がのこせるの
か？

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 13:31 No.6006

山君は普遍的知恵は一次元だと断固主張し、それを厳密に測定できる方

法が存在するといっている。

では、知恵の輪というくだらない金属の物質があるが、あれを解くのに少なくとも見たことがないものならば知識は必要ないだろう。
それをA、Bに100個解かせる。100個は全て違う種類。1つを解く時間制限も知恵を測定するのに影響ない程度に設けるとして、ある知恵の輪でAが解けたがBは解けなかったならば、その逆のことが起こる可能性はないのだろうか。

山君の主張が正しいのであれば必ずそうなるはずであるが…。

Re: 5676スレよりの続き 湘北 三井寿 - 2004/07/26(Mon) 14:13 No.6007

おれも読んでただけだとヒマだからレスしてみようっと。
かなり見当違いなレスかもしれないけど(笑)

> あなたの山は500メートルぐらいでしょう。1000人に一>人か、
> 1万人に一人ぐらいの山の高さだろうと推測しています。
> (もっとピンポイントではっきりわかるためには、何度も言う>ように
> 直接会って話をするのが一番いいのです)

> その根拠について述べると、～

山が500mで数字の意味が分からん。
その根拠で言われてることが500mであることを確証づけて
いるものではないし、500っていうかなり具体的な数字を
出してる割には1000人に1人か1万人に1人って…
そうとう適当な感じが漂うけど。
これって知性を測れてないんじゃないの？

会って話したら実は515mでしたとか、3279人に1人
でしたとか分かるってことなのかね？

つかそもそも、凸さんの発展課題に対する答えに全くなっていないと思う
わけだが。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 15:07 No.6008

>山が500mで数字の意味が分からん。

500mの山とは次のような山である。

硫黄山(508)母衣月山(503)宮塚山(508)筒ヶ岳(501)与那覇岳(503)礼文岳
(490)金山(500)御岳(497)横当島(495)

この中で我々が知っている山が一つでもあるだろうか？
つまりJ熱くんは「凸の普遍的知恵はその程度」と言いたかったのである
(笑)

詳しくはこれで

<http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MOUNTAIN/mountain.html>

Re: 5676スレよりの続き 巧翔 - 2004/07/26(Mon) 17:06 No.6012

>>私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして冷笑せしめるつんくやあゆのレベルはさらに低い(せいぜい50mレベル)と判断できるのです。
この山の発言より、この板で凸さんにバカにされている山のレベルはせいぜい10mレベルである…(笑)
10mレベルの山がどのようにして凸さんのレベルが500mだとわかったのだろうか…
>>教科書(その時点での、その社会の常識)に載っているから正しいとは限らない
>>数学の解を見出したときによりどころとなっているのは、自らの内的直観ですね。仮にそれと教科書の記述が違っている時はむしろ信頼できる先生に相談し、場合によっては教科書会社に問い合わせても教科書の指摘を暴くはずです。上で教科書の解が正しいとは限らないと言っているのに、信頼できる先生や教科書会社の出した新たな解が正しいとは限らないとは思わないのだろうか。。。
数学の解が正しいと確信することは一種の「信仰」だと思うのだけれど、違うのかなぁ。。

Re: 5676スレよりの続き 某 - 2004/07/26(Mon) 17:30 No.6013

発展課題に答える前に普通の宿題にも答えてください。

ちなみに僕は確率のテストで自信をもって答えた答がみんなと違ってて誤答を確信したことがあります。
これからは自分の直感を信じて行きます。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:26 No.6016

イオさんへ 第1点

< J熱くんさんは内的直感でもって理論の正否の判断すると言ったが、もし科学者がそのようなもので理論の正否を判断していたならば現代科学は成立しなかったであろう。
理論の正否は仮定・定義の妥当性とそこからの理論的な演繹の妥当性のみによって判断されるべき。

もちろん、客観的妥当性は評価、検証されるべきです。
しかしその場合にも、当初はなかなか受け入れられないという事実はあります。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:32 No.6017

イオさんへ 第2点

< それとこれはJ熱くんさんへのお願い。
あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さとその理由を書いてください。 > >

まず、分野を(日本の)マンガと文学に限りましょう。
マンガでは、最高水準が

小山ゆう「がんばれ元気」
美内 ずずえ「ガラスの仮面」
の二つ。

文学では、山崎 豊子「大地の子」です。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:42 No.6018

イオさんへ 第2点のつづき

< それとこれはJ熱くんさんへのお願い。
あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さとその理由を書いてください。 >

理由と山の高さが抜けていました。
山の高さはいずれも2000メートル超。
理由は、諧謔、哀歓を含み、
人間の存在意味(天命)に届いているからです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 19:30 No.6019

とつげきさんへ 第2点のつづき

あなたは私のつぎの質問
< ところであらためて質問です。
あなたは、普遍的知性の測定(あるいはその可能性)をこれまで
本当にまともに考えたことがあったのでしょうか ?
私の測定法が1~2日で劇的に変化するからこの問いに答える
必要がないという指摘が誤りであることは、すでに第2点で
述べていますよ。 >

に対して、

< 自分で考える。どっちでもいいから。 >

という投げやり、逃避的な態度を見せていますが、
ひょっとすると、
こんな大事な問題を考えたことがなかった
→ したがって、(それが第1歩である)宗教の本質理解まで
とても届かない
→ したがって、芸術の初歩である(諧謔(ギャグ))からは
一步も出ず、思想も宗教の手前である哲学(その中でも
初歩の経験主義)までしか理解(可能性を考える想像力も
含めて)が及ばない。

おおむね、こういう事情でしょうか ?
もし、違うのなら私の問いに簡単に答えられるはずですね ?

Re: 5676スレよりの続き **Revin** - 2004/07/26(Mon) 19:39 No.6021 

とつがその指摘に答えないのは、答える必要がないからですよ。
 とつは貴方の「普遍的知識の測定(山測定法)」が間違っていることを論
 点にしているのですから。
 その程度は180cmの山である俺でも分かります。

Re: 5676スレよりの続き **J熱くん** - 2004/07/26(Mon) 20:14 No.6022

Revin さんへ

<とつがその指摘に答えないのは、答える必要がないからですよ。
 とつは貴方の「普遍的知識の測定(山測定法)」が間違っていることを論
 点にしているのですから。>

私は、その測定法がここまで理解できないとつげきさんに対して
 いったん、手前に戻って議論をやりなおそうとしているのです。
 それが

< とつげきさんは

私があなたの主張をまとめていなかったのなら、まとめましょう。

あなたの主張は、

- 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえ
ない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、
それは、数学や会話ではない」

以上です。

2については、そういう人が多いのは事実です。

1については、しばらく議論を保留しましょう。

問題は3点目です。

あなたはこの基準について、

知性をはかる基準があるかもしれないが……

と、大変消極的な姿勢ですね。

それはなぜでしょうか？

その答を私は知っています。これまでこの問題をまともに考えた
 ことがなかったからです。

ある問題を一気に生徒に解かせようとすると、生徒は混乱し、
 時には反抗的になります。

そこで、小学生レベルにもどって、自分の頭で疑問を考える
 ところから始めましょう。

そこで質問です。

あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、
 少なくとも知識ではなかった。

では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの
 答は

<何でもいい。何かの基準で測ったのだ。>

というものでした。

では、その基準としては、どんなものが考えられうるのでしょうか？

あなたの直観でいいから考えてみてください。>

と言っているのです。
 ちょうどいくら説明しても微分の分からない生徒が存在する時に、
 いったん小学生レベルに戻って、「ある数に対応して変わる数」
 の概念を「自分で考えてみなさい、あなたならどう思いますか」
 と言っているようなものです。

したがって、あなたの指摘の「とつげきさんは答える必要がない」
 というのは、そうではありません。

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 20:18 No.6023

俺のレスにも答えてくれよ(笑)

Re: 5676スレよりの続き 常におわしますホトケ - 2004/07/26(Mon) 20:18 No.6024

あか あかや、
 あか あか あかや
 あか あかや、 月

猫のけんかも、夏の夜のにぎわい

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 20:22 No.6025

また、知識に差がないならば、

高い普遍的知恵を持つ者 = なぞなぞやマジカルバナナが得意

という等式も成り立つ。
 では、いわゆる「天才」たちは皆なぞなぞ知性が最も優れているだろう
 か？

まほ公さんへ

あなたの次の質問(指摘)

< マジカルバナナがめっぽう強いのだろうか？
 また、J氏とはとつげき氏よりも普遍的知恵が高いと述べているが、
 例に挙げたような特別な知識の要らない試験やゲームで、とつげき氏や
 その他のJ氏よりも知恵が低いと感じた者よりもよい成績がのこせるの
 か？ >

それが誤りであることは、すでにとつげき氏が7 / 17 からの一連の
 やりとりの中で明らかにしているので、それを
 参照してください。

Re: 5676スレよりの続き 某 - 2004/07/26(Mon) 20:22 No.6026

漫画かえ！
山測定の基準も変わってるし。

ちなみに私はガラスの仮面を読みましたが、ドラえもんの方が面白いと思います。どうでしょう。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 20:43 No.6027

某さんへ

ドラえもん。結構じゃないですか。
諧謔(ギャグ<ユーモア)のベースに夢と哀愁があります。
少なくとも「浦安鉄筋家族」よりは普遍性が高いものです。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 20:48 No.6028

第1点目

>もちろん、客観的妥当性は評価、検証されるべきです。
しかしその場合にも、当初はなかなか受け入れられないという
事実はあります。

頼むから俺の質問に沿った回答をしてくれ(涙)
「過去の先人たちが築きあげた論理的で様々な実験によって支えられて
いる理論よりも自分の矮小な人生の中で経験されたことによってのみ裏
付けられる直感の方が正しいと本気で信じているのですか？」と聞いている
のですが...

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 21:00 No.6029

>それで私は知性をX軸側の知識、Y軸側の知恵の二つのベクトル
>が構成している「面積」だと言っているのです。

この主張と、6000で書いた考え方より、この質問の答えに不適切ではないか？

そして、最も重要な部分

>なぞなぞやマジカルバナナなどの知識は、特別な知識は必要ない。
>とすれば、これらの知性は「普遍的知恵」と直結すると考えてよいだろう。
>では、これらが最もYを計測するのに適しているとすべきではないか。
>少なくとも「知識」が介在する数学よりは。

この部分についてどう考える？

知性を構成するものが知恵と知識だけなら、これは正しいはずだ。

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 21:22 No.6031

なかなか答えてくれないので、山氏でも多分理解できるように質問形式で
書き換えたので、明確に答えていただきたい。
以下質問。

知恵の輪というくだらない金属の物質があるが、あれを解くのに少なくとも見たことがないものならば知識は必要ないだろう。
それをA、Bに100個解かせる。100個は全て違う種類。1つを解く時間制限も知恵を測定するのに影響ない程度に設けるとして、ある知恵の輪でAが解けたがBは解けなかったならば、その逆のことは必ず起こらないのですか？

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 21:23 No.6032

第2点目

「何で勝手に漫画に限定するんじゃ」とかは言いません。(議論が拡散するから)

質問の仕方を変えさせていただきます。
次の人達の山の高さとその理由は？

- 1 ニュートン
- 2 シェイクスピア
- 3 ベートーベン

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 21:39 No.6034

J熱くんじゃないけど...

仮に知恵の輪偏差値なるものが存在したとしても、最高水準の言うようなことは起こらないと思う。

なぜなら、知恵の輪はあまりにも博打的要素が強すぎるからだ。(データはとっていないが)

例えばランダムに17文字を打ち出すコンピューターと俳人が俳句勝負をしたとする。場合によってはコンピューターの作り出した文字列の方ががたまたまその場にいた人達の心を動かすこともあるだろう。

そう言うことが知恵の輪では簡単に起こりうると思う。

あんまり真剣に知恵の輪に取り組んだことがないんですけどめちゃくちゃ奥が深いのかも知れないが...
誰か知恵の輪について真剣に研究した人います？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 21:45 No.6035

イオさんへ

- < 1 ニュートン
- 2 シェイクスピア
- 3 ベートーベン >

ニュートンは(あの時代に)普遍的法則性を体系化し、
宇宙の心にはっきり達しているという意味で、

優に世界レベル(6000~7000メートル)でしょう。
その力学体系を塗り替えた(包摂した)アインシュタインも
同レベルでしょう。

シェークスピア、ベートーベンについては私は断片的にしか
本人を知らないので分かりません。

ベートーベンについてもよく

Re: 5676スレよりの続き ? - 2004/07/26(Mon) 22:08 No.6036

NO.5829より

> では、知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？

測定可能です。

一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
話をしてみることで、測定者は、自分の知恵の到達度まで対象者の
理解度を測定することが可能です。ちょうど1000メートルの
山から見れば、Aの山が500メートル、Bの山が300メートル
という風に正確に把握できるようなものです。

「自分の知恵の到達度まで対象者の理解度を測定することが可能」・・・
あの、J熱くんさん、ニュートンやアインシュタインの山を正確に測定できる
ようですが、
貴方はご自身の山の高さをいくらだと考えているんでしょう？

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 22:08 No.6037

では、知恵の輪で運のみで解けなく、空間把握能力によってのみ解けると
するとき、同じ質問ではどうなるか。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 22:17 No.6038

イオさんへ

ベートーベンについては、交響曲第5番で人間の持つ宿命
(運命 = 有限性)と絶望を表し、第6番と第9番で
それを包摂する神の恩寵を表現しているという意味で優に
世界レベルだということまでは推測できます。

ただ、それにしてもその音楽に(たとえば)モーツァルトのような
透明性、明澄性がない(ような気がする)ので(その疑問が
完全に解けるまでは)断言出来ない部分が残るのです。

どなたかこの部分に(普遍法則性に対する理解度が共有できる
ことが条件ですが)
ピンポイントで解説できる人がいれば
ありがたいと思っています。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 22:31 No.6039

?さんへ

<「自分の知恵の到達度まで対象者の理解度を測定することが可能」・・・
あの、J熱くんさん、ニュートンやアインシュタインの山を正確に測定できるようですが、
貴方はご自身の山の高さをいくらだと考えているんでしょう？>

大体5000～6000メートルのレベルでしょう。
知識の分野のベクトルは、経済、政治、東洋哲学(孔子、孟子、韓非子など)宗教(老子、庄子、仏教)方面に伸びています。
の分野に
伸びています。

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 23:10 No.6045

いま私は、綿棒と爪楊枝をつかって宇宙の真理を表した芸術作品を生み出した。
つまり、J氏の基準ではすでに私は宇宙レベルとなったのだ！
さあ、祝福してくれ。そして私は何mなのか教えてくれ！

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 23:12 No.6047

>では、知恵の輪で運のみで解けなく、空間把握能力によってのみ解けるとするとき、同じ質問ではどうなるか。

実際問題として運という要素(他には体調や集中力・知恵の輪に対する興味)が全く同じ状況(あるいはそれらの影響を排除する)でのテストが現時点では想定できない以上そう言ったものの存在を仮定してそれについて云々言うことはあまり有意義なことではないと思う。

Re: 5676スレよりの続き 通りすがり - 2004/07/26(Mon) 23:35 No.6048

山さんとは逆に低い位置にいることこそが知性の深さを表すと考えて、必死で穴を掘っている谷さん(仮名)から見たら高度5000～6000mの山にいる
山さんは知性が浅いお馬鹿さんに見えるんだろうなあ。

谷さん(仮名)談
「ニュートンですか？彼はマリアナ海溝レベルの知性の深さを持っていますね。深さ10000mくらいですよ。
私が測ったんだから間違いない！」

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/27(Tue) 00:14 No.6052(管理者)

凸という字は、山という字を図形的に包含しているではないか。
勝敗は明らかである。
これは私の普遍的知恵計測方法だ。

ちなみに単位は「メートル」などという恥ずかしいものではない。
なんと、「平方メートル」だ。

Re: 5676スレよりの続き 乾麺 - 2004/07/27(Tue) 02:02 No.6067

やっぺー、いつの間にかこんなに面白い事になってたとは。
完全に乗り遅れた。

でも岩男はもう山や音楽家の話はいいいから、
俺と漫画の話しようよ(小説でもいいけど)。

君の言う

諧謔、哀歓を含み、人間の存在意味(天命)に届いている作品
として、「The World is Mine」「ぼくんち」「寄生獣」、
「さくらの唄」辺りも及第すると俺は思うんだがどうかな？

君なら勿論読んだよね！

あと漫画オタとしては、「私は真悟」や「国民クイズ」、
諸星大二郎やつげ義春の短編(ねじ式じゃなく無能の人とか)
も外せないのだからどうだろう！

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/27(Tue) 06:15 No.6073

乾麺さんへ

諸星大二郎の「無面目」や「孔子暗黒伝」は、非存在が存在に
転化する妙機のようなものを描いており異彩を放つものが
あります。奇岩の突出した600メートルの岩山のような感じ
でしょう。

つげ義春(の無能の人)、ぼくんち(西原理恵子ですか？)

凄絶さと隣り合わせに哀感があって印象に残ります。

300メートルぐらいの崖っぷちにあるすすきが原という感じ。

いずれも感性の広がり(の方向性)としては、おっと言わせるものが
あるのですが「瞬間の中に全体を表す」という切迫感までがなく
感情移入がスムーズにいかないという憾みがあります。

Re: 5676スレよりの続き BachHuman - 2004/07/27(Tue) 10:17 No.6076

HN変更

BackHuman → 凸凹凸 □

勝った…。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/27(Tue) 10:28 No.6078

J熱くん氏はいつの間にか「日本漫画評論家」となられました。
先生『ポーボボ』はどうでしょう？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/27(Tue) 10:43 No.6079

イオさんへ

< J熱くん氏はいつの間にか「日本漫画評論家」となられました。
先生『ポーボボ』はどうでしょう？ >

いや、知りませんね。

Re: 5676スレよりの続き 凡人C - 2004/07/27(Tue) 13:30 No.6081

先生が山の高さの測定だけでなく、
その姿形も認識できるとは初耳です。

Re: 5676スレよりの続き kimu - 2004/07/27(Tue) 14:32 No.6083

「がんばれ元気」結構好きだな。
メジャーどころなら、
「スラムダンク」「ベルセルク」「寄生獣」辺りはどうでしょ？
いや、単に私が好きなだけなんだけど。

Re: 5676スレよりの続き kimu - 2004/07/27(Tue) 14:46 No.6084

全然関係ないが、
漫画好き(特に、JOJO、バキ、ドラえもん、福本マンガ等)は
<http://asame.web.infoseek.co.jp/bbsgal.html>
<http://doradoradragonfly.hp.infoseek.co.jp/manga/manga.html>
などがちょっとオススメ。ああ、くだらないですか。
私はこんなくだらないものが大好きです。

5676スレよりの続き 投稿者:とつげき東北 投稿日:2004/07/24(Sat) 18:22 No.5924(管理者)

返信

正確に山の論点をまとめると、

↑

哲学、数学、芸術、宗教、経済学、何であれ、「知恵」とやらが先天的にあれば上手にでき、
そうでなければできない。
そしてその「知恵」は普遍法則に対する直感的理解度というたった一つの基準
(たった一つのテスト)で測れる。
また、会話してみても測れる。
知恵とは、直感、感性とも呼ばれ、また時間意識の長さでもある。
過去の偉大な芸術家と違い、あゆやつんくなどの芸術は知恵が高くない。

数学知性 = 普遍的知恵 × 数学知識
哲学知性 = 普遍的知恵 × 哲学知識
芸術知性 = 普遍的知恵 × 芸術知識
宗教知性 = 普遍的知恵 × 宗教知識
...

である。

↓

低レベルのくだらない主張だ。

$Z = XY$ Z:知性 X:知識 Y:才能

この思考方法は大衆がしばしば用いる典型的なものである。
「自分は勉強していないから、勉強ができない(でもやればガリ勉よりできる)」
という発言は、Zが圧倒的に低い現状を説明するために、自分のXを限りなく低く
設定することにより、自分のYは(よりZが高い人よりも)高いと言うための方法だ。
しかもYが「普遍的に全てに成り立つ」などと仮定すれば、なんと自分が負けている
領域を除く全ての領域で相手に勝つ可能性が高いと思込むことができる！！
何事も上手にこなす人(種々の領域でZが高い人)のうち自分の気に食わない人
には、
「いくつかの領域でXが高い」とみなし、たまたまその人が例えば「会話能力が低い
(会話のXが低い)」だけで、「あいつは知識はあるが、才能はねえ。才能があれば
会話はうまいはずだ」などという短絡に結びつくわけである(実は才能は高いが、
会話における知識だけがたまたま低いとは思えない)。
そもそもこのような式自体が捏造されたものであり、何度も説明してきたように、
この世の種々の知的活動においてはZが重要であり、また細分化されているため
に、
(この式で)「全てに共通する一つのY」などというものは存在しないのである。

せいぜい、
 $Z_{\text{数学}} = X_{\text{数学}} Y_{\text{数学}}$
 $Z_{\text{哲学}} = X_{\text{哲学}} Y_{\text{哲学}}$
のようになるのである。そしてこの場合、Yを単独で求める方法がない以上、結
局は
Zによってしか判断することはできないのである(むろんZもまた、正確に計測す
る方法が確立されてない)。
これも説明したとおり、XとYは山が主張するような独立のベクトルではなく相互
補
完関係にあり、どちらかを単独で決定づけるような思考方法は、非常に幼稚なの
である。
そもそも、 $Z = XY$ という短絡的な知性観が間違いなのだ。
(なお大衆は、ある事柄に対して2種類の要素があるとき、総合評価を積や和で
表す
のがすきである。例: ギャグの面白さ = 意外性 × うまさ など)

この論証不可能な便利な指標、つまりどんなに知性が劣っている人にも「知恵は
ある」
と決めることができ、逆に優れた人にも「知識しかない」と言える便利な主張に頼
り
ながらも、一方で「全ての能力に共通する才能 = 知恵」という幻想に憧れ続けて
いる
のが山の姿である。
だから、山の氣にくわない「最近の芸術家(あゆやつんく)」には知恵がないとさ
れ、
彼がたまたま氣にいらしている、(本来運のみで認められただけの人も含む)古典
的芸
術家は知恵があって数学分野や経済学分野、哲学分野に進んでも成功してい

ただろう、
などとされるのである。
なお、この主張も論証不可能なものであって、考慮の余地はない。

彼は古典的芸術に対する権威主義的とも言える妄信、「最近の芸術は墮落した」と感じ
てしまえるような現代芸術への無理解等に支えられながら、一方で気に入った
ものに「才能」を見出し、気に入らないものからは「才能」を剥奪した上で、「才能
が大事」と言えるような空虚な思考方法を編み出したのである。

Re: 5676スレよりの続き 乾頼 - 2004/07/24(Sat) 19:02 No.5925

おーすげー盛り上がりだ。
他のこの掲示板の常連の人達が引いてるw

岩男は、ここまで丁寧に論破してくれるとつに感謝すべきだと思うよ。
数学や論理をそれほど信じているなら、わからんちんな概念を
持ち出さずに、厳密な議論をする努力をしなよ。
次から次へと例え話をして対話者の注意を逸らすのは、
怪しい宗教の教祖とかがよく使う手だな。
まあテクニックとしては一部の人には有効なようだけど、
とつにはきいていないし、それが逃げでしかない事を見抜いている
人間も多い事をいい加減悟れよ。
ひょっとしたら無意識にやっているのかも知れないけど、
だとしたら恐るべき知的盲目さだ。
その可能性を考えなかった？>とつ

でも、やっぱ凸は凄いね。
J熱くんがこれだけ丹念に議論を拡散させ続けても(笑)、
彼の大好きな数学を使って、ここまでわかりやすく
論点を収束させているのだから。
俺はもう岩男との対話不可能性に疲れちゃって、
茶化す事しかできなかったんだけど。
まあ知的パフォーマンスか。
少なくとも、俺にはこういった議論は
とても上質なエンターテインメントだけだね。

それにしても「山」ってあんたw

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 20:31 No.5927

とつげきさんへ 第1点

私の論点は
 $Z(\text{知性}) = X(\text{知識}) \times Y(\text{知恵})$
 と整理されることはそのとおりです。

それに対する あなたの反論
 $Z\text{数学} = X\text{数学}Y\text{数学}$
 $Z\text{哲学} = X\text{哲学}Y\text{哲学}$

という数式は、これは何の意味でしょうか ?
 同じもの(数学や哲学)同じもの(数学や哲学)と同じもの
 (数学や哲学)に同じです。

という定義でしょうか。意味不明です。
 たとえば「人間」は「人間」である。という定義は意味をなし
 ません。AはAであると言っても何の理解も深まらないし、
 新規の知識も得られないからです。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 20:43 No.5929(管理者)

何を言っておるのだ。
 その式が私の主張だとでも思っているのか。
 最初から最後まで常に、「そうではない」と繰り返し述べてきたではない
 か・・・
 私が、君の恥ずかしい式に似せて少しでも現実に沿うように変形した式を
 笑って
 どうする。
 > そもそも、 $Z = XY$ という短絡的な知性観が間違いなのだ。
 と明言しとるだろう。

Re: 5676スレよりの続き Revin - 2004/07/24(Sat) 20:47 No.5930 

要するにとつは、哲学には哲学の、数学には数学の知恵というものがあ
 ると言ってるんやと思います。
 俺もそれには賛成で、さらにいえば数学とかの中でも色々な知恵があると
 思う。
 例えば空間図形とか平面図形とか。やたら得意なジャンルとかがあって
 ことやね。
 「向き不向き」って呼んでもええかもしれんね。

Re: 5676スレよりの続き ↑ - 2004/07/24(Sat) 20:52 No.5931

でもそれはまだしも、ってことやね。
 本当は知識も知恵もない。知性を分けて論じるのは結構だがそれにして
 も二元論でしかも積が知性になるような浅い考察には意味はねえってこと
 でしょうか。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 20:54 No.5932

とつげきさんへ

< 何を言っておるのだ。
 その式が私の主張だとでも思っているのか。
 最初から最後まで常に、「そうではない」と繰り返し述べてきたではない
 か・・・
 私が、君の恥ずかしい式に似せて少しでも現実に沿うように変形した式を
 笑ってどうする。 >

では、これまで繰り返し私が問い掛けてきた
 既存の知識からはでてこない新規創造を何によって説明するのしょう
 か ?

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:05 No.5934(管理者)

何が新規で何が新規でないか、何が芸術で何がそうでないか、あるいは何が知性で
あるかというような問題に対して、君のように一元的な発想をするのがクソだと言
っているわけ。
ランダムに文字列を「新規創造」するコンピュータは最も知性的なのか？
自己組織化によって設計者の想定しない新規創造を繰り返すプログラム
は？
これらの根本はプログラムや既存のデータという「知識」にあり、文字通りの
意味の
「新規創造」などではない。
知性観が古すぎるんですよ。
「なんとでも説明できる」が答えだ。

それよりも、君の「方程式」を、現実に沿う形でちゃんと説明してくれ。
なぜあゆやつくんは芸術家として知恵が低いと君が計測できたのか、ある
いはできる
のかも(「会話を聞いてわかった」のかな 笑)。

新しい話題や質問を次々に投げかけるタイプの大衆も存在する。
彼らはレスの論理的意味合いを全く理解せず、次の質問を投げかける。
そしてその質問の内容が、知性と知識と知恵の欠落によって押しなべて
低レベルで
ある。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/24(Sat) 21:12 No.5935

とつげきさんへ 第2点

あなたが私に答えていないのはまだまだあります。
あなた、何に基づいて東北大の教授の知性を低いと判断したのしょう
か？
その分野における知識はあなたがなかったにも関わらずです。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:16 No.5937(管理者)

論理における知性が低いと感じたから。
つまりロジックを用意せずに、既に「古い」嘘を垂れ流していたから。
ていうか、それくらい自分で想像しろよ。いちいちこの私に聞くな。
私が個人的に他人の知性の低さを測る場合と違って、君は「普遍的知恵」
を「数学
で」測れるというようなムリな主張をしているのだ。
何まるで同じような立場にいるかのごとく質問しているんだ。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/24(Sat) 21:22 No.5938(管理者)

端的に聞くが、

> つんくとはよく知りませんが、最近のタレントなんでしょう。
> 芸術にしる、数学にしる、知恵のベクトルが低いレベルで

> (したがって耐用年数が短期間で)知識のベクトルだけが
 > わずかに広がっているレベルの自称芸術家や数学者はそれこそ
 > これまでも山のようにいましたし、これから山のように出るで > しょう。

なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？
 数学試験もやらせてないし、会話もしていないだろ？
 ようするに、「君がそう思った」という以上のどういう説明ができ、君の数式でいう
 ところの何を君が計測できたのか？
 それで、なぜ結論が出せたのか？

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/24(Sat) 21:43 No.5939

横レス失礼。
 一つだけ聞きたいんですが、凸さんっていつもこういうことを考えてるんですか？

Re: 5676スレよりの続き ながす - 2004/07/25(Sun) 00:52 No.5940

凸さんの返事ハエーハエー。

よく4分でこれだけ書けるな～
 その調子で本のほうも・・・

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:21 No.5941

とつげきさんへ

< なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？
 数学試験もやらせてないし、会話もしていないだろ？
 ようするに、「君がそう思った」という以上のどういう説明ができ、君の数式でいう
 ところの何を君が計測できたのか？
 それで、なぜ結論が出せたのか？ >

もちろんあなたの知性(とくに知恵)のレベルを通じてです。
 私はあなたの知恵のレベル(どこの部分でじたばたするか
 だだをこね始めるか)を冷静に観測(計測)しています。
 その私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして
 冷笑せしめるつんくやあやのレベルはさらに低い(せいぜい50m
 レベル)と判断できるのです。

それより私はあなたになぜ数学者が必ずしも芸術家ではないのかを
 丁寧に解説したのですが、それに対する答はどうなっているの
 でしょうか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:26 No.5942

とつげきさんへ 第2の点

< ランダムに文字列を「新規創造」するコンピュータは最も知性的なのか？
自己組織化によって設計者の想定しない新規創造を繰り返すプログラムは？
これらの根本はプログラムや既存のデータという「知識」にあり、文字通りの意味の
「新規創造」などではない。
知性観が古すぎるんですよ。
「なんとでも説明できる」が答えだ。 >

もちろんそんなのは新規創造ではありません。
ランダムな組み合わせがもたらした新しく見えるだけの
ものは、再現性、汎用性がなく、あっという間に
ぼろを出すからです。

それにどうして「何とでも説明できる」などとおおよそ
緻密な論理を組み立ててきたあなたとは思えない
開き直りをする必要があるのですか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:37 No.5943

とつげきさんへ 第3点

< 論理における知性が低いと感じたから。
つまりロジックを用意せずに、既に「古い」嘘を垂れ流していたから。
ていうか、それくらい自分で想像しろよ。いちいちこの私に聞くな。 >

ですから、知性 = 知識とするあなたが、なぜその東北大の教授の
知性を低いと判断できたかを確認しているのです。
(何度も言っているようにその分野でのあなたの知識は教授を
下回っているのです)

もちろんあなたは、(その東北大の教授が)論理における知性が
低いと感じたからと言っています。
ではその「論理における知性」とは何ですか？
(あなたの主張によれば)
知性は「知識」だけで成り立っているのではなかったのですか？

さらにあなたは期せずして「……と感じたから」という
ことばを使いました。「感じる」ということは論理を超えている
はずですね？

つまり世の中には「形成された」論理や知識を超えたものが
あると自ら吐露したではありませんか？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 01:53 No.5944

とつげきさんへ 第4点

< 私が個人的に他人の知性の低さを測る場合と違って、君は「普遍的知恵」を「数学で」測れるというようなムリな主張をしているのだ。何まるで同じような立場にいるかのごとく質問しているんだ。 >

前半部分。

あなたは個人的にせよ、他人の知性を測ることが可能と認めていますね。

もう一度しつこく言います。認めているんですよね ？

それでは、その知性を測る基準は何だったのでしょうか ？

何度も言いますが「両者の知識」ではないはずですね。

後半部分。

数学で測定するということについては、私は何度も解説して

いますが、あなたからは確たる回答を得ていません。

したがってこの部分はしばらく保留にします。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 03:20 No.5945(管理者)

ふう。

私の

> なぜ君に、彼ら個人個人に「普遍的知恵」があったかなかったかを判定できたの？

に対するレスが、

> もちろんあなたの知性(とくに知恵)のレベルを通じてです。

> 私はあなたの知恵のレベル(どこの部分でじたばたするか

> だだをこね始めるか)を冷静に観測(計測)しています。

> その私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして

> 冷笑せしめるつんくやあやのレベルはさらに低い(せいぜい50m

> レベル)と判断できるのです。

それは君の説である「知恵が会話で正確に測れる」が正しいと仮定して初めて成り立つ。

(むろんその仮定は成り立たない。私は私の知恵の方が山よりも高いと会話から測った

からだ。また、私はあゆやつんく的能力を低くなど見ていない)

私がその説の根拠を何度も聞いているのに、君は君の説の正しさを前提として話している。

それは論理的には「循環論法」と呼ばれ、一般には信仰と呼ばれる。

なんでこんなことを教えてあげないとダメなんですか。

最初から言ってるじゃないか。

そんな計測方法だと、

> 各々が「相手のほうが低い」と言い合うだけの状況になるこ

> とは目に見えている(5848)

と。

その計測がなぜ正しく、「普遍的知恵」などを測れるのか、なぜ君が「偉大な芸術家」

の普遍的知恵を計測できたのか、なぜ君が「偉大な芸術家」が経済学をやれば経済学

ができ、数学をやれば数学ができ、宗教をやれば宗教ができたということを知っている

のかを聞いているのだ。
(単に芸術と他の分野における知識が高いだけの凡人だったらどうする)

> 5942

自分で考える。誤解に基づく下らない質問だ。

> 5943

> ですから、知性 = 知識とするあなたが、なぜその(略)確認しているのです。

私が知性 = 知識などと考えていないことを示す発言をピックアップする。

> 知識の量も知性(5769)

> 個別の能力に対して、その基礎となる共通能力があり得ることを

> 否定しているわけではない(5795)

> 種々の「才能」が想定でき、「知性」が想定でき、「知識」が考えられる(5825)

> 以上は、限定的な能力における「知性」の差を無効にしているわけではない。

(5848、ただしこの段階で「知性」は現在の「知恵」の意味)

> 私は、この式において、知識と知恵を補完的なものだと考えている

(5901)

> もちろんJ熱くんが誤解しているように、私は厳密な意味で「知性 = 知識」と言っ

> ているわけではない(5901 誤解について直接指摘している)

どんだけ言ったらわかるんだよ君は。普遍的知恵が低いよ。
少なくとも私は君の主張を理解した上でまとめ、反論を書いてあげている
じゃないか。

君は一体、何をしてるんだ。

いかに相手の反論をマジメに考慮せず、または考慮する能力がなく、自
分の信仰を

垂れ流しているかということだよ。恥を知れよ。

> あなたは個人的にせよ、他人の知性を測ることが可能と認めて

> いますね。

> もう一度しつこく言います。認めているんですよね ?

> それでは、その知性を測る基準は何だったのでしょうか ?

> つまり世の中には「形成された」論理や知識を超えたものが

> あると自ら吐露したのではありませんか ?

何でもいい。何かの基準で測ったのだ。

私が認めていないのは

「数学や会話で普遍的知恵が正しく計測でき、そのたった1つの知恵があ
れば数学、

芸術、経済、哲学、宗教など何でもできる」

というアホな主張であって、「知恵を個人的に測る方法が存在する」主張
ではない。

君が反論している相手は私ではなく、君の低い頭の中で作られた私の像
だ。

このスレにおいて私は山の主張を正しくまとめた上で反論した。
 一方山はどうか。
 上記のように、自分の信念を前提として信念を説明したり、カスみたいな
 質問をさらに
 重ねたり、私でない誰かに反論するばかりである。

この手法は大衆が議論において自分を劣っていないと感じるための手法
 の一つである。
 相手の主張に反論できないとき、相手の主張を現実にとぐわなくなる程度
 まで拡大解釈
 したり、あるいは相手の主張をずらした上で、それに反論したり、質問を投
 げかける方
 法である。
 質問に答えない場合「答えられないのか？」を連発する。
 誤解と誤謬に満ちた解釈の上での質問に答える必要などない。

論点を絞ろうかと思ったが、少し放置しよう・・・
 山の論理的破綻はそろそろ明らかだと思うので、つっこんであげてくださ
 い> 誰か

私からは一つだけ質問。
 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常
 に高い
 だけの知恵のない人』と見分けたのか」
 言い換えると、
 「 $Z = XY$ でZがわかっているとして、Xがわからないとき、なぜあなたにYが
 わかる
 のか」
 これ以外レスしなくていいよ(笑)
 瑣末な部分は全部私の誤解でした、ってことでいいよ別に。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 03:37 No.5946(管理者)

> イオ

> 一つだけ聞きたいんですが、凸さんっていつもこういうことを考えてるん
 ですか？

実際にはうしうしなどで議論が起きるたびに考えてみる、ということがほと
 んど。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 06:01 No.5949(管理者)

そうだ、あまりにも無駄な文章をこれまでのように垂れ流された場合、私
 が山の論点を
 明確にしてみせたように、山に私の論点をまとめていただくので、理解と
 要約の練習を
 しておいたほうがいいよ！（それをしてない、できてないから今こうなっ
 てるんだよ）
 相手の知性のみで成立している議論において、全てを理解せずに、愚昧
 さに寄りかかって

いられるのはあとしばらくの間だ。

ちなみに最後の最後では、知恵において山 > 凸を認め、かつ議論能力や論理能力、理解力等においては凸 > 山であることを私が自発的に認めてあげよう(大サービスだ)。
彼の普遍的知恵が高ければ高いほど、普遍的知恵がいかに「知性の計測」に対して有効でないものかが明らかとなる仕組みだ(笑)

なお、既に、他にもあらゆる種類の合理的な批判が用意されている。
あんまり一気に書いてもあれなので、書いていないだけで。

動き全てがワナだから気をつけてね(笑) byキルア

Re: 5676スレよりの続き BackHuman - 2004/07/25(Sun) 10:04 No.5950

駄レス。

> もちろんそんなのは新規創造ではありません。
> ランダムな組み合わせがもたらした新しく見えるだけの
> ものは、再現性、汎用性がなく、あっという間に
> ぼろを出すからです。
これの具体例が浮かばない。
もっとも、我々人間自身、アミノ酸の分離結合の「いい加減」な
試行錯誤で「創造された」とする仮説がもっとも現代における
「普遍的な」見地ではなかったのか。
更に言えば、知性における「創造」それ自体が
これに酷似するような「試行錯誤」による部分が
多く存在するとしなくては説明不能なことが多々あることに
疑義を持たなかったのか。
(私の感覚では、普遍的知見の劣る人間はただこの思考における
試行錯誤を心的に不必要だったなどで怠っただけの場合が多く、
そこに何らかの「普遍的知恵能力」を想定する必要はないし、
またできないだろう。)

> 君は君の説の正しさを前提として話している。
> それは論理的には「循環論法」と呼ばれ、
> 一般には信仰と呼ばれる。
なるほど。循環論法というのか。
これが、私が宗教家などに対して感じていた「臭さ」の
正体のほとんど全てだったと振り返る。

> 「知識」と「知恵」は相互補完関係にあるにすぎない。
これにかなり普遍的理解度を上げさせられた(笑)
一見客観的に思われるIQ測定でさえ、
「ちょっとした知識」で測定値が無視できない程度に
上昇可能という事実を思い出した(笑)

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 10:32 No.5951

とつげきさんへ

< 私からは一つだけ質問。
 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に高いだけの知恵のない人』と見分けたのか」
 言い換えると、
 「 $Z = XY$ でZがわかっているとして、Xがわからないとき、なぜあなたにYがわかるのか」
 これ以外レスしなくていいよ(笑)
 瑣末な部分は全部私の誤解でした、ってことでいいよ別に。>

だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を私の普遍的知性で測っているのです。
 それぞれの人の場合もそうで、(その人の普遍的知性の到達度に応じて)相手を測ることができます。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 10:56 No.5952

とつげきさんへ

私があなたの主張をまとめていなかったのなら、まとめましょう。
 あなたの主張は、

- 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、それは、数学や会話ではない」

以上です。
 2については、そういう人が多いのは事実です。
 1については、しばらく議論を保留しましょう。
 問題は3点目です。
 あなたはこの基準について、
 知性をはかる基準があるかもしれないが……
 と、大変消極的な姿勢ですね。
 それはなぜでしょうか ?
 その答を私は知っています。これまでこの問題をまともに考えたことがなかったからです。

ある問題を一気に生徒に解かせようとすると、生徒は混乱し、時には反抗的になります。
 そこで、小学生レベルにもどって、自分の頭で疑問を考えるところから始めましょう。

そこで質問です。

あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、少なくとも知識ではなかった。
 では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの答は
 < 何でもいい。何かの基準で測ったのだ。>

というものでした。
では、その基準としては、どんなものが考えられうるでしょうか？
あなたの直観でいいから考えてみてください。

Re: 5676スレよりの続き マネ - 2004/07/25(Sun) 11:43 No.5953

J・・・突っ込みやすいと思いやすいところに普通に突っ込んで・・・
「動き全てがワナだよ」
って聞いてねーな(笑)とつが曖昧にしてるところははっきりさせる
必要ないからしてないだけなのねえ

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/25(Sun) 11:48 No.5954

J氏は「数学」が「知恵」、つまり普遍的法則を見つけ出す力を計測するの
に最も適した方法だと主張した。
しかし、その数学の試験においてさえも公式や解法を憶えているもの(知
識を持つもの)が有利になってしまう。
そこで、J氏の言う「知恵」の計測にもっと有効な方法がある。それはなぞ
なぞだ。
なぞなぞの答えを出すには「知識」はほとんどいらない。
なぞなぞは文にこめられた「法則」を見つけ出す能力が試される。
つまりなぞなぞは、「知識」以外の何か(J氏の主張でいう「知恵」!)を測
ることができるのだ。
ここに我々は、このY軸たる「知恵」あらため「なぞなぞ力」と呼ぶこととし、
次の法則を発表する。

$$Z = XY \quad Z: \text{知性} \quad X: \text{知識} \quad Y: \text{なぞなぞ力}$$

この公式の発表後、大衆の間では難解ななぞなぞの出し合いが流行する
こととなる。
そして自分にしかわからないなぞなぞを出しては、「俺のほうが知恵が高
い」と言い合うのであった。
まさにとつげき氏の指摘した『各々が「相手のほうが低い」と言い合うだけ
の状況』に陥るのである。

とりあえず、こんな恥ずかしい公式を声高々に主張しているやつは小石に
頭を突っ込んで死んでくれ(笑)

Re: 5676スレよりの続き 通りすがり - 2004/07/25(Sun) 12:20 No.5955

ほんの一日で議論のランクが爆笑レベルに上がってるな。
これはログまとめてコンテンツとして残しておいて。> 凸
J熱くんの許可が得られれば、だけど。

今週のキルアは久々に見せ場だったよ。
こんなにキルアが輝くのはハンター試験初期の頃以来だね。

Re: 5676スレよりの続き 空 - 2004/07/25(Sun) 12:20 No.5956

Yを否定したい→ $Z=XY$ を否定 で結論終わりw
理由:なぜならYを主張するあなたがYの計測方法を説明できないからだ

と凸さんはここまで噛み砕いてますよ。
前では $Z=XY$ だとしても、分野ごとにX、Yがあって云々
もっと前ではX、Yは補完的である ということが正しいX,Yは関係をもつが
まったく別々の要素とするのはよくない・・・云々。
と主張してます。
反論したいのなら $Z=XY$ が正しいこと を説明した上でYの測りかたを説明するのが効果的でしょう。

で 思うに、凸さんは人間について普遍的なことで「くる」のを否定したがり
ます。普遍的なYがあると面白いよなあ、人によって尺度は違うんだ な
んてことじゃあ「つまらない」きっとYはあるんだ。
というロジックだと凸さんのいいたいことは理解できないと思います。凸さ
んがいいたいのはYがないことを受け入れてみるのもまた一興です 程度
の知的刺激を投げかけているだけです。

と私は思っていますが 凸さんはどうなのか 分かりません。だってひとそれ
れですから というお話。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 16:31 No.5960(管理者)

私の、

> 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非
常に高いだけ
> の知恵のない人』と見分けたのか」

に対して、山のレスが

> だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を
> 私の普遍的知性で測っているのです。
> それぞれの人の場合もそうで、(その人の普遍的知性の到達度
> に応じて)相手を測ることができます。(5951)

なるほど、数学やらせたり会話してみなくても測れるようになったのか。
歴史上の人物などの場合でも、いきなり $Z = XY$ のYがわかると。

以前は

> 知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？
> 測定可能です。
> 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
> 話をしてみること(5829)

「共通の話題に対して話をしてみること」が「一番簡単」だったのに、この1
～2日
の間でさらにもっと簡単な方法を見つけたのだな。
なんと会話などしなくてもわかるように！！
さすが。

最初からそればかり使っとけば良かったんちゃうん・・・

私に対して、

- > これまでこの問題をまともに考えた
- > ことがなかった (知性に関する話題について)

などと指摘してるが、たった2日ほどで計測方法が劇的に改善されるような知恵計測方法が、まともに考えられたものとはとても思えないのだけど。良心的に解釈すると、知恵が最高レベルの山だからこそできたのだろう。

- > そこで質問です。
- > あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、
- > 少なくとも知識ではなかった。
- > では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの
- > 答は
- > <何でもいい。何かの基準で測ったのだ。>
- > というものでした。
- > では、その基準としては、どんなものが考えられうるでしょうか？
- > あなたの直観でいいから考えてみてください。

山はどのように誤解しているか。

「凸は、ほぼ知性 = 知識だと思っている。

だから、彼が知識以外を<測定>できたのは間違いだった！」

また、山にとって知恵は普遍的知恵であり、一元的である。したがって例えば「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」というような、普通になされるべき世界解釈(質問への答え)が思い浮かばない。私が「自分で考えろ」と言ったのに、自分で答えを考えることもできなかったのだ。自説を最初から信じているから、相手に対して何度もとんちんかんな質問を繰り返しているわけだ。

山が私の論旨を、

- > 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- > 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえ
- > ない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- > 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、
- > それは、数学や会話ではない」

などとまとめてしまっていることにそれがあらわれている。山にとっては、「普遍的知恵があり、計測でき、一元的に存在する」のがあまりにも当然だったので、その部分に疑義を唱えられているということを、認識することさえできなかったのだ。

自説を信じており、その中から語っているから、こうなのである。

最初の部分に戻ろう。私が、

> 「ある芸術の偉人がいたとして、君はどうやって、彼を『芸術の知識が非常に高いだけ
> の知恵のない人』と見分けたのか」

と聞いたことに対する答えが、

> だから、それは何度も言っているように相手の普遍的知性を
> 私の普遍的知性で測っているのです。

これが信仰でなくて何であろう。
しかも彼の信仰は、2日で劇的に変化する。

私からの質問。

・「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でないか
どうかを、どう計測すれば良いか。
この質問に正しく答えられたまさにその時、その方法によって山は崩れる

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:16 No.5965

とつげきさんへ 第1点

< また、山にとって知恵は普遍的知恵であり、一元的である。
したがって例えば「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」というような、普通になされるべき世界解釈(質問への答え)が思い浮かばない。
私が「自分で考えろ」と言ったのに、自分で答えを考えることもできなかったのだ。
自説を最初から信じているから、相手に対して何度もとんちんかんな質問を繰り返しているわけだ。 >

おかしいですね

< 「倫理学の知識(または知性)は高いが、論理学の知恵は低い」 >
とするなら、結局どちらも「知識」に頼っていることになります。論理学の知恵は低い、とこちらは「知恵」ということばを使っていますが、知恵ということばを使うのならその「知恵」は何によって決まっているかを明らかにすべきですね。

学での知識は高いが

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:25 No.5966

とつげきさんへ 第2点

< なるほど、数学やらせたり会話してみなくても測れるようになったのか。
歴史上の人物などの場合でも、いきなり $Z = XY$ のYがわかると。

以前は

- > 知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？
- > 測定可能です。
- > 一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
- > 話をしてみる(5829)

「共通の話題に対して話をしてみる」が「一番簡単」だったのに、この1～2日
の間でさらにもっと簡単な方法を見つけたのだな。
なんと会話などしなくてもわかるように！！
さすが。
最初からそればかり使っとけば良かったんちゃうん……

歴史上の人物の場合には文献や作品などを通じて、という
過程を経るのは当然です。
私の測定方法が劇的に変わったのではありません。
だからこそ「一番簡単なのは」とあえて、断っているのです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:28 No.5968

とつげきさんへ 第3点

< 私からの質問。
・「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でないか
どうかを、どう計測すれば良いか。
この質問に正しく答えられたまさにその時、その方法によって山は崩れる>

簡単です。
ある数学の問題を解けた(他の解はもはやない)という
確信は何によって得られますか。
それと同じことです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:36 No.5969

とつげきさんへ 第2点のつづき

ところであらためて質問です。
あなたは、普遍的知性の測定(あるいはその可能性)をこれまで
本当にまともに考えたことがあったのでしょうか？
私の測定法が1～2日で劇的に変化するからこの問いに答える

必要がないという指摘が誤りであることは、すでに第2点で述べていますよ。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/25(Sun) 17:59 No.5971

とつげきさんへ 第4点

ひとつ意外に思った疑問があります。

< 山が私の論旨を、
 > 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
 > 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
 > 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、それは、数学や会話ではない」
 などとまとめてしまっていることにそれがあらわれている。
 山にとっては、「普遍的知恵があり、計測でき、一元的に存在する」のがあまりにも当然だったので、その部分に疑義を唱えられているということを、認識することさえできなかったのだ。
 自説を信じており、その中から語っているから、こうなるのである。>

とありますが、私のあなたの論旨整理にどこか間違ったり、見落とししたりした部分があるのでしょうか？
 もしそれがあれば、喜んで加筆、訂正します。ご指摘ください。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/25(Sun) 18:59 No.5973(管理者)

> 5965

君が考え付かないから、普通に思いつくような適当な例示をしてみせたら、

> おかしいですね

かよ。
 君がおかしいわ。
 それは例だ。「例えば～～というような」と書いているだろうが。
 理解しろ。
 仮に10歩譲ってそれを私の主張だとしてもだな。

> 知恵ということばを使うのなら
 > その「知恵」は何によって決まっているかを明らかにすべきですね。

そんな必要はない。
 私はもうずっと前から知恵って言葉を使ってるだろうが。
 もし「明らかにすべき」だったなら、なぜ今指摘してきてるの。

ある人に「財力」という指標が想定できるとする。それ自体には特に問題はない。
 だが、それが何によって決まっているか示さないと、その言葉を使えないのか？
 $Y = 3X$ と書くとき、 X が何によって決まるか既にわかっていなければ間違いか？ 全然違う。
 理解しろ。

このように君は、一つ一つ私が言うことを誤解し、誤解の上に反論し、その反論の理屈が全くなっていない。

「知恵というものが想定できる」かどうかは問題ではない。
 「知識と別の知性要因」とでも定義しときゃいいだろうが。
 そんな作業まで私にやらすな。それくらい自分で気づけ。
 いかに君の質問が低レベルかを理解しろ。

問題は、
 「普遍的知恵なるものが想定でき、それが数学や会話や文献や芸術作品のいずれかで正しく計測でき、かつ一元的に全ての知的分野に通用する。また
 $\text{知性} = \text{知識} \times \text{普遍的知恵}$
 が成り立つ」
 が正しいかどうかだ。
 これについて考えるために私が今君に聞いているのは、
 > 「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でないか
 > どうかを、どう計測すれば良いか。
 だ。

> 5966

わかったわかった。
 君は数学や文献や芸術作品から普遍的知恵を計測できるんだよ。
 その計測結果が正しいかどうかは別問題として。

> 5968

数学の問題の答えに確信を持つことと、山の普遍的知恵の測定結果に確信を持つ
 ことが同じ！？
 数学の問題は教科書に答えが載っているし、周りの人に聞いても共通の答えが得られる。
 (もちろん、自分自身で「これは正しい」と確信する場合もあるし、確信していても間違っていることもあるが)
 一方、君が測る「普遍的知恵」は、君以外の人に認められない。
 ただ一つ数学と同じなのは、「これは正しい」と自分で確信しているという

点だ
 けだ。
 例えばこの場で君は「自分は凸よりも知恵が高い」ということを述べている
 が、
 君以外がそのことを確信したり、それに同意したっけ？
 (むしろどちらかというと逆のことが起きていないか？)
 そして、君の計測と私(我々)の計測結果が違うという事実そのものが、君
 の言う
 「会話で計測できる」という主張が誤りである、根拠になっているのだ。
 正しさの根拠が「確信 = 信念」以外に何も示せないものを、信仰と言う。
 とりわけ、その確信が、周囲の人の確信と異なる場合には。

> 5969

自分で考えろ。どっちでもいいから。

> 5971

だからそれを自分で考えろと。
 足手まといかよ君は。
 自分で考えて、喜んで加筆、訂正してくれよ。
 この議論にとって大切な部分がたくさん抜けてるだろうが。

さて宿題。

『
 「相手の知性を測れた」という自分の確信が、ただの思い込み(信仰)でな
 いか
 どうかを、どう計測すれば良いか。
 君はそれに
 > 数学の問題を解けた(他の解はもはやない)という
 > 確信は何によって得られますか。
 > それと同じことです。
 と答えたが、私の指摘を踏まえ、数学の確信と君の確信の何が同じで何
 が違うか。
 誰かが「山は凸よりも普遍的知恵が低い」と確信しているとして、その人と
 山の確信の
 どちらが正しいかをどう判定するか。』

発展課題：
 君は会話によって 知性 = 知識 × 普遍的知恵 のうち普遍的知恵を求め
 ることが
 できる。
 当然、この式が成立することを知っている以上、知性を測ることもできてい
 ると思う。
 私および山の普遍的知恵はいくらで、論理的知識はいくらか述べよ。

』

Re: 5676スレよりの続き 素通り - 2004/07/25(Sun) 22:16 No.5977

邪魔レス、メンゴ。大分前のコメントだが気になっていたので

凸の
> あゆもつんくも芸術家ですよ。
のコメントに対して

山の
> あなたの知性(知恵)をして 冷笑せしめるつんくやあやのレ ベル...

この読解力の貧しさはどうだ。どこに冷笑があるのだ。
あゆもつんくも大衆に大いに支持されているヒットメーカーだが
世の権威は彼等を決して「芸術家」とは認めないという皮肉ではないか。
「Xベクトル」はどこにいったんだ。

あと「芸術なんたら」に関して少々述べたいのだが今のところは
邪魔なようなので、ひとまず退散。

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/26(Mon) 06:21 No.5986(管理者)

邪魔レス歓迎。スルーされるのが残念だが(笑)
> 素通り
そのとおり。
そういうツッコミは他にもできるんだが、しゃべるたびに莫大な量のゴミを
撒き散ら
すタイプゆえ、一つ一つ拾っていけないのが残念。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 10:23 No.5995

とつげきさんへ 第1点

< 数学の問題の答えに確信を持つことと、山の普遍的知恵の測定結果に確信を持つことが同じ！？
数学の問題は教科書に答えが載っているし、周りの人に聞いても共通の答えが得られる。
(もちろん、自分自身で「これは正しい」と確信する場合もあるし、確信していても間違っていることもあるが)
一方、君が測る「普遍的知恵」は、君以外の人に認められない。
ただ一つ数学と同じなのは、「これは正しい」と自分で確信しているという点だけだ。
例えばこの場で君は「自分は凸よりも知恵が高い」ということを述べているが、君以外がそのことを確信したり、それに同意したっけ？

教科書(その時点での、その社会の常識)に載っているから
正しいとは限らないことは分かりきったことです。
あるいは、その時点で多くの人々が信じているから正しいとは
限らないことも分かりきったことです。
なぜ、今さらそんな、衆愚の常識(かもしれないもの)を
頼り、よりどころとするんですか？

数学の解を見出したときによりどころとなっているのは、
自らの内的直観ですね。仮にそれと教科書の記述が違っている
時はむしろ信頼できる先生に相談し、場合によっては
教科書会社に問い合わせても教科書の指摘を暴くはずです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 10:41 No.5997

とつげきさんへ 第2点

< 発展課題:

君は会話によって 知性 = 知識 × 普遍的知恵 のうち 普遍的知恵を求
めることが

できる。

当然、この式が成立することを知っている以上、知性を測ることもできてい
ると思う。

私および山の普遍的知恵はいくらで、論理的知識はいくらか述べよ。

』 >

あなたの山は500メートルぐらいでしょう。1000人に一人か、
1万人に一人ぐらいの山の高さだろうと推測しています。
(もっとピンポイントではっきりわかるためには、何度も言うように
直接会って話をするのが一番いいのです)

その根拠について述べると、

たとえば哲学で言えば経験主義(人間が経験したことがすべて)まで
は理解できています。

ところがその先の「普遍的知性」の理解のところで、経験主義と
それを抜け出すところで、行ったり来たり(普通に言えばぐるぐる
回って)しています。したがってさらに、その先にある
(もはやことばの分析からは出てこない)宗教の理解には
とても及んでいないいうところでしょう。

(500メートルの高さでも十分な知性で、発展の可能性が
見えるので、私は懇切丁寧に対応しているのです。)

もう一つの指標として、芸術の理解度です。

これも哲学の理解度に応じて、「諧謔(かいぎやく)」すなわち

世界の常識を暴き、裏側をえぐって笑い者にするというレベルまでは
きています。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 11:32 No.5998

J熱くんさんは内的直感でもって理論の正否の判断すると言ったが、もし
科学者がそのようなもので理論の正否を判断していたならば現代科学は
成立しなかったであろう。

理論の正否は仮定・定義の妥当性とそこからの理論的な演繹の妥当性
のみによって判断されるべき。

それとこれはJ熱くんさんへのお願い。

あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さと
その理由を書いてください。

凸さん。議論を収束させようとしているところに何かと話題が広がってしま
いそうなレスすいません。

Re: 5676スレよりの続き シン - 2004/07/26(Mon) 12:12 No.5999

この議論。興味深く拝見しています

見当違いの駄レスだったら、、、(悲)

> NO.5995

教科書の数学の解が正解であるとは限らない。って、印刷ミスですか？

と冗談はおいて。

客観的な解がない数学って、、、

数学を根本から批判ですかねえ

信頼できる先生 > 自分の内的直感 > 今までの数学の研究者達

おお！信頼できる先生。もはや数学の神ですね^^

> 誰かが「山は凸よりも普遍的知恵が低い」と確信しているとし

> て、その人と山の確信の

> どちらが正しいかをどう判定するか。

これの解答がないですが。

NO.5997

> あなたの山は500メートルぐらいでしょう

一般人はどれぐらいでしょう？つうか、これはギャグですか？

とりあえず、大衆は何mぐらいか知りたいかも。

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 12:23 No.6000

J氏へ

5954でも書いたが、 $Z=XY$ という公式が成り立つならば、

なぞなぞ知性 = 普遍的知恵 × なぞなぞ知識

間違え探し知性 = 普遍的知恵 × 間違え探し知識

マジカルバナナ知性 = 普遍的知恵 × マジカルバナナ知識

という等式が成り立つ。

なぞなぞやマジカルバナナなどの知識は、特別な知識は必要ない。

とすれば、これらの知性は「普遍的知恵」と直結すると考えてよいだろう。

では、これらが最もYを計測するのに適しているとすべきではないか。

少なくとも「知識」が介在する数学よりは。

また、知識に差がないならば、

高い普遍的知恵を持つ者 = なぞなぞやマジカルバナナが得意

という等式も成り立つ。

では、いわゆる「天才」たちは皆なぞなぞ知性が最も優れているだろう
か？

マジカルバナナがめっぽう強いのだろうか？

また、J氏はとつげき氏よりも普遍的知恵が高いと述べているが、

例に挙げたような特別な知識の要らない試験やゲームで、とつげき氏や

その他のJ氏よりも知恵が低いと感じた者よりもよい成績がのこせるのか？

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 13:31 No.6006

山君は普遍的知恵は一次元だと断固主張し、それを厳密に測定できる方法が存在するといっている。

では、知恵の輪というくだらない金属の物質があるが、あれを解くのに少なくとも見たことがないものならば知識は必要ないだろう。

それをA、Bに100個解かせる。100個は全て違う種類。1つを解く時間制限も知恵を測定するのに影響ない程度に設けるとして、ある知恵の輪でAが解けたがBは解けなかったならば、その逆のことが起こる可能性はないのだろうか。

山君の主張が正しいのであれば必ずそうなるはずであるが…。

Re: 5676スレよりの続き 湘北 三井寿 - 2004/07/26(Mon) 14:13 No.6007

おれも読んでるだけだとヒマだからレスしてみようっと。
かなり見当違いなレスかもしれないけど(笑

> あなたの山は500メートルぐらいでしょう。1000人に一>人か、
> 1万人に一人ぐらいの山の高さだろうと推測しています。
> (もっとピンポイントではっきりわかるためには、何度も言う>ように
> 直接会って話をするのが一番いいのです)

> その根拠について述べると、～

山が500mで数字の意味が分らん。
その根拠で言われてることが500mであることを確証づけて
いるものではないし、500っていうかなり具体的な数字を
出してる割には1000人に1人か1万人に1人って…
そうとう適当な感じが漂うけど。
これって知性を測れてないんじゃないの？

会って話したら実は515mでしたとか、3279人に1人
でしたとか分かってことなのかね？

つーかそもそも、凸さんの発展課題に対する答えに全くなっていないと思う
わけだが。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 15:07 No.6008

> 山が500mで数字の意味が分らん。

500mの山とは次のような山である。

硫黄山(508)母衣月山(503)宮塚山(508)筒ヶ岳(501)与那覇岳(503)礼文岳
(490)金山(500)御岳(497)横当島(495)

この中で我々が知っている山が一つでもあるだろうか？

つまりJ熱くんは「凸の普遍的知恵はその程度」と言いたかったのである
(笑)

詳しくはこれで

<http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MOUNTAIN/mountain.html>

Re: 5676スレよりの続き 巧翔 - 2004/07/26(Mon) 17:06 No.6012

>>私が計測(把握)している、あなたの知性(知恵)をして冷笑せしめるつんくやあゆのレベルはさらに低い(せいぜい50mレベル)と判断できるのです。
この山の発言より、この板で凸さんにバカにされている山のレベルはせいぜい10mレベルである…(笑)
10mレベルの山がどのようにして凸さんのレベルが500mだとわかったのだろうか…
>>教科書(その時点での、その社会の常識)に載っているから正しいとは限らない
>>数学の解を見出したときによりどころとなっているのは、自らの内的直観ですね。仮にそれと教科書の記述が違っている時はむしろ信頼できる先生に相談し、場合によっては教科書会社に問い合わせても教科書の指摘を暴くはずです。上で教科書の解が正しいとは限らないと言っているのに、信頼できる先生や教科書会社の出した新たな解が正しいとは限らないとは思わないのだろうか。。
数学の解が正しいと確信することは一種の「信仰」だと思うのだけれど、違うのかなぁ。。

Re: 5676スレよりの続き 某 - 2004/07/26(Mon) 17:30 No.6013

発展課題に答える前に普通の宿題にも答えてください。

ちなみに僕は確率のテストで自信をもって答えた答がみんな違って誤答を確信したことがあります。
これからは自分の直感を信じて行きます。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:26 No.6016

イオさんへ 第1点

< J熱くんさんは内的直感でもって理論の正否の判断すると言ったが、もし科学者がそのようなもので理論の正否を判断していたならば現代科学は成立しなかったであろう。
理論の正否は仮定・定義の妥当性とそこからの理論的な演繹の妥当性のみにによって判断されるべき。

もちろん、客観的妥当性は評価、検証されるべきです。
しかしその場合にも、当初はなかなか受け入れられないという事実はあります。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:32 No.6017

イオさんへ 第2点

<それとこれはJ熱くんさんへのお願い。
あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さとその理由を書いてください。> >

まず、分野を(日本の)マンガと文学に限りましょう。
マンガでは、最高水準が
小山ゆう「がんばれ元気」
美内 ずずえ「ガラスの仮面」
の二つ。

文学では、山崎 豊子「大地の子」です。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 18:42 No.6018

イオさんへ 第2点のつづき

< それとこれはJ熱くんさんへのお願い。
あなたが歴史上最も「普遍的知性」が高かったと思われる人の山の高さとその理由を書いてください。>

理由と山の高さが抜けていました。
山の高さはいずれも2000メートル超。
理由は、諧謔、哀歓を含み、
人間の存在意味(天命)に届いているからです。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 19:30 No.6019

とつげきさんへ 第2点のつづき

あなたは私のつぎの質問
< ところであらためて質問です。
あなたは、普遍的知性の測定(あるいはその可能性)をこれまで
本当にまともに考えたことがあったのでしょうか ?
私の測定法が1~2日で劇的に変化するからこの問いに答える
必要がないという指摘が誤りであることは、すでに第2点で
述べていますよ。>

に対して、

< 自分で考える。どちらでもいいから。>

という投げやり、逃避的な態度を見せていますが、
ひょっとすると、
こんな大事な問題を考えたことがなかった
→ したがって、(それが第1歩である)宗教の本質理解まで
とても届かない
→ したがって、芸術の初歩である(諧謔(ギャグ))からは
一步も出ず、思想も宗教の手前である哲学(その中でも
初歩の経験主義)までしか理解(可能性を考える想像力も
含めて)が及ばない。

おおむね、こういう事情でしょうか？
もし、違うのなら私の問いに簡単に答えられるはずですね？

Re: 5676スレよりの続き **Revin** - 2004/07/26(Mon) 19:39 No.6021 

とつがその指摘に答えないのは、答える必要がないからですよ。
とつは貴方の「普遍的知識の測定(山測定法)」が間違っていることを論
点にしているのですから。
その程度は180cmの山である俺でも分かります。

Re: 5676スレよりの続き **J熱くん** - 2004/07/26(Mon) 20:14 No.6022

Revin さんへ

<とつがその指摘に答えないのは、答える必要がないからですよ。
とつは貴方の「普遍的知識の測定(山測定法)」が間違っていることを論
点にしているのですから。>

私は、その測定法がここまで理解できないとつげきさんに対して
いったん、手前に戻って議論をやりなおそうとしているのです。
それが

< とつげきさんは

私があなたの主張をまとめていなかったのなら、まとめましょう。

あなたの主張は、

- 1 「知性は、ほとんどの場合知識で決まる。
- 2 「知識だけではない、というのは多くの場合、知識さえ
ない者の逃げ(自己弁護)に過ぎない」
- 3 「知識だけでない知性をはかる基準があるかもしれないが、
それは、数学や会話ではない」

以上です。

2については、そういう人が多いのは事実です。

1については、しばらく議論を保留しましょう。

問題は3点目です。

あなたはこの基準について、

知性をはかる基準があるかもしれないが……

と、大変消極的な姿勢ですね。

それはなぜでしょうか？

その答を私は知っています。これまでこの問題をまともに考えた
ことがなかったからです。

ある問題を一気に生徒に解かせようとすると、生徒は混乱し、
時には反抗的になります。

そこで、小学生レベルにもどって、自分の頭で疑問を考える
ところから始めましょう。

そこで質問です。

あなたが東北大の教授の知性の測定の際に使ったものは、
少なくとも知識ではなかった。
では何だったのでしょうかという私の問いに対するあなたの
答は
＜何でもいい。何かの基準で測ったのだ。＞
というものでした。
では、その基準としては、どんなものが考えられうるでしょうか？
あなたの直観でいいから考えてみてください。＞

と言っているのです。
ちょうどいくら説明しても微分の分からない生徒が存在する時に、
いったん小学生レベルに戻って、「ある数に対応して変わる数」
の概念を「自分で考えてみなさい、あなたならどう思いますか」
と言っているようなものです。

したがって、あなたの指摘の「とつげきさんは答える必要がない」
というのは、そうではありません。

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 20:18 No.6023

俺のレスにも答えてくれよ(笑)

Re: 5676スレよりの続き 常におわしますホトケ - 2004/07/26(Mon) 20:18 No.6024

あか あかや、
あか あか あかや
あか あかや、 月

猫のけんかも、夏の夜のにぎわい

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 20:22 No.6025

また、知識に差がないならば、

高い普遍的知恵を持つ者 = なぞなぞやマジカルバナナが得意

という等式も成り立つ。
では、いわゆる「天才」たちは皆なぞなぞ知性が最も優れているだろう
か？
まほ公さんへ

あなたの次の質問(指摘)

＜ マジカルバナナがめっぽう強いのだろうか？
また、J氏はとつげき氏よりも普遍的知恵が高いと述べているが、
例に挙げたような特別な知識の要らない試験やゲームで、とつげき氏や

その他のJ氏よりも知恵が低いと感じた者よりもよい成績がのこせるのか？ >

それが誤りであることは、すでにとつげき氏が7 / 17 からの一連のやりとりの中で明らかにしているので、それを参照してください。

Re: 5676スレよりの続き 某 - 2004/07/26(Mon) 20:22 No.6026

漫画かえ！
山測定の基準も変わってるし。

ちなみに私はガラスの仮面を読みましたが、ドラえもんの方が面白いと思います。どうでしょう。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 20:43 No.6027

某さんへ

ドラえもん。結構じゃないですか。
諧謔(ギャグ<ユーモア)のベースに夢と哀愁があります。
少なくとも「浦安鉄筋家族」よりは普遍性が高いものです。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 20:48 No.6028

第1点目

>もちろん、客観的妥当性は評価、検証されるべきです。
しかしその場合にも、当初はなかなか受け入れられないという
事実はありあます。

頼むから俺の質問に沿った回答をしてくれ(涙)
「過去の先人たちが築きあげた論理的で様々な実験によって支えられている理論よりも自分の矮小な人生の中で経験されたことによるのみ裏付けられる直感の方が正しいと本気で信じているのですか？」と聞いているのですが...

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 21:00 No.6029

> それで私は知性をX軸側の知識、Y軸側の知恵の二つのベクトル
> が構成している「面積」だと言っているのです。

この主張と、6000で書いた考え方より、この質問の答えに不適切ではないか？

そして、最も重要な部分

> なぞなぞやマジカルバナナなどの知識は、特別な知識は必要ない。
> とすれば、これらの知性は「普遍的知恵」と直結すると考えてよいだろう。
> では、これらが最もYを計測するのに適しているとすべきではないか。
> 少なくとも「知識」が介在する数学よりは。

この部分についてどう考える？
知性を構成するものが知恵と知識だけなら、これは正しいはずだ。

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 21:22 No.6031

なかなか答えてくれないので、山氏でも多分理解できるように質問形式で書き換えたので、明確に答えていただきたい。
以下質問。

知恵の輪というくだらない金属の物質があるが、あれを解くのに少なくとも見たことがないものならば知識は必要ないだろう。
それをA、Bに100個解かせる。100個は全て違う種類。1つを解く時間制限も知恵を測定するのに影響ない程度に設けるとして、ある知恵の輪でAが解けたがBは解けなかったならば、その逆のことは必ず起こらないのですか？

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 21:23 No.6032

第2点目

「何で勝手に漫画に限定するんじゃ」とかは言いません。(議論が拡散するから)

質問の仕方を変えさせていただきます。
次の人達の山の高さとその理由は？

- 1 ニュートン
- 2 シェイクスピア
- 3 ベートーベン

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 21:39 No.6034

J熱くんじゃないけど...

仮に知恵の輪偏差値なるものが存在したとしても、最高水準の言うようなことは起こらないと思う。

なぜなら、知恵の輪はあまりにも博打的要素が強すぎるからだ。(データーはとっていないが)

例えばランダムに17文字を打ち出すコンピューターと俳人が俳句勝負をしたとする。場合によってはコンピューターの作り出した文字列の方ががたまたまその場にいた人達の心を動かすこともあるだろう。

そう言うことが知恵の輪では簡単に起こりうると思う。

あんまり真剣に知恵の輪に取り組んだことがないんですけどめちゃくちや奥が深いのかも知れないが...
誰か知恵の輪について真剣に研究した人います？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 21:45 No.6035

イオさんへ

< 1ニュートン
2シェイクスピア
3ベートーベン >

ニュートンは(あの時代に)普遍的法則性を体系化し、
宇宙の心にはっきり達しているという意味で、
優に世界レベル(6000~7000メートル)でしょう。
その力学体系を塗り替えた(包摂した)アインシュタインも
同レベルでしょう。

シェイクスピア、ベートーベンについては私は断片的にしか
本人を知らないのだから分りません。

ベートーベンについてもよく

Re: 5676スレよりの続き ? - 2004/07/26(Mon) 22:08 No.6036

NO.5829より

> では、知恵(普遍法則理解度)が測定可能かどうか？

測定可能です。

一番簡単なのは、対象者と測定者がある共通の話題に対して
話をしてみることで、測定者は、自分の知恵の到達度まで対象者の
理解度を測定することが可能です。ちょうど1000メートルの
山から見れば、Aの山が500メートル、Bの山が300メートル
という風に正確に把握できるようなものです。

「自分の知恵の到達度まで対象者の理解度を測定することが可能」・・・
あの、J熱くんさん、ニュートンやアインシュタインの山を正確に測定できる
ようですが、
貴方はご自身の山の高さをいくらだと考えているんでしょう？

Re: 5676スレよりの続き 最高水準雀士 - 2004/07/26(Mon) 22:08 No.6037

では、知恵の輪で運のみで解けなく、空間把握能力によってのみ解けると
するとき、同じ質問ではどうなるか。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 22:17 No.6038

イオさんへ

ベートーベンについては、交響曲第5番で人間の持つ宿命
(運命 = 有限性)と絶望を表し、第6番と第9番で
それを包摂する神の恩寵を表現しているという意味で優に
世界レベルだということまでは推測できます。

ただ、それにしてもその音楽に(たとえば)モーツァルトのような
透明性、明澄性がない(ような気がする)ので(その疑問が
完全に解けるまでは)断言出来ない部分が残るのです。

どなたかこの部分に(普遍法則性に対する理解度が共有できる

ことが条件ですが)
ピンポイントで解説できる人がいれば
ありがたいと思っています。

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/26(Mon) 22:31 No.6039

?さんへ

<「自分の知恵の到達度まで対象者の理解度を測定することが可能」・・・
あの、J熱くんさん、ニュートンやアインシュタインの山を正確に測定できる
ようですが、
貴方はご自身の山の高さをいくらだと考えているんでしょう? >

大体5000～6000メートルのレベルでしょう。
知識の分野のベクトルは、経済、政治、東洋哲学(孔子、孟子
韓非子など)宗教(老子、荘子、仏教)方面に伸びています。
の分野に
伸びています。

Re: 5676スレよりの続き まほ公 - 2004/07/26(Mon) 23:10 No.6045

いま私は、綿棒と爪楊枝をつかって宇宙の真理を表した芸術作品を生み
出した。
つまり、J氏の基準ではすでに私は宇宙レベルとなったのだ!
さあ、祝福してくれ。そして私は何mなのか教えてくれ!

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/26(Mon) 23:12 No.6047

>では、知恵の輪で運のみで解けなく、空間把握能力によってのみ解ける
とするとき、同じ質問ではどうなるか。

実際問題として運という要素(他には体調や集中力・知恵の輪に対する興
味)が全く同じ状況(あるいはそれらの影響を排除する)でのテストが現時
点では想定できない以上そう言ったものの存在を仮定してそれについて
云々言うことはあまり有意義なことではないと思う。

Re: 5676スレよりの続き 通りすがり - 2004/07/26(Mon) 23:35 No.6048

山さんとは逆に低い位置にいることこそが知性の深さを表すと考えて、
必死で穴を掘っている谷さん(仮名)から見たら高度5000～6000mの山に
いる
山さんは知性が浅いお馬鹿さんに見えるんだろうなあ。

谷さん(仮名)談
「ニュートンですか?彼はマリアナ海溝レベルの知性の深さを
持っていますね。深さ10000mくらいですよ。
私が測ったんだから間違いはない!」

Re: 5676スレよりの続き とつげき東北 - 2004/07/27(Tue) 00:14 No.6052(管理者)

凸という字は、山という字を図形的に包含しているではないか。

勝敗は明らかである。
これは私の普遍的知恵計測方法だ。

ちなみに単位は「メートル」などという恥ずかしいものではない。
なんと、「平方メートル」だ。

Re: 5676スレよりの続き 乾麵 - 2004/07/27(Tue) 02:02 No.6067

やっペー、いつの間にかこんなに面白い事になってたとは。
完全に乗り遅れた。

でも岩男はもう山や音楽家の話はいいから、
俺と漫画の話しようよ(小説でもいいけど)。
君の言う
諧謔、哀歓を含み、人間の存在意味(天命)に届いている作品
として、「The World is Mine」「ぼくんち」「寄生獣」、
「さくらの唄」辺りも及第すると俺は思うんだがどうかな？
君なら勿論読んだよね！
あと漫画オタとしては、「私は真悟」や「国民クイズ」、
諸星大二郎やつげ義春の短編(ねじ式じゃなく無能の人とか)
も外せないのだからどうだろう！

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/27(Tue) 06:15 No.6073

乾麵さんへ

諸星大二郎の「無面目」や「孔子暗黒伝」は、非存在が存在に
転化する妙機のようなものを描いており異彩を放つものが
あります。奇岩の突出した600メートルの岩山のような感じ
でしょう。
つげ義春(の無能の人)、ぼくんち(西原理恵子ですか？)
凄絶さと隣り合わせに哀感があって印象に残ります。
300メートルぐらいの崖っぷちにあるすすきが原という感じ。

いずれも感性の広がり(の方向性)としては、おっと言わせるものが
あるのですが「瞬間の中に全体を表す」という切迫感までがなく
感情移入がスムーズにいかないという憾みがあります。

Re: 5676スレよりの続き イオ - 2004/07/27(Tue) 10:28 No.6078

J熱くん氏はいつの間にか「日本漫画評論家」となられました。
先生『ボーボボ』はどうでしょう？

Re: 5676スレよりの続き J熱くん - 2004/07/27(Tue) 10:43 No.6079

イオさんへ

< J熱くん氏はいつの間にか「日本漫画評論家」となられました。
先生『ボーボボ』はどうでしょう？ >

いや、知りませんね。

Re: 5676スレよりの続き 凡人C - 2004/07/27(Tue) 13:30 No.6081

先生が山の高さの測定だけでなく、
その姿形も認識できるとは初耳です。

無題 投稿者: **とつげき東北** 投稿日: 2004/07/26(Mon) 22:34 No.6040(管理者)

返信

即席分析。何か問題があれば指摘を。

(1) 一般知識量、一般記憶力の計測

知識量を測るとしよう。
例として、物理学における知識を計測する。

円周率 = 3.1415926535897932384626433832795028841971... (私はここまでしか覚え
てない)。

これを覚えることと、
9.81(重力加速度)
8.31(気体定数)

を覚えることの、どちらが簡単だろうか。
もちろん、9.81と8.31を覚えることの方が簡単だろう。
(同意できない人は、円周率の桁数を好きなだけ増やして同じ質問をせよ)

さて、物理学において「知識問題」が出る。
物理に関する知識の量がこれによって点数化される。

(以下、有効数字3桁で答えよ)

問題1) 円周率はいくらか 34点
問題2) 重力加速度はいくらか 33点
問題3) 気体定数はいくらか 33点

円周率だけを200桁覚えていた人は、この「物理知識テスト」で、赤点を取ってしま
うだろう。他の生徒よりも「たくさん覚えていた」にもかかわらず。
(2倍の桁数を覚えていれば結果が2倍になる、 $Z = XY$ である、などという主張は、
たったこれだけの思考実験で反証できる)

「漢字テスト」ではどうか。

三国志に興味があって、あらゆる古い漢字、難しい漢字だけをメインに覚えている
生徒は、中学の漢字テストで高得点は取れない。

これらは、ばかげた極端な例などではない。
知識計測における原理的な問題が、ここに表れている。

世の中には無限の組み合わせの「知識」が存在する。

(数学の「知識」に限っても、1+9の答え、12+92の答え、133+933の答え・・・などと無限に増やせる)

ところが、それら無限にある「知識」のうち、「知識テスト」に出される知識はごく一部である。

「大事とされているもの」「知識として意味があると考えられているもの」こそが、「知識テスト」には出されるのである。

北斗の拳全巻全ページのコマ数を覚えていたとしても、「それを計測するテスト」

(「テスト」とは、能動的にそれを測ろうとする意志全体に拡張して考えよ)がなければ、知識が多いことは計測できないのである。そして、「能動的に測る意志」が、世の中の全ての「知識」に対して向けられることは決してないのだ。

それどころか、ごく狭い、特定の、部分的な知識にのみ、向けられるものだ。

では、そんな不公平な知識テストはやめて、全く無の状態から同じものを暗記させて「記憶力」を測ってみるのはどうだろうか。

当然、「同じ条件で」円周率覚え力を競わせたところで、「記憶力」は厳密には計測できない。円の性質に興味がある生徒、その実験に前向きに取り組んでいる生徒、

機嫌が良い生徒、さらには、その実験に前向きに取り組むべき何らかの理由を経験的に持っている(過去に良い成績を残してしておやつがもらえたなど)生徒は良いスコアを残しがちであろう。

つまり、経験や別の知識など、種々のものによって「記憶力」は変化する。

(短期的な記憶力と長期的な記憶力は、脳において使われる領域が違うわけだが、その差さえも測れない)

昆虫に関する知識は深いが、コンピュータに関する知識は全くなく、覚えることも苦手だ、といったような人は、何の珍しさもなく存在する。

この場合も、なるべく特定の分野に偏らず様々な分野で暗記させて、「一般的な記憶力」をムリに点数化することはできる。

だがそこに「曙のけつの毛の数は何本か」という問いは入っていただろうか？

昆虫に興味がある子供の、昆虫に関する記憶力を測定する問いは充分あったらうか？

昆虫に関して強い記憶力を持っているかどうかは、「一般記憶力」とはほとんど独立な値となるであろう。

脳障害など「重大な差」がない限り、「一般記憶力」を測ることは、つまり「世の中で記憶として認められやすいものを記憶する力の和」を測ることではしかないのだ。

このように、「知識量」「記憶力」などといったものも、種々のベクトルの総和としてしか計測できないものであり、「絶対値をむりやりとったもの」が「一般記憶力」なのである(本当は絶対値ではなく、ハミング距離である場合が多いが、わかりやすく絶対値と呼ぶ)。

そして重要なのは、「テストが求める方向性」と一致するベクトルが高いほど、その結果は高くなりがちで、テストが求めない方向のベクトルはいくら高くても結果にほとんど影響を与えないという事実である。

我々は「計測手段なしに計測結果は存在しない」ということについて、十分に理解しなければならない。何か「記憶力」やら「知識量」というものが初めから存在し、それを数字にするのではない。計測手段が作られた後に、記憶力や知識量が定量化

されるのである。

(むろん、概念として「記憶力」「知識量」を想定した上で、計測手段が作られることも事実であるから、混同されないようにしたい)

単純に「単語テストをすれば良い」などと考えてはいけない。

(2) 知性の計測、能力の計測

知識量においてさえ、このように「計測の非一般性 = 恣意性」が存在するのだから、「知性」「能力」ともなると、さらに一層複雑であることは想像に難くない。「知的である何か」「能力と見なされる何か」は社会風潮や、判断者の個人的経験、好みなどに強く依存する。

「力」が能力であった時代、力以外が能力とは見なされなかった時代が存在する。今、我々は、「その当時でも、工夫して道具を作った人は知性的だ」と判断するが、それは誤りである。

将来科学技術が最高度に発展し、人間がいちいち「考える」ことなどする「必要」が完全になくなったとき(思考実験せよ)、「知性的」などということには何の価値もなくなり、そもそもそのような「能力」は「計測されなくなる」だろう！つまりわざわざ我々が「その当時でも、ピーチョ！と叫んだ人はピーチョ能力があったのだろう」などと考えたりすることが「ない」のと同様に。「計測しない」とは、「存在しない」と同義であることを、(1)の議論から認識せよ。

社会の必要性、個人の好み、「なぜ我々がわざわざその能力を想定し計測するか」という観点なしに、能力を計測しても「意味がない」と言うのはそのためだ。昔、本当に、純粋に「知性など存在しない」時代があったのだ(もはや、「必要とされない時代」と言い換えてはならない。なぜならば過去にも現在にも未来にも、「ピーチョ能力」は「存在しない」からである)。

その上で、何らかの方法で「計測したい能力ベクトル」を恣意的に作ったうえで、「能力の総合値」を計測することは可能である。例えば円に関する数学力、三角形に関する数学力、立方体に関する数学力……等を「恣意的に配点し」、「図形の数学力」の「総合得点」を出すのである。もちろんここで測られる「図形一般の数学力」が、個々の数学力を正確に表していないことは、もうわかりだろう。円が大好きで円周率を500桁覚えた生徒は、きっと円の問題では飛びぬけて正解していて、総合得点の低さと無関係に、円周率に関する研究者になるかもしれない。

Re: 無題 とつげき東北 - 2004/07/26(Mon) 22:35 No.6041(管理者)

(3) 知性と知識の相互補完関係について

ここまでは「計測には意志が介在する」という原理的な問題を語ってきた。また、計測される「能力」が、ある複合的な何がしかである以上、それは多様なベクトルを持ち、同じ「数学力」と言っても、配点のベクトルに応じて様々に変化するということも述べた。では少し現実的な問題として、「知性」と「知識」を分離して計測するということを考えてみよう。

まずは大学入試の数学。これは残念ながら、知性と知識を分離する良い方法ではない。「数学的知性」、数学へのやる気、将来の希望、経験、知識、家庭環境、ありとあらゆる要素がごっちゃになって計測されることだろう。

そしてそれらのどれもが複雑に関係しているばかりか、種々の「問題に出やすい
パターン解法」の丸暗記だけで、よほどの差がない限りは逆転可能だろう。
(親の平均年収で最高額なのが、他ならぬ東京大学であることもこの説を援護する)

では、小学校1年生の段階での算数試験ならどうか。
これも明らかに家庭環境や、それまでの経験(小さいほどこれは重要かもしれない)
などによって変化する。アインシュタインは小学校の頃の成績が悪かったことは有名な話である。
もちろん、この段階で種々の「差がつく」ことは確かである。
そしてその差は、将来の「数学力」とも正に相関するに違いない。
だが本当にここでの差が「知性」にあったのか、それとも家庭環境にあったのか、
明確になったとはまだ言えないだろう(その当時から環境が良かった子供は、その後
後も良い環境で育つ可能性が高いだろう)。

「IQテスト」などはさらにひどく、同じ人でも何度か受けていると「慣れ」によって
得点が上昇するとされている。特に時間配分などの要素は重大である。
IQテストに出題されるパズル的な問題に関する解法の知識を測っているだけなの
かもしれない。
IQテストにおいては知識量は非常に大事であるだろう。

知識と知性を別々に想定し、それを擬似的に計測することが不可能であると
は主張
しないし、無意味であるとも思わない。
「能力」を想定し測定することはしばしば実際に有効に機能する。
だが、「知識」と「知性」が独立のものであるとか、むしろ相反するものである
と
いった主張には、現実味が全くない。

(4) なぜ高度に発達した世界においては、知識と発想が不可分なのか

「知識のためこみ」を批判し、「新しい発想」こそが知性だとされることがある。
ところが「新しい発想」もまた知識に強く依存する。
工学分野に精通している人が、その手法を他分野に活かせば「新しい」ことになる
場合がある(麻雀の研究など)。
同じ工学分野でもその種のことはたくさんある。
「別分野に使ってみると新しい発見がしやすい」という知識は、明らかに
「発想」
に貢献する。
違う方法を試してみても成功した「経験」も「発想力」に影響するし、どんな新しい
ものが世の中で「新しい」と見なされるのかという知識でもある(これは大変重要
である)。
何の知識もないところから今さら「三角形の面積の公式を発見」しても、それ

は新しいと見なされないのである(ここで「新しいとは何か」など考えても無駄である。
なぜならば、計測方法が能力を決定するからである)。

知識があればあるほど「既存のものにすぎる」などと言われるが、現代、ズブのし
ろうとが数学的な偉大な発見をしたなどという話は聞いたことがない。発見者の誰
もが、数学を学問として学んだ人なのである。
これはなぜか。
数学という高度に発展した世界においては、知識の上に積み重ねない「新しいもの」
程度は、常に「既知の事実」になってしまっているからである。
既知の知識を十分にためた上で、さらに発想も求められるから知的なのであ
って、
知識を必要としない「発想」程度が知的である分野とは、実は「大して知的な
分野
ではない」のだ。
細分化され、高度に発達した知が存在する現代において、知識と「発想」とは
少な
くとも相互依存関係にあることが充分理解されたであろう。

そのように「知識」が「知性」と深くかかわる領域において、「IQテストの結果」
などといったものが、果たしてどんな具体的な意味合いを持つか、全く謎であ
る。